資料３

高須賀・上郷地区産業用地
埋蔵文化財試掘・確認調査報告書

上郷神谷森遺跡　　第５次
上郷院内山遺跡　　第 11 次
高須賀遺跡　　第１次
高須賀熊の山遺跡　第３次
高須賀堂ノ前遺跡　第２次
高須賀道城入遺跡　第２次

令和８年３月

つ　く　ば　市
つくば市教育委員会

高須賀・上郷地区産業用地
埋蔵文化財試掘・確認調査報告書

上郷神谷森遺跡　　第５次
上郷院内山遺跡　　第 11 次
高須賀遺跡　　第１次
高須賀熊の山遺跡　第３次
高須賀堂ノ前遺跡　第２次
高須賀道城入遺跡　第２次

令和８年３月

つ　く　ば　市
つくば市教育委員会

序

つくば市は、中心に緑豊かな研究学園都市が位置し、北に万葉の昔より数多くの歌に詠まれた名峰筑波山をいただく、自然環境や景観に恵まれたまちです。また、人々の生活や文化を物語る数多くの遺跡や文化財が所在する、歴史豊かな街でもあります。面積 283.72 平方キロメートルという県内有数の広さの市域では、現在までに 633 もの遺跡が確認されており、中でも国指定史跡平沢官衙遺跡や小田城跡は、歴史を学ぶ場として市民に親しまれるとともに、催事場所として広く活用されています。こうした文化財を後世に継承していくことは、私たちの重要な責務であり、郷土の歩みを理解し今後の発展につなげていくためにも、必要不可欠なことと考えています。

しかしながら、一方ではつくばエクスプレス線開業以降のこの二十年で人口は６万人以上増加し、首都圏中央連絡自動車道の開通もあって、各種開発は一層盛んになり、埋蔵文化財の保護は困難になってきています。市民の豊かな暮らしと埋蔵文化財の保存を両立させていくためには、まず地下に眠る遺跡をより正確に把握して、保存の方法を検討するための基礎資料を収集する必要があります。また、やむを得ず遺跡が破壊される場合には、遺跡の記録を残していくことも必要となってきます。

以上のような必要性から、つくば市では遺跡の有無を確認する試掘調査、遺跡の規模や内容を把握する確認調査、史跡内の現状変更等に伴う発掘調査などを行っています。このたび御報告いたしますのは、高須賀・上郷地内の産業用地（圏央道つくば西スマート IC 周辺地区）を対象とした試掘・確認調査の結果報告になります。遺跡の極一部を調査した報告にはなりますが、各遺跡の範囲を把握し、その性格を想定していくための貴重な資料を得ることができました。この報告が地域史解明の一助となれば幸いです。

最後になりますが、調査に際しまして御協力いただきました地元協議会と地権者の皆様、高須賀地区、上郷地区の皆様、関係者各位に、心から感謝の意を表します。

令和８年３月

つくば市教育委員会
教育長　森 田　　充

例　言

１．本書は、つくば市高須賀・上郷地区の産業用地における埋蔵文化財の試掘・確認調査報告書である。

２．調査区は「エリア１：上郷神谷森遺跡・上郷院内山遺跡地区、エリア２：高須賀熊の山遺跡・上郷院内山遺跡地区、エリア３：高須賀遺跡・高須賀道城入遺跡・高須賀堂ノ前遺跡地区」からなる。

３．調査は高須賀・上郷地区の企業誘致事業計画に伴い、事前の埋蔵文化財発掘調査を円滑に行うための基礎資料を得ることを目的として実施した。

４．調査は、つくば市経済部立地推進課から予算令達を受けた上で、つくば市教育委員会が株式会社勾玉工房の支援を得て実施した。

５．調査期間、調査面積、調査実施主体は次のとおりである。

調査期間　　令和７(2025) 年６月 16 日～ 11 月 25 日

調査面積　　エリア１：12,354 ㎡　エリア２：25,754 ㎡　エリア３：36,710 ㎡

調査主体　　つくば市教育委員会　株式会社勾玉工房

調査員　　石川太郎　西川　制　大賀庸平　高橋　豪

測量　　藤崎智也

重機オペレーター　永井大和

調査協力者　鮎川芽衣　梅原美代子　栗島道夫　栗島　将　土肥綾子　佐藤常幸　篠原仁史
瀬谷道夫　名渡山　博　芳賀洋子　吉松三千男　山田康成

６．整理期間・担当者・協力者は次のとおりである。

整理期間　　令和７年 11 月 26 日～令和８年３月 24 日

整理担当者　谷　　旬　　西川　制

整理作業員　一柳由美子　　髙木奈保美　　髙橋実果　　湯本裕美　　橋本　優

７．調査報告書の執筆分担は次のとおりである。

誌面編集　大賀琢磨

第１章第１節：つくば市教育局文化財課　　２節：西川

第２章第１・３節：米山聡一　　第２節：西川

第３章：西川

第４章：大賀琢磨　　第２節：西川

８．調査の図面・写真等の記録類や遺物等は、つくば市教育委員会に保管している。

９．調査の実施及び報告書刊行まで下記の関係諸機関・諸氏に御協力、御助言を賜りました。記して感謝申し上げる次第です。(敬称略)

茨城県教育庁文化課　　上郷地区各位　　高須賀地区各位　　つくば市経済部立地推進課
圏央道つくば西スマート IC 周辺地区産業用地連絡協議会　　(有) Stagehand　　加藤恭郎
株式会社セイム

凡　例

1.本書に用いた地図は下記のとおりである。

第１図　　：国土地理院発行　電子地形図 20 万分の 1「水戸」

第２・４図：国土地理院発行　電子地形図 2 万 5 千分の 1「つくば市高須賀」

2.本書に記してある座標値は世界測地系第Ⅸ系を使用している。全体図・遺構図の方位は、座標北を示す。

3.堆積土層及び遺物の色調については、『標準土色帖』2021 年版（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所 色票監修）を用いた。

4.標高は、東京湾平均海面（T.P.）を基準としている。

5.掲載した図面は以下の縮尺で表した。

遺構：全体図 1/1,000　トレンチ個別図・断面図 1/60・1/120

遺物：土器・鉄製品 1/3　石器 2/3・1/3

6.本書に用いたスクリーントーンは下記のとおりである。これによらない場合は各図中に凡例を示した。

遺構 …焼土範囲

遺物 …赤彩（K10%） …擦跡（K20%） …黒色処理（K30%） …煤（K40%）

目　次

序　文
例　言
凡　例
第１章　調査の経緯と方法
　第１節　調査の経緯 …… 1
　第２節　調査の方法 …… 2
第２章　遺跡の地理・歴史的環境
　第１節　地理的環境 …… 3
　第２節　地質的環境 …… 3
　第３節　歴史的環境 …… 4
第３章　調査の結果 …… 8
　第１節　エリア１（北エリア） …… 9
　第２節　エリア２（中央エリア） …… 14
　第３節　エリア３（南エリア） …… 30
第４章　まとめ
　第１節　遺構の分布と遺物の出土量 …… 38
　第２節　各エリアのまとめ …… 41
抄録・奥付

挿 図 目 次

第１図　遺跡位置図 …… 1
第２図　エリア配置図 …… 2
第３図　基本層序 …… 3
第４図　周辺の遺跡 …… 5
第５図　【エリア１】トレンチ配置図 …… 8
第６図　【エリア１】T4・T6・T9 …… 10
第７図　【エリア１】T10・T11・T12・T13・T15・T16 …… 11
第８図　【エリア１】トレンチ出土遺物 …… 13
第９図　【エリア２】トレンチ配置図（１） …… 18
第10図　【エリア２】トレンチ配置図（２） …… 19
第11図　【エリア２】T1・T4・T5・T6・T7・T8・T9 …… 20
第12図　【エリア２】T10・T12・T14・T15・T16・T17・T21 … 21
第13図　【エリア２】T25・T28・T29・T30・T38・T39・T40 … 22
第14図　【エリア２】トレンチ出土遺物（１） …… 25
第15図　【エリア２】出土遺物（２） …… 26
第16図　【エリア２】出土遺物（３） …… 27
第17図　【エリア２】出土遺物（４） …… 28
第18図　【エリア３】トレンチ出土遺物 …… 32
第19図　【エリア３】トレンチ配置図（１） …… 33
第20図　【エリア３】トレンチ配置図（２） …… 34
第21図　【エリア３】トレンチ配置図（３） …… 35
第22図　【エリア３】T8・T16・T17・T24・T25・T27・29T・T30・T40・T54 …… 36
第23図　【エリア１】遺物出土量と遺構分布状況 …… 38
第24図　【エリア２】遺物出土量と遺構分布状況 …… 39
第25図　【エリア３】遺物出土量と遺構分布状況 …… 40

表 目 次

第１表　【エリア１】トレンチ一覧表 …… 9
第２表　【エリア１】トレンチ出土遺物観察表 …… 14
第３表　【エリア２】トレンチ一覧表 …… 15
第４表　【エリア２】トレンチ出土遺物観察表 …… 29
第５表　【エリア３】トレンチ一覧表 …… 31
第６表　【エリア３】トレンチ出土遺物観察表 …… 32
第７表　【エリア１】出土遺物一覧表 …… 42
第８表　【エリア２】出土遺物一覧表 …… 43
第９表　【エリア３】出土遺物一覧表 …… 46

図 版 目 次

図版１　【エリア１】

1　T4　１号遺構　覆土堆積状況

2　T6　１号遺構　覆土堆積状況

3　T6　１号遺構　遺物出土状況

4　T9　２号遺構　覆土堆積状況

5　T9　３号遺構　覆土堆積状況

6　T11　１号遺構　覆土堆積状況

7　T12　１号遺構　覆土堆積状況

8　T14　１号遺構　検出状況

図版２　【エリア１】【エリア２】

1　T15　１号遺構　覆土堆積状況

2　T15　２号遺構　覆土堆積状況

3　T16　１号遺構　検出状況

4　T16　１号遺構　覆土堆積状況

5　T4　１号遺構　覆土堆積状況

6　T5　１号遺構　覆土堆積状況

7　T6　１号遺構　検出状況

8　T6　１号遺構　覆土堆積状況

図版３　【エリア２】

1　T6　２号遺構　覆土堆積状況

2　T7　１号遺構　覆土堆積状況

3　T8　１号遺構　覆土堆積状況

4　T9　１号遺構　覆土堆積状況

5　T9　３号遺構　遺物出土状況

6　T11　１号遺構　遺物出土状況

7　T15 遺構検出状況１

8　T15 遺構検出状況２

図版４　【エリア２】

1　T15　２号遺構　覆土堆積状況

2　T15　３号遺構　遺物出土状況

3　T16　１号遺構　検出状況

4　T16　１号遺構　覆土堆積状況

5　T17　３号遺構　覆土堆積状況

6　T17　４号遺構　覆土堆積状況

7　T25　１号遺構　覆土堆積状況

8　T30　１号遺構　覆土堆積状況

図版５　【エリア２】【エリア３】

1　T38　１号遺構　検出状況

2　T39　１号遺構　覆土堆積状況

3　T40　１号遺構　覆土堆積状況

4　T40　１号遺構　遺物出土状況

5　T8　１号遺構　覆土堆積状況

6　T17　１号遺構　検出状況

7　T25　１号遺構　覆土堆積状況

8　T25　２号遺構　覆土堆積状況

図版６　【エリア３】

1　T25　３号遺構　覆土堆積状況

2　T26　１号遺構　検出状況

3　T27　１号遺構　覆土堆積状況

4　T27　１号遺構　粘土検出状況

5　T29　１号遺構　覆土堆積状況

6　T30　１号遺構　検出状況

7　T30　１号遺構　覆土堆積状況

8　T30　１号遺構　遺物出土状況

図版７

【エリア１】トレンチ出土遺物

図版８

【エリア２】トレンチ出土遺物（１）

図版９

【エリア２】トレンチ出土遺物（２）

図版 10

【エリア２】トレンチ出土遺物（３）

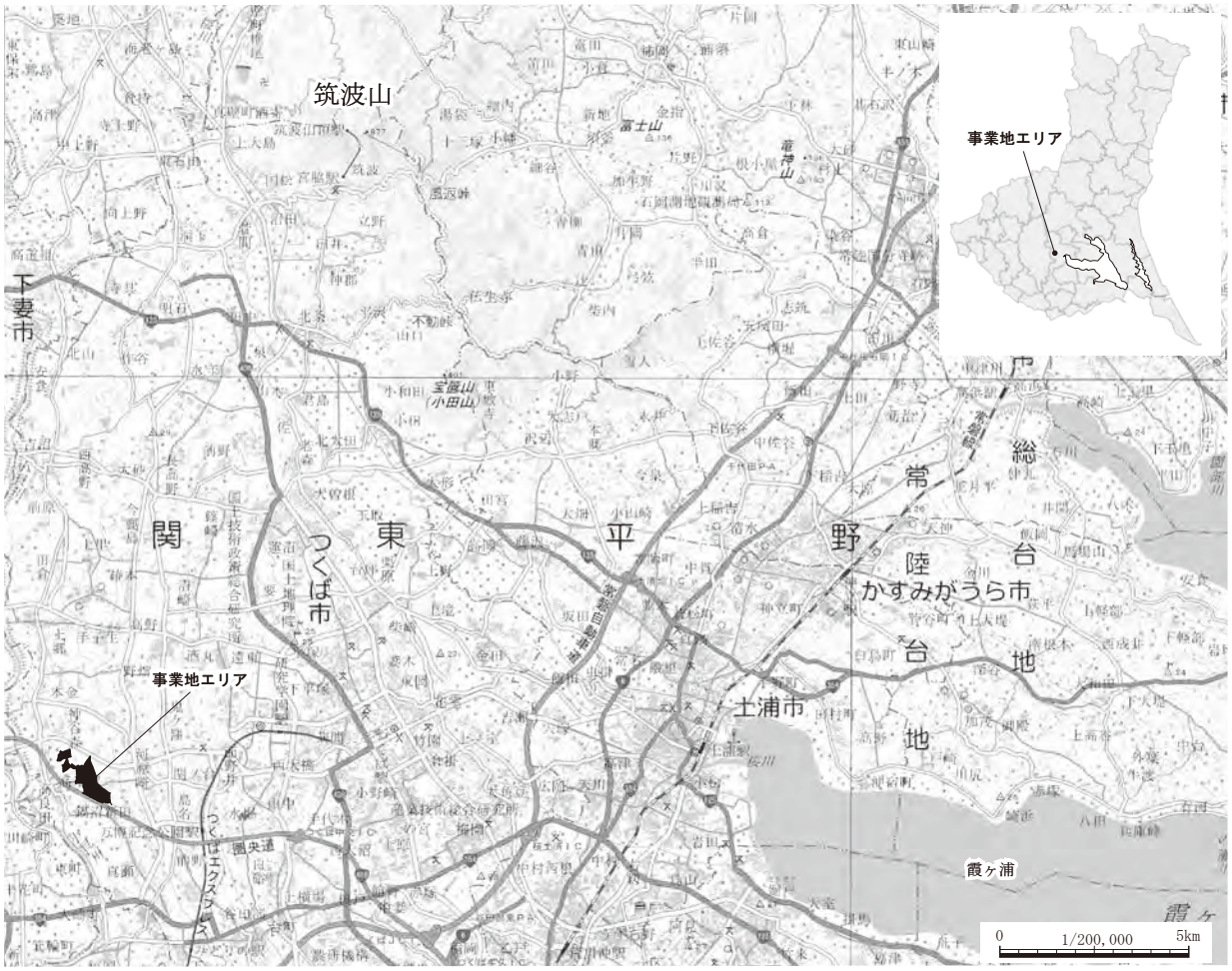
【エリア３】トレンチ出土遺物

第１章　調査の経緯と方法

第１節　調査の経緯

令和４年（2022 年）12 月６日、つくば市教育局文化財課（以下文化財課）は、つくば市経済部産業用地検討室から高須賀・上郷地区における産業用地の検討地（つくば市高須賀 1177 番ほか、約 76ha）に対する、埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについての照会を受けた。検討地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である上郷院内山遺跡（市番号 024）、高須賀熊の山遺跡（市番号 034）、高須賀遺跡（市番号 364）、高須賀堂ノ前遺跡（市番号 626）、高須賀道城入遺跡（市番号 627）に該当・隣接・近接しており、また、検討地が広大であったため、同月 20 日に文化財課は、遺跡の取扱いについては、現地踏査や試掘・確認調査を実施した上で協議する旨を回答した。

その後、用地の検討が進められ、令和６年（2024 年）７月に立地推進室（産業用地検討室から改編）から文化財課に、約 74ha の区域が改めて示され、試掘・確認調査の対象地についての協議を行った。調査対象地の面積は約４ha、調査面積は約 2,400 ㎡に及び、文化財課だけでは対応が不可能だったため、民間調査組織の調査支援を受けて実施する方法を検討した。立地推進室と文化財課は、同年９月から令和７年（2025 年）３月にかけて予算確保や支援会社への委託契約手続きを進め、調査は株式会社勾玉工房の支援を受けて実施することとなった。立地推進課（立地推進室から改編）が地元協議会や地権者に説明を行った上で、６月 16 日から調査に着手した。



第１図　遺跡位置図

第２節　調査の方法

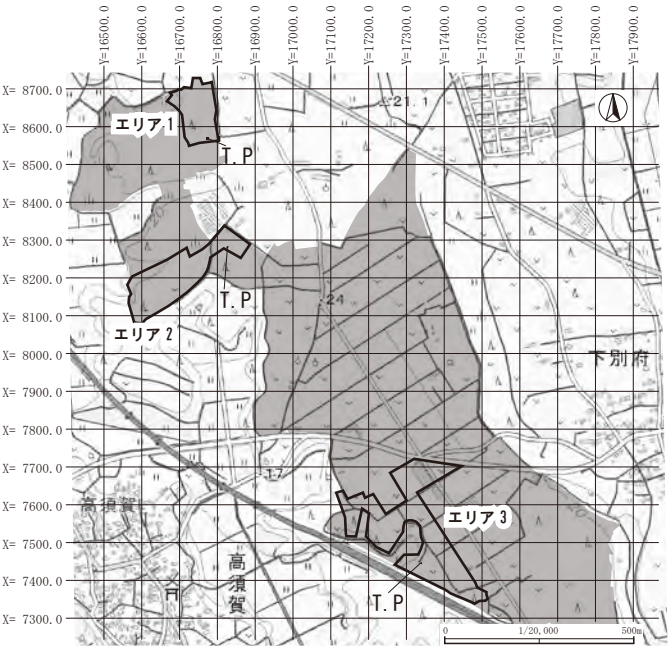
（１）調査区の現状

調査区は現状山林や畑地（水田）で、エリア１の「上郷神谷森遺跡・上郷院内山遺跡地区」の現況は山林である。エリア２の「高須賀熊の山遺跡・上郷院内山遺跡地区」も大半は山林でわずかに畑地を含んでいる。エリア３の「高須賀遺跡・高須賀道城入遺跡・高須賀堂ノ前遺跡地区」は、畑地（水田）が大半を占めている状況である。山林は杉が植林された箇所と雑木林とが混在している。

（２）調査の方法

調査前の準備として、各エリアに掘削するトレンチの本数、場所を計画してから、現地調査を実施した。トレンチは１ｍ×20ｍを基本としたが、地形や樹木の生育状況等により方向を変えたり、トレンチを分割して設定したりと現状に合わせた設定方法をとった。

下草刈りから始め、その後、計画したトレンチの範囲をトータルステーションを用いて設定した。トレンチ掘削には0.15㎥級と0.25㎥級のバックホウを用いて遺構確認面は表土下黄褐色ソフトローム上面まで掘り下げた。また、エリア２においては、トレンチ掘削に用いた0.25㎥級のバックホウに特殊アタッチメント（刈り払い機）を装着して、雑木の伐採を行った。その後人力により遺構確認作業を行い、遺構を検出した場合は、覆土堆積状況を観察するため、サブトレンチを設定して遺構の部分的な掘削を行った。



第２図　エリア配置図

各調査区ともこの作業を繰り返し行い、遺構の有無や分布の把握に努めた。遺物が出土した場合は、各トレンチ毎に一括で袋に収納することを基本とし、必要に応じて出土位置・高さを記録した。調査区内に設定したトレンチについては、写真やトータルステーションによる記録作業を行い完了した。

第２章　遺跡の地理・歴史的環境

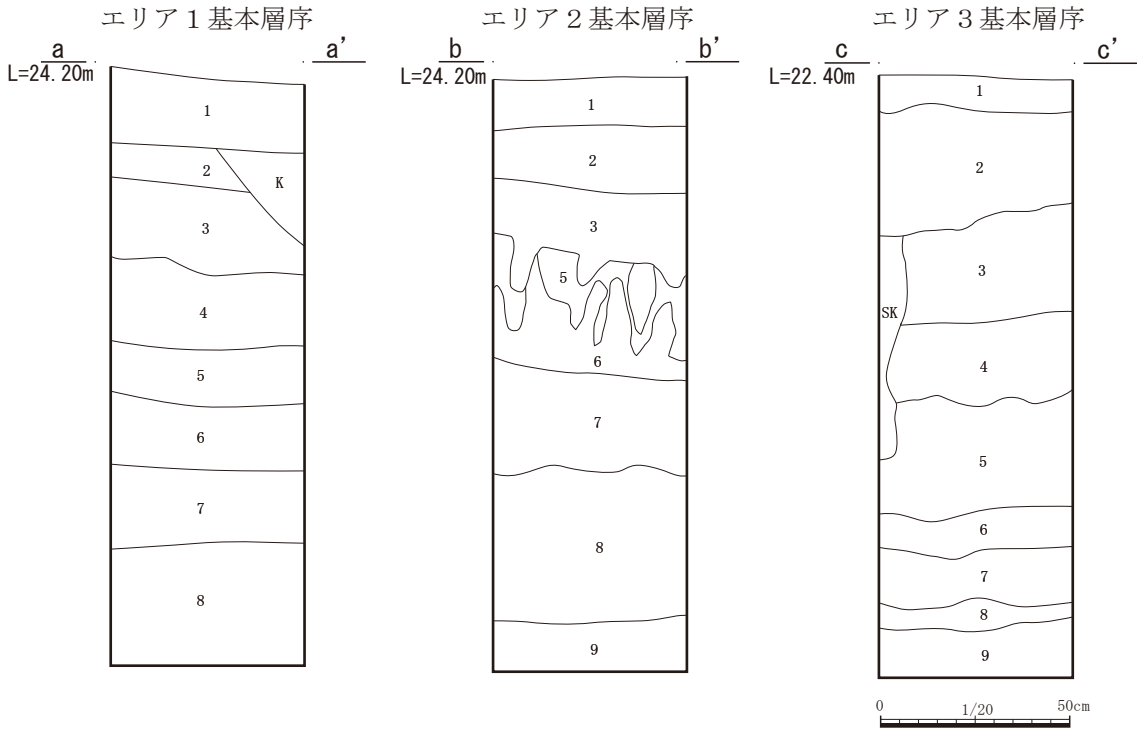
第１節　地理的環境

つくば市は筑波山を北端に、その南東へ延びる標高 20 ～ 25 ｍの平坦な台地上に位置している。この台地は、筑波・稲敷台地と呼ばれ、東を霞ケ浦に流入する桜川、西を利根川に合流する小貝川によって区切られている。また、それぞれの河川によって大きく開析された流域には、標高 5 ～ 10 ｍの沖積地が発達している。さらに、筑波・稲敷台地には、花室川・蓮沼川・小野川・谷田川・西谷田川などの中小河川がほぼ北から南にむかって流れており、これらの河川によって台地は浅く開析され、谷津や低地が細長く入り込んでいる。

今回の調査区はつくば市南西部の高須賀・上郷地区に所在し、西谷田川と小貝川に挟まれた南北に延びる台地上に位置している。

第２節　地質的環境

筑波・稲敷台地は、貝化石を産する海成砂層の成田層を基盤として、その上に斜行層理が顕著な黄褐色砂層・砂礫層の竜ヶ崎層、さらに灰白色の泥質粘土層である常総粘土層及び褐色の関東ローム層が連続して堆積し、最上部は腐植土層となっている。



第３図　基本層序

【エリア１基本層序】
１.〈表土層〉（暗褐色土）
２.〈漸移層〉暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（5㎜）極少量　ローム粒子（-1ｍｍ）少量　しまりなし　やや粘性あり
３.〈ソフトローム層〉褐色土（10YR4/6）　多量のロームブロック（20-50ｍｍ）含む　ややしまりなし　やや粘性あり
４.〈ハードローム層〉褐色土（10YR4/4）　しまり粘性強
５.〈ハードローム層〉褐色土（10YR4/6）　しまり粘性強
６.〈第Ⅱ黒色帯〉褐色土（10YR4/6）　赤色スコリア極少量含む　しまり粘性強
７.黄褐色土（10YR5/6）　黒色スコリア　極少量　含む　しまり粘性強
８.黄褐色土（10YR5/6）　黒色粒子少量含む　しまり粘性強

【エリア２基本層序】
１.〈表土層〉（黒褐色土）
２.〈耕作土〉（黒褐色土）
３.〈耕作土〉黒褐色土（10YR3/2）　焼土ブロック（3㎜）極少量　ローム粒子（1-2㎜）多量　ややしまりなし　やや粘性なし
４.〈漸移層〉黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（1-2㎜）極多量　ロームブロック（5-10ｍｍ）多量　ややしまりあり　やや粘性なし
５.〈ソフトローム層〉褐色土（10YR4/6）　わずかに赤色スコリア含む　ややしまりなし　粘性あり
６.〈ハードローム層〉褐色土（10YR4/4）　わずかに赤色スコリア・白色スコリア・黒色スコリア含む　しまりあり粘性あり
７.〈第Ⅱ黒色帯〉暗褐色土（10YR3/6）　わずかに赤色スコリア・白色スコリア・黒色スコリア含む　しまり強い粘性あり
８.にぶい黄褐色土（10YR5/4）　わずかに白色スコリア・黒色スコリア含む　しまり粘性あり（非常に硬く粘性強い）
９.〈ハードローム層〉にぶい黄褐色土（10YR5/4）　しまり粘性強い

【エリア３基本層序】
１.〈表土層〉
２.〈耕作土〉
３.〈漸移層〉褐色土（10YR4/4）　ロームブロックを多く含む　粘性強い　しまりやや弱い
４.〈第Ⅱ黒色帯〉暗褐色土（10YR3/4）　ハードローム層　赤色スコリア極少量　しまり粘性強　第２黒色帯（BB2）相当
５.〈ハードローム層〉黄褐色土（10YR5/6）　ハードローム層　小礫（径 5㎜以下）極少量　白色スコリア極少量　しまり粘性強い
６.〈ハードローム層〉にぶい褐色土（10YR5/4）　黒色スコリア極少量　しまり粘性強い
７.〈ハードローム層〉にぶい黄褐色土（10YR4/3）　黒色スコリア少量　赤色スコリア極少量　しまり粘性強い
８.〈ハードローム層〉褐色土（10YR4/6）　黒色スコリア極少量　粘性強い　しまりなし
９.〈ハードローム層〉褐色土（10YR4/6）　黒色スコリア極少量　しまり粘性強い

第３節　歴史的環境

今回の調査対象範囲はつくば市高須賀・上郷地区内の周知の埋蔵文化財包蔵地とその隣接・近接する範囲で、上郷神谷森遺跡・上郷院内山遺跡・高須賀熊の山遺跡、高須賀遺跡・高須賀道城入遺跡を含む３つのエリアに分かれている。調査区周辺の西谷田川や小貝川流域の台地上には、旧石器から近世にかけての遺跡が多く所在している。

旧石器時代の遺跡は、高須賀中台東遺跡で石器集中地点３か所が確認され、後期旧石器時代のナイフ形石器や石刃・剥片など 42 点が出土している。石材はガラス質安山岩と黒曜石が大半を占めるほか、珪質頁岩・メノウがみられる。ほかに周辺地域では、西谷田川左岸の元宮本前山遺跡・下河原崎谷中台遺跡でも石器集中地点が確認されている。

縄文時代の遺跡では、西谷田川左岸台地上縁辺部に位置する元宮本前山遺跡で早期後葉の炉穴や陥し穴が確認されている。前期では、高須賀中台東遺跡で竪穴建物跡６棟、陥し穴５基、土坑 29 基、集石遺構２か所が確認されている。高須賀中台遺跡で竪穴建物跡１棟が確認され、黒浜式期に比定される土器の破片が出土している。上郷院内山遺跡は中期から後期、上郷神谷森遺跡は中期から晩期にかけての遺跡である。上郷神谷森遺跡では竪穴建物跡 18 棟が検出されている。遺構は加曽利ＥⅢ式期が中心であるが、加曽利ＥⅣ期に比定される竪穴建物跡が１棟含まれる。遺物ではキャリパー形の深鉢形土器を中心に、鉢形土器・器台形土器が出土している。ほかには、現在は湮滅した高須賀中台貝塚もこの時期とされる。

今回の調査区に含まれる高須賀熊の山遺跡では、後期前葉堀之内１式期を中心とする大量の土器が出土している。高須賀中台東遺跡の第 274・283・291 号土坑からは堀之内式・安行１式の土器片が、遺構外からは前期（関山式・黒浜式）、中期（加曽利Ｅ式）、後期（称名寺式・堀之内式・安行１・２式）、晩期（安行３ｂ式）などが出土していることから、前期から晩期にかけて、断続的に人々が生活していたことが窺える。

弥生時代の遺跡として確認されているものは少ない。今回の調査区周辺では高須賀熊の山遺跡・高須賀道城入遺跡、西谷田川左岸の下河原崎高山遺跡がある。今回の調査区に含まれる高須賀道城入遺跡では焼失家屋とみられる竪穴建物跡 2 棟、土坑 29 基が確認され、後期前半の弥生土器（広口壺・鉢）・石器（敲石・磨石）が出土している。土坑は形状や配置状況から墓壙の可能性が示されている。

古墳時代の遺跡は多く、今回の調査区周辺の各地でみられるようになる。前期では高須賀中台遺跡・上郷神谷森遺跡・高須賀中台東遺跡・上郷院内山遺跡で集落跡が確認されている。上郷神谷森遺跡では 12 棟の焼失建物跡を含む竪穴建物跡 28 棟が検出され、出土遺物が 1,000 点を超えるものや 1 辺が 7m を超える比較的大形のものも確認されている。遺物では五領期に比定される甕形土器が出土しており、有段口縁をもつ外来系と思われる壺等も含まれ、各地との文化交流の様相を窺い知ることができる。高須賀中台東遺跡では、竪穴建物跡から土製品（鏡形・糸巻形・翼状）が炉床面から出土し、炭化した野



第 4 図　周辺の遺跡

1：事業地範囲　2：高須賀熊の山遺跡　3：上郷院内山遺跡　4：高須賀熊の山城跡　5：上郷神谷森遺跡
6：上郷神谷森北遺跡　7：上郷大山南遺跡　8：上郷大山遺跡　9：上郷野手遺跡　10：上郷角内南遺跡
11：上河原崎八幡脇遺跡　12：上河原崎本田遺跡　13：元中北鹿島明神古墳　14：高須賀中台東遺跡
15：高須賀中台北遺跡　16：高須賀中台遺跡　17：高須賀城跡　18：高須賀堂ノ前遺跡　19：高須賀遺跡
20：高須賀道城入遺跡　21：高須賀ハナ遺跡

蒜や種子が床面に散在している。いずれも焼失家屋であることが共通しており、祭祀的行為との関連性も指摘されている。高須賀熊の山遺跡では、方形周溝墓２基、竪穴建物跡１棟などが確認されている。土師器はすべて前期のもので、赤彩されたものが比較的多く出土している。また、南関東系の土器の一つである口縁部に輪積み痕を残した甕が出土し注目される。上郷神谷森遺跡・上郷院内山遺跡でも同様に南関東系の土器が出土しており、上郷院内山遺跡では方形周溝墓も確認されている。つくば市内で後期以前に遡る中小型の墳墓とわかる例は、すべて古墳時代初め頃の方形周溝墓であり、弥生時代以前、市内では墳丘を有する墓の例は知られていない。ほかには、高須賀中台北遺跡・高須賀遺跡でも古墳時代前期を主とする遺跡が確認されている。

今回の調査区周辺では古墳時代中期の竪穴建物跡は確認されていない。西谷田川左岸の元宮本前山遺跡は、半世紀前後の短期間のうちに廃絶された中期前半の集落跡で、確認された竪穴建物跡 31 棟のうち 14 棟が焼失建物跡であった。石製模造品製作工房跡も確認されており、これを中心に全体として相互に関連を持つ専業的生産形態の集落であったと考えられている。下河原崎谷中台遺跡では、中期の竪穴建物跡 32 棟が確認され、県内初の琴柱形石製品が出土している。

後期になると次第に大規模な集落が形成され、台地の内陸部までに及ぶようになる。今回の調査区から東へ約３㎞にある島名熊の山遺跡からは、古墳時代前期から平安時代までの 2,600 棟以上の竪穴建物跡が確認されており、その規模は県内でも最大級のものである。後期には、今回の調査区周辺においても古墳がみられるようになる。高須賀熊の山古墳群の円墳６基をはじめ、上郷台宿古墳群・上河原崎小山台古墳・元中北鹿島明神古墳などでいずれも円墳が確認されている。下河原崎高山古墳群は前方後円墳・帆立貝式古墳・方墳・円墳の合計 11 基で構成される古墳群と考えられている。中でも第 5 号墳は６世紀から７世紀初頭に築造された墳長 40 ｍの前方後円墳で、未盗掘の箱式石棺を確認し、多数の埋葬人骨と銅鋺、銀装大刀などの副葬品が出土している。

奈良時代になると、調査区周辺地域は、河内郡嶋名郷に属していたと推定されるが、遺跡は少ない。島名地区の島名熊の山遺跡や島名八幡前遺跡の集落は、大型の竪穴建物跡とそれに付随する掘立柱建物が中心で、真北を主軸とした配置、集落の中央部にＬ字状に掘立柱建物群が配置されるなど、郷関連の官衙的施設の可能性も指摘されている。

平安時代には、遺跡数の減少が顕著となる。現在、集落跡が確認されているのは、島名地区の島名熊の山遺跡・島名本田遺跡・島名八幡前遺跡のみで、鍛冶生産や紡績などの手工業関連の遺構・遺物が確認されている。西谷田川左岸の下河原崎谷中台遺跡では、８世紀後葉の竪穴建物跡１棟と９世紀前半の火葬墓１基が、下河原崎高山遺跡では、９世紀中葉の竪穴建物跡１棟と火葬墓１基が確認されている。

古代末期、調査区周辺は八条院領として立荘された田中荘に組み込まれたと考えられる。同荘は鎌倉幕府の成立後小田氏の支配下に入る。中世の遺跡では、調査区近隣に高須賀城跡・高須賀熊の山城跡がある。前者には土塁や堀の跡が残っている。島名地区では、島名八幡前遺跡の東部で 13 世紀末から 14 世紀頃の墓坑が多く確認されている。島名前野東遺跡では、ほぼ同じ時期の１町四方の堀に囲まれた方形居館が確認されており、島名地区一帯を治めていた有力者の居宅と考えられている。島名熊の山遺跡では、永仁５（1297）年、遺跡の中央部西寄に妙徳寺が開山しており、梵鐘の乳や鰐口などの鋳型片が出土した鋳造土坑が確認されている。15 世紀後半から 17 世紀前半にかけての墓域が確認され、寺域周辺は防御施設としての機能を果たしたことが明らかとなっている。

調査区近隣の高須賀堂ノ前遺跡では、戦国期（16 世紀）とみられる地下式抗１基、土坑３基が確認されている。３基の土坑から土師質土器（小皿・鉢）、銭貨（永楽通宝）が出土し、遺構の形状や出土遺物から墓坑と考えられている。地下式坑からは土師質土器（小皿・鉢・内耳鍋）、石器（砥石・磨石）

のほか凝灰岩質砂岩の石塔（五輪塔地輪ヵ）の破片が出土している。同じく近隣の高須賀道城入遺跡では、室町時代とみられる７基の土坑から土師質土器のほか陶器片、石塔（五輪塔火輪ヵ）などが出土し、いずれも土坑墓の可能性が考えられている。同遺跡では、江戸時代（17 世紀）の掘立柱建物跡５棟が確認されている。すべて側柱建物で、周囲の墓壙の配置状況から寺院関連の建物と考えられている。土坑は 17 世紀から 19 世紀前半のもので墓壙の可能性がある。溝跡からは遺跡からの出土例が全国的に少ない矢立が出土している。近世の遺跡は、発掘調査例が少なく貴重な成果となっている。

参考文献

小泉光正　1991『神谷森遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 66 集　㈶茨城県境域財団

茂木悦男　1998『高須賀中台遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 142 集　（㈶）茨城県教育財団

関口友紀　2000「高須賀熊の山遺跡試掘調査」　つくば市教育委員会編『つくば市内遺跡－平成 11 年度発掘調査報告－』つくば市教育委員会

石橋充・広瀬季一郎編　2001『つくば市遺跡分布調査報告書－谷田部地区・桜地区－』つくば市教育委員会

高野裕璽　2006『元宮本前山遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 265 集　㈶茨城県教育財団

菊地直哉　2007『島名八幡前遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 283 集　㈶茨城県教育財団

石橋充・石川太郎　2008「上郷院内山遺跡隣接地試掘調査」　つくば市教育委員会編『つくば市内遺跡－平成 19 年度発掘調査報告－』つくば市教育委員会

石橋充　2010「つくば市域の古墳群」　佐々木憲一・田中裕編『常陸の古墳群』六一書房

坂本勝彦　2014『高須賀中台東遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 382 集　（公財）茨城県教育財団

海老沢稔　2015『元宮本前山遺跡２』茨城県教育財団文化財調査報告書第 404 集　（公財）茨城県教育財団

近江屋成陽・奥沢哲也　2016『高須賀堂ノ前遺跡・高須賀城入遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 406 集　（公財）茨城県教育財団

海老澤稔・見越広幸　2019『島名熊の山遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告集第 437 集　（公財）茨城教育財団

内堀団　2020『下河原崎高山古墳群２』茨城県教育財団文化財調査報告第 446 集　（公財）茨城県教育財団

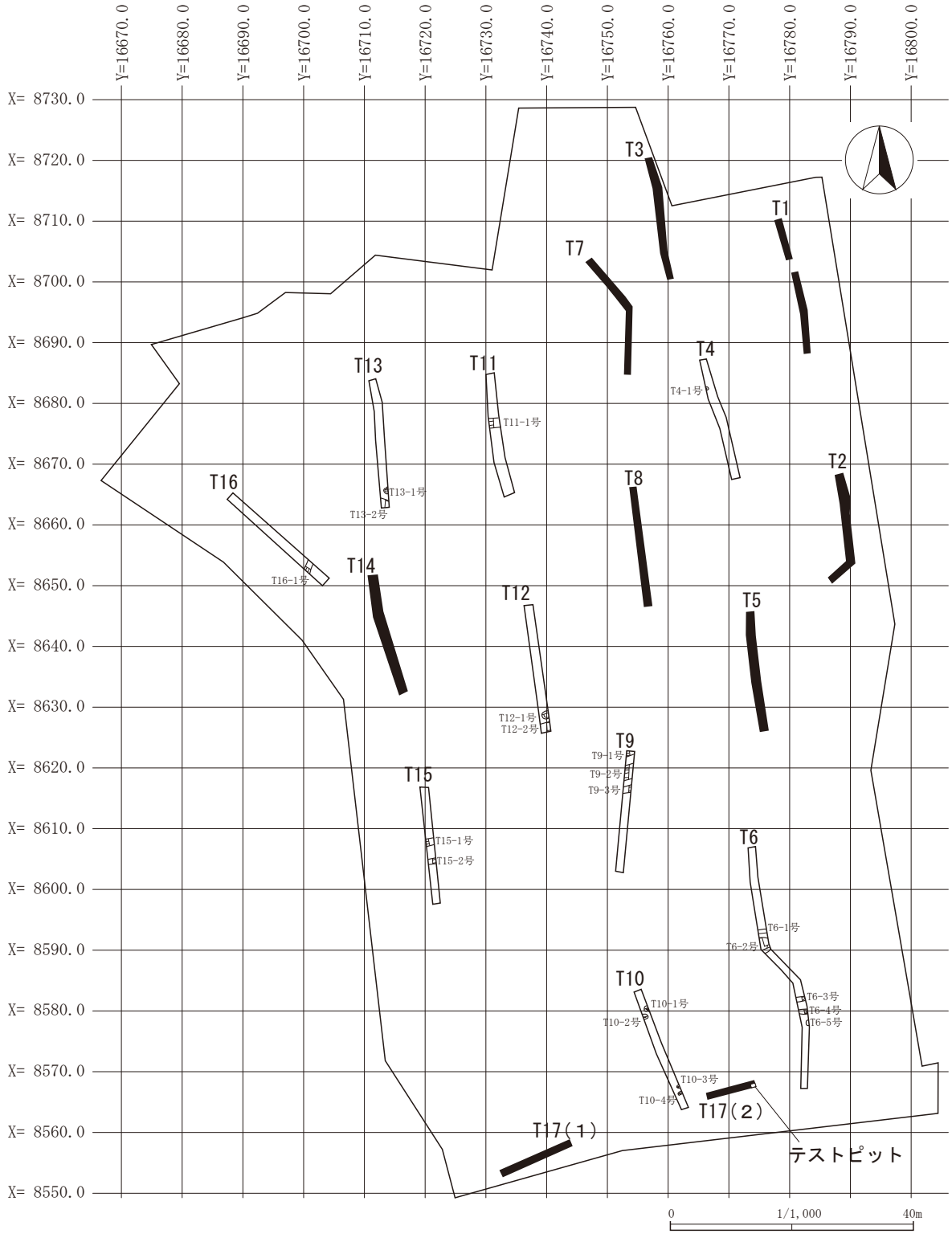
石川太郎・石川真理子　2024「上郷院内山遺跡　第４・５次試掘調査」「上郷神谷森遺跡　第３次確認調査　つくば市教育委員会編『つくば市内遺跡－令和元年度発掘調査報告－』つくば市教育委員会

天野早苗　2025『下河原崎谷中台遺跡３　下河原崎高山遺跡　下河原崎高山古墳群３』茨城県教育財団文化財調査報告第 478 集（公財）茨城県教育財団

第３章　調査の結果

調査対象である３つのエリアにおいて、計画したトレンチの総数は 114 か所（エリア１：17　エリア２：41　エリア３：56）である。

出土遺物の総量は、1,442 点 30,051.3g である。出土遺物の内訳は、第７表に掲載した。



第５図　【エリア１】トレンチ配置図

第１節　エリア１（北エリア）

エリア１は調査対象査区の最北に位置し、調査区北の一部は「上郷神谷森遺跡」に含まれている。調査区は樹枝状に形成された台地上にあり、その周りには水田が広がっている。現況は山林で、対象面積は 12,354 ㎡である。遺構確認面は表土下黄褐色ソフトローム上面である。エリア１では、T4・T6・T9・T10・T11・T12・T13・T15・T16 のトレンチから遺構が確認された。以下トレンチごとに述べるが、T4・T10・T13 は省略した。

第１表　【エリア１】トレンチ一覧表

トレンチ番号	検出遺構数	出土遺物 点数	出土遺物 重量	※袋番号
T1	－	7	83.3	154・155
T2	－	－	－	
T3	－	3	17.0	156
T4	1	5	108.5	157
T5	－	8	201.9	158・159・185
T6	4	34	2468.6	160・161・162・163・164・165・166
T7	－	85	2655.4	167・168・169・170・171
T8	－	1	42.6	172
T9	3	8	123.1	173・174
T10	4	6	123.2	175・176
T11	1	5	331.2	177・178
T12	2	21	262.3	179・180・181
T13	2	2	18.9	182・183
T14	－	6	35.3	184
T15	2	5	185.9	185・186
T16	1	11	100.0	187・188
T17	－	6	674.3	189・190・191・196

※「袋番号」とは、遺物を収納した袋に付した番号であり、本書『第７表』に、その内容を記載した。

◆ T6

T6 は調査区南端に設定したトレンチで、ここからは５つの遺構が確認された。遺構確認面は地表面から 51 ㎝の深さである。地形はほぼ平坦である。

１号遺構はトレンチ中央付近で確認された。壁高約 20㎝、遺構の北壁は直線で東西方向に伸びる。遺物として縄文土器（第８図 T6- １）と凹石（図版７　T6- ６）などが出土している。この遺構と掘り込みの深い２号遺構が重複している。覆土は１号遺構が暗褐色土を主体とし、やや粘性がある。２号遺構の覆土は黒褐色土を主体とし下層に行くほど明るくなっている。

２号遺構は遺構の北壁と東壁を検出した。この他にピットなど３つの遺構が確認された。

◆ T9

T9 は T6 の北西に設定したトレンチで、３つの遺構が確認された。これらの遺構はトレンチの北側に集中している。遺構確認面は地表面から 61 ㎝の深さである。

１号～３号遺構は規模の大小はあるがいずれも溝跡と推測される。遺構確認面からの深さは１号が 24 ㎝、２号が 70 ㎝、３号が 43 ㎝である。

◆ T11

T11 は T8 の北西に設定したトレンチで、中央付近から北に向かって徐々に傾斜しトレンチ北端手前で急に落ち込み、北側端部は谷地形にまで及んでいる。遺構確認面は地表面から約 46 ～ 80 ㎝の深さである。

１号遺構はトレンチの中央付近で確認された。底面までの深さは 74 ㎝である。1 号遺構からは鉄滓と石器が 1 点ずつ出土している。

◆ T12

T12 は T9 の北西に設定したトレンチで、南側で２遺構が確認された。遺構確認面は地表面から 71 ㎝の深さである。

１号遺構は円形の平面形で、井戸状の遺構と推定される。遺物は縄文土器が出土している。

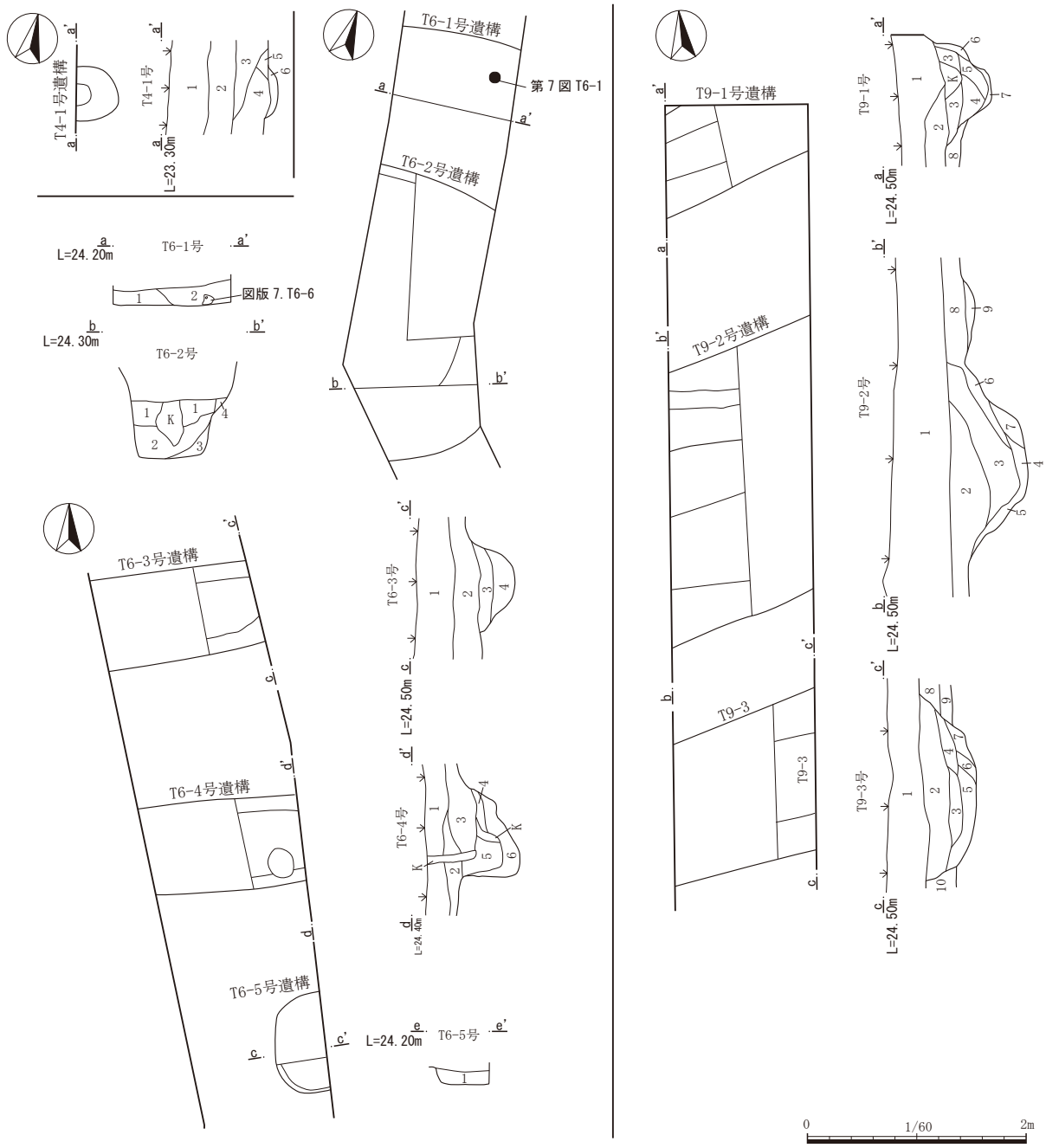
２号遺構はトレンチ南端で確認され方形ないし長方形を呈すると推測される。

◆ T15

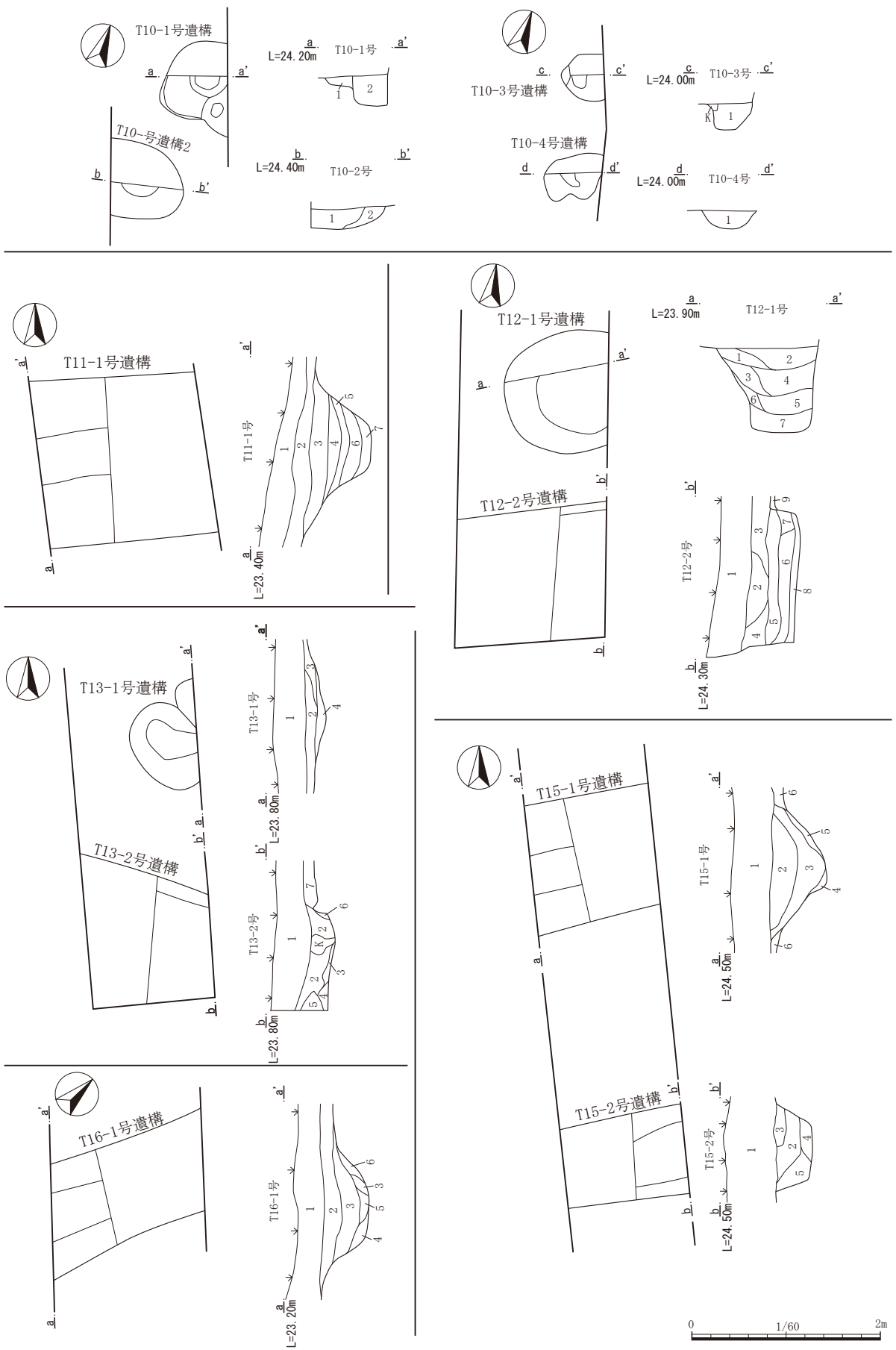
T15 は調査区西の南側に設定した。トレンチ底面はほぼ平坦で、中央から南寄りで２つの遺構が確認された。遺構確認面は地表面から 56 ㎝の深さである。２遺構とも溝跡と推測されるが、遺構断面は箱型のものと幅が狭い底面から上面に向かってラッパ状に開いていく形を呈するものとなっている。底面までの深さは１号遺構 58 ㎝と２号遺構 40 ㎝である。

◆ T16

T16 は調査区の北西端に設定したトレンチである。西側には古道が走り、北側の谷地形手前で終了している。遺構確認面は地表面から 40 ㎝の深さである。トレンチ南側で１つの遺構が確認され溝と推測される。断面は底面から上面に向かって開いていく形状を呈する。遺物は土師器片が出土している。



第 6 図　【エリア１】T4・T6・T9



第７図　【エリア１】T10・T11・T12・T13・T15・T16

【T4-1 号】
1．表土
2．灰黄褐色土（10YR4/2）　ローム粒子（-1mm）極少量　しまり粘性なし
3．灰黄褐色土（10YR4/2）　黒褐色土　極少量　しまりややあり　粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/2）　灰黄褐色土　少量　しまり粘性ややあり
5．黒褐色土（10YR3/2）　灰黄褐色土　多量　ロームブロック（5mm）極少量　しまりあり　粘性ややあり
6．暗褐色土（10YR3/3）　灰黄褐色土　少量　しまり粘性あり

【T6-1 号】
1．暗褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10mm）少量　しまりあり　粘性ややあり
2．暗褐色土（10YR6/4）ロームブロック（10mm）多量　しまりなし　粘性ややあり
【T6-2 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1mm）少量　ロームブロック（3-5mm）少量　しまり粘性ややあり
2．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-2mm）少量　ロームブロック（3-5mm）極少量　しまり粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（10mm）多量　しまりあり　粘性ややあり
4．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10mm）極多量　しまり粘性ややあり
【T6-3 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1mm）少量　ロームブロック（5mm）極少量　しまりなし　粘性ややあり
3．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2mm）少量　ロームブロック（5-10mm）多量　しまりなし粘性ややあり
4．K（攪乱）
【T6-4 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（10mm）極少量　しまり粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（5-10mm）極少量　ローム粒子（-1mm）極少量　しまり粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5mm）極少量　ローム粒子（-2mm）極少量　しまり粘性なし
5．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2mm）少量　しまり粘性なし
6．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5-10mm）多量　ローム粒子（2mm）多量　しまりあり　粘性ややあり
【T6-5 号】
1．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3-10 ㎜）少量　しまりなし　粘性ややあり

【T9-1 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3-10mm）多量　ローム粒子（-2mm）多量　しまりややあり　粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまりあり　粘性ややあり
4．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）少量　しまり粘性ややあり
5．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性なし
6．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（10mm）多量　しまり粘性なし
7．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3-5mm）少量　しまり粘性なし
8．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3-10mm）少量　しまり粘性なし
【T9-2 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5-10mm）少量　ローム粒子（-2mm）多量　しまり粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3-5mm）少量　ローム粒子（-2mm）多量　しまり粘性なし
4．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまり粘性ややあり
5．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性ややあり
6．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3mm）少量　ローム粒子（2mm）多量　しまり粘性なし
7．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまり粘性ややあり
8．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（10-20mm）極少量　ローム粒子（-2mm）多量　しまり粘性なし
9．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3-10mm）極多量　ローム粒子（1mm）多量　しまりややあり　粘性なし
【T9-3 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-10mm）多量　ローム粒子（-2mm）極少量　しまりなし　　や粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性ややあり
4．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3-10mm）多量　しまりあり　粘性ややあり
5．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（5-30mm）極多量　しまり粘性ややあり
6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ロームブロック（5-10mm）極多量　ローム粒子（2mm）多量　しまり粘性ややあり
7．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（10mm）極多量　しまり粘性ややあり
8．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）多量　ローム粒子（-2mm）多量　しまりあり　粘性ややあり
9．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまりあり　粘性ややあり
10．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（-2mm）多量　しまり粘性なし

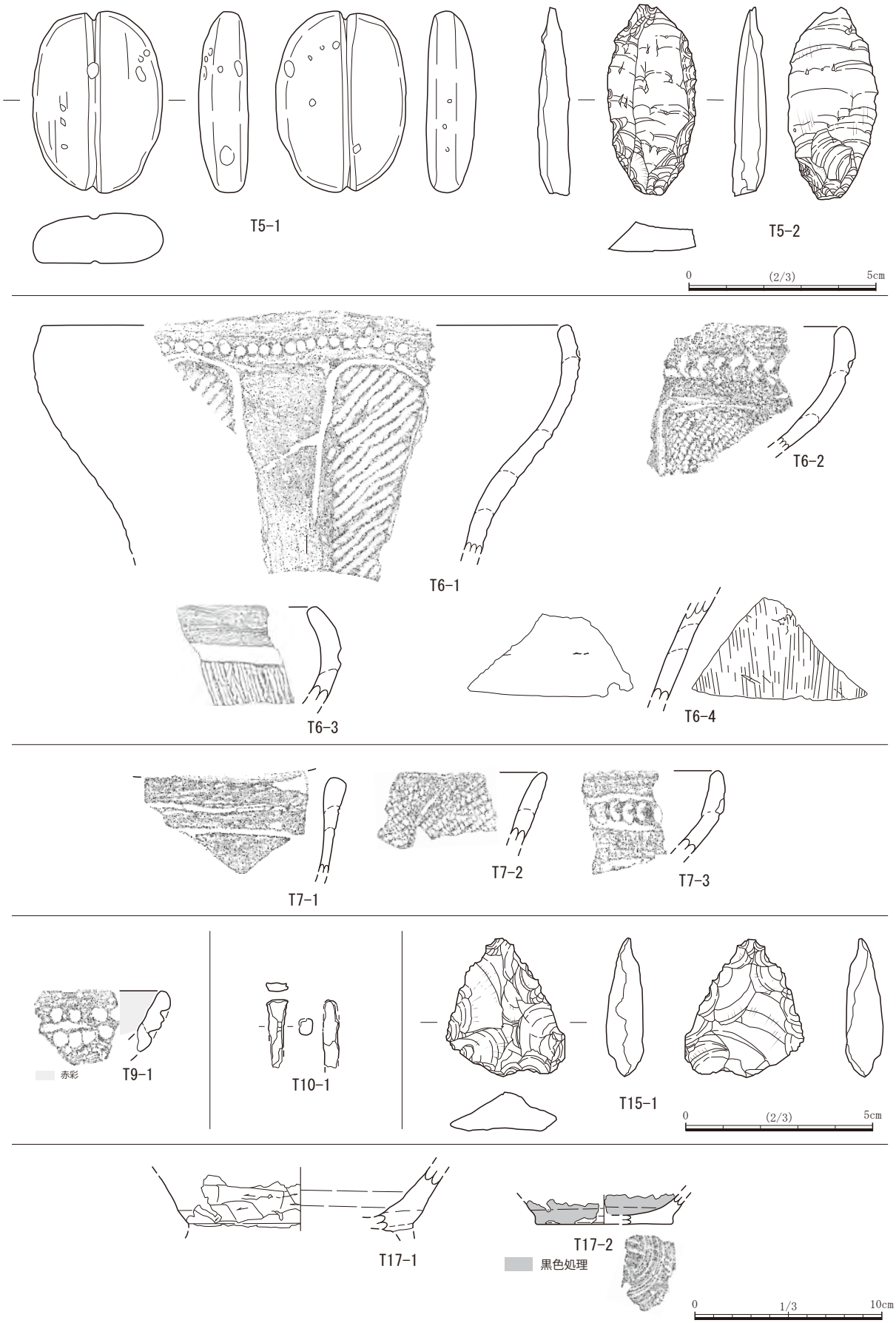
【T10-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性なし
2．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3-5mm）極多量　ローム粒子（-2 ㎜）多量　しまり粘性なし
【T10-2 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-2mm）多量　ロームブロック（5-10mm）多量　しまり粘性ややあり
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2mm）少量　ロームブロック（5-10mm）少量　しまり粘性ややあり
【T10-3 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（10 - 50mm）極多量　しまりあり　粘性ややあり
【T10-4 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3 - 10mm）少量　しまり粘性ややあり

【T11-1 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3mm）極少量　しまり粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性なし
4．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5-30mm）少量　しまり粘性ややあり
5．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10mm）少量　しまり粘性ややあり
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10-20mm）多量　しまり粘性ややあり
7．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10mm）極多量　しまりあり　粘性ややあり

【T12-1 号】
1．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5mm）少量　しまりなし　粘性ややあり
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）極少量　しまりなし　粘性ややあり
3．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまり粘性ややあり
4．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）少量　しまりなし　粘性ややあり
5．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5mm）少量　しまりなし　粘性ややあり
6．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5-10mm）少量　しまり粘性なし
7．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（10-20mm）少量　しまり粘性なし
【T12-2 号】
1．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5mm）少量　しまりなし　粘性ややあり
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）極少量　しまりなし　粘性ややあり
3．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまり粘性ややあり
4．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）少量　しまりなし　やや粘性あり
5．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-20mm）多量　しまり粘性ややあり
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（50-80mm）多量　黒褐色土少量　しまりややあり　粘性あり
7．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-10mm）少量　しまり粘性ややあり
8．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（10mm）少量　しまり粘性あり
9．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（5-10mm）少量　ローム粒子（-2mm）多量　しまり粘性なし

【T13-1 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまりなし　粘性なし
3．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5mm）少量　ローム粒子（1-2 ｍｍ）多量　しまりなし　粘性ややあり
4．褐色土（10YR4/3）　ロームブロック（3-10mm）多量　しまり粘性ややあり
【T13-2 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5-10mm）多量　しまりなし　粘性ややあり
3．褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3-10mm）多量　しまりややあり　粘性あり
4．灰黄褐色土（10YR4/2）　ロームブロック（3mm）少量　しまりややあり　粘性あり
5．黄褐色土（10YR5/8）　しまりあり　粘性ややあり
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3mm）少量　しまりあり　粘性ややあり
7．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性なし

【T15-1 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-5mm）少量　しまり粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（3-10mm）少量　しまり粘性なし
4．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（10 - 20mm）多量　しまり粘性なし
5．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-20mm）多量　しまり粘性なし
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5mm）多量　しまり粘性なし
【T15-2 号】
1．表土（黒褐色土）
2．黒褐色土（10YR3/1）　暗褐色土少量　ロームブロック（3-5mm）少量　しまり粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/2）　暗褐色土少量　ロームブロック（5mm）極少量　しまり粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（10 - 20mm）極少量　しまりなし　粘性ややあり
5．黒褐色土（10YR3/1）　黄褐色土多量　しまり粘性ややあり



第８図　【エリア１】トレンチ出土遺物

第２表 【エリア１】トレンチ出土遺物観察表

番号	遺構等	種類	器種	法量（cm）			器形・整形の特徴	焼成	色調	胎土	重量（g）	備考
				口径	器高	底径						
T5-1	一括	石製品	石錘	長さ 4.3、幅 2.1、厚さ 1.2 g、石材：火成岩							20.8	
T5-2	一括	石器	ナイフ形石器	長さ 4.5 幅 2.1 厚さ 0.7、石材：黒曜石							7.8	
T6-1	1 号遺構 No.1	縄文	深鉢	(28.0)	〈12.3〉	—	外面:点状押圧文、沈線文、縄文 LR 横　内面：ミガキ	良好	内外面：橙（7.5YR7/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	205.7	加曽利ＥⅣ式
T6-2	1 号遺構 サブトレ 1	縄文	深鉢	—	〈6.6〉	—	外面：半截竹管刺突文、縄文 LR 横　内面：摩滅著しく不明。	良好	内外面：にぶい黄橙（10YR7/3）	白色粒子	130.0	加曽利ＥⅣ式
T6-3	1 号遺構 サブトレ 2	縄文	深鉢	—	〈5.1〉	—	外面：ミガキ、沈線文　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい黄橙（10YR7/4）	白色粒子・褐色粒子	43.5	中峠式ヵ
T6-4	1 号遺構 サブトレ 3	陶器	鉢	—	〈5.5〉	—	外面：ハケナデ　内面：自然釉付着	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR6/4）	白色粒子・黒色粒子	59.7	常滑
T7-1	1 号遺構	縄文	深鉢	—	〈5.1〉	—	外面：ミガキ、沈線文　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい黄橙（10YR7/3）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	45.9	縄文後期安行系式
T7-2	一括	縄文	深鉢	—	〈3.4〉	—	外面：縄文 LR 横　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい黄橙（10YR7/4）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子	30.6	加曽利Ｅ式
T7-3	一括	縄文	深鉢	—	〈4.4〉	—	外面：ミガキ、半截竹管刺突列文　内面：ミガキ	良好	内外面：浅黄橙（7.5YR8/4）	白色粒子・黒色粒子	27.7	加曽利Ｅ式
T9-1	2 号遺構	縄文	深鉢	—	〈3.2〉	—	外面:ミガキ、刺突文、縄文、赤彩　内面：ミガキ、赤彩	良好	内外面：素にぶい橙（7.5YR7/4）赤彩：橙（5YR6/6）	黒色粒子	15.2	加曽利Ｅ式
T10-1	一括	鉄製品	釘	長さ〈3.7〉、幅 1.2、厚さ 0.9、角釘、頭頂部。							6.7	
T15-1	2 号遺構	石器	鏃	長さ 3.3、幅 2.8、厚さ 0.9、石材：珪質頁岩							6.9	
T17-1	T17-1(1)	中世陶器	捏鉢	—	〈3.4〉	—	外面：ヘラケズリ、ナデ、高台貼付時周辺ナデ　内面：ロクロ整形	良好	内外面：黄灰（2.5Y6/1）	白色粒子・黒色粒子・石英	63.6	猿投窯 12c
T17-2	T17-1(1)	瓦器	塊	—	〈1.6〉	(7.2)	外面：ロクロ整形、底部回転糸切り、炭素吸着　内面:ロクロ整形、炭素吸着	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/3）	白色粒子・雲母	18.6	古代

第２節　エリア２（中央エリア）

エリア１の南に位置する調査区で、上郷院内山遺跡に隣接し、高須賀熊の山古墳群・高須賀熊の山遺跡が拡がっている。調査区は畑地と山林で構成され大半を山林が占める。山林の中には馬の背状の台地がありその北側と南側は谷地形となっている。対象面積は 25,754 ㎡である。なお、エリア２内には平成 11・15 年度（1999・2003 年度）に行われた「高須賀熊の山遺跡」の試掘調査区が含まれ、平成 11 年度調査では方形周溝墓２基、竪穴建物跡１棟、不明遺構４基が確認され、古墳時代前期の土師器甕や縄文土器（後期）が出土している。一方、平成 15 年度の調査では、縄文時代後期や古墳時代前期などの竪穴建物跡 10 棟のほか、中世の溝跡等が確認されている。

調査区内に重機によりトレンチを 41 本（T1 ～ T41）設定しその後人力を用いて遺構確認を行った。遺構確認面は表土下黄褐色ソフトローム上面である。

エリア２では T1・T4・T5・T6・T7・T8・T9・T10・T12・T14・T15・T16・T17・T21・T25・T28・T29・T30・T31・T38・T39・T40 のトレンチから遺構が確認された。また、明確な遺構は確認できなかったが、T27 では縄文時代後期の土器がまとまって出土しており、T32 でも縄文土器が出土しているため、浅い遺構や包含層が存在する可能性がある。

以下遺構が確認されたトレンチについて概要を報告する。

◆ T5

T5 は T4 の南に位置する。遺構確認面は地表面から 40 ㎝前後の深さである。トレンチ底面は平坦で、複数のトレンチャー痕が見られた。

1 号遺構は中央部から東に寄って確認された。遺構断面は底面から上面に向かって開く逆台形状を呈し、浅い溝跡と推測される。

◆ T6

T6 は T4 から北に 20 mほど離れた位置にある。遺構確認面は地表面から約 40 ㎝である。トレンチ底面は平坦ながら複数のトレンチャー痕が見られた。トレンチ内からは１号から３号までの３つの遺構が確認された。

１号遺構は隅丸長方形の平面形を呈し、南北 7.9 m、東西 6.7 mの大きさである。遺構底面は平坦で竪穴建物跡と推測される。遺物はハケ目を有する土師器が出土している。

２号遺構は中央部からやや西寄りで確認された。遺構断面は上面が開く「U」字状で､溝と推測される。

３号遺構は２号遺構のさらに西側で確認された。断面が弧状を呈する溝跡と推測される。

◆ T7

T7 は T6 の北約 20 mに位置する。遺構確認面は地表面から 30 ～ 40 ㎝である。トレンチ底面は平坦ながら複数のトレンチャー痕が見られた。トレンチ東端から 1 号遺構が確認された。

１号遺構は、隅丸方形ないし隅丸長方形で、遺構底面までの深さは確認面から 10 ～ 15 ㎝である。大きさは不明で、竪穴建物跡と推測される。覆土からは炭化物や焼土が多くみられた。遺構内からは縄文土器が出土している。

◆ T8

T8 は攪乱が多くみられる。底面は南から北に向かって緩く傾斜していく。遺構確認面までは地表面から 30 ㎝である。

１号遺構は中央部からやや南側で確認されたが、遺構北側は攪乱されている。全体の平面形は不明である。遺構内からは縄文土器や土師器片が出土している。

◆ T9

T9 は T8 の西に設定されたトレンチで、中央付近や北端部は既に攪乱されている。遺構確認面は地表面から 30 ㎝あまりである。底面は中央部付近から北に向かって徐々に傾斜している。

１号遺構は南端部で確認され、確認面から底面までの深さは 60 ㎝である。底面からは緩い傾斜で立ち上がり、その後急な角度で弧を描いて上面に至る。覆土は締まりの良い黒褐色土や褐色土が主体となっている。覆土からは土師器台付甕や器台などが出土している。同調査区内の西方からは平成 11 年度の試掘調査により方形周溝墓が確認されており、この遺構も方形周溝墓の周溝の可能性がある。

◆ T12

T12 は T10 の南に位置する。遺構確認面は地表面から

第 3 表　【エリア２】トレンチ一覧表

トレンチ番号	検出遺構数	出土遺物		袋番号
		点数	重量	
T1	－	28	228.0	3
T2	－	33	186.1	4
T3	－	7	142.6	5
T4	1	7	101.9	6・7・8
T5	－	8	127.2	9
T6	2	32	486.7	10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20
T7	1	25	240.4	21・22・23・24
T8	1	36	559.1	25・26
T9	1	111	2085.6	1・2・27・28・29・30・31・32
T10	1	140	2454.9	33・34・35・36・37・38・39・40・41・42
T11	－	44	1804	44・45・46・47・48・49・50・51・52・53・54・55・56・57・58・59
T12	1	15	409.1	60・61・62
T13	－	7	100.1	63
T14	1	68	1765.6	64・65・66・67・68
T15	3	55	560.1	69・70・71・72・73・74・75・130
T16	－	113	1956.6	76・77・78・79・80
T17	3	120	1413.7	81・82・83・84・132・131
T18	－	－	－	
T19	－	－	－	
T20	－	6	74.4	85
T21	－	14	181.2	86・87
T22	－	3	172.5	88
T23	－	7	85.9	133
T24	－	1	28.0	89
T25	1	6	35.6	134・135
T26	－	－	－	
T27	－	19	894.5	136・192
T28	－	1	30.0	137
T29	1	17	237.3	138・139
T30	1	15	272.3	140・141
T31	－	3	82.2	142
T32	－	36	1022.6	143・193
T33	－	25	591.8	144・194
T34	－	11	161.3	145
T35	－	－	－	
T36	－	10	74.5	146
T37	－	4	71.0	147
T38	1	16	249.2	148・149
T39	1	9	123.3	150・151
T40	1	21	687.4	152・153
T41	－	3	1056.4	195

約 25 ～ 30 ㎝である。底面はほぼ平坦である。トレンチの南端で１号遺構が確認された。

１号遺構の底面はほぼ平坦で壁の立ち上がりは急である。遺構内からは土師器片が出土している。

◆ T15

T15 は T12 の西に位置する。遺構確認面は地表面から約 40 ～ 50 ㎝である。底面は傾斜があり、南から北に向かって上がっていく。１号遺構から４号遺構が確認された。

１号遺構はトレンチの南方にある。断面は上方が開く「U」弧状を呈し、溝と推測される。遺物は土師器片が出土している。

２号遺構は中央部からやや南寄りにあり４号遺構と重複している。底面は平坦で底面からは土師器片が出土している。サブトレを設定し遺構の直線的な北側の壁を検出した。壁高は 18 ㎝、垂直な立ち上がりである。２号遺構は４号遺構に切られている。

４号遺構は確認面から 42 ㎝の深さである。遺構断面は緩く傾斜する壁を確認しており、こうしたことから２号遺構は竪穴建物跡、４号遺構は方形周溝墓の周溝の可能性が指摘される。

３号遺構はトレンチ北端部で確認され底面にはやや段差がある。遺構確認面からの深さは 10 ～ 20 ㎝で、遺物として土師器片が出土している。竪穴建物跡と推測される。

◆ T16

T16 は T14 の西に位置する。遺構確認面は地表面から 30 ㎝前後である。トレンチ底面は平坦である。トレンチ北端部で１号遺構が確認された。

１号遺構の底面を土層断面で見ると西側から東側に向かって傾斜している。底面までの深さは西側で 38 ㎝、東側で 55 ㎝である。竪穴建物跡の可能性を指摘したい。

◆ T17

T17 は T15 の西、T16 の南に位置する。遺構確認面は地表面から 50 ㎝でトレンチ底面は平坦である。トレンチ内からは 4 遺構が確認された。

１号遺構はトレンチの南方にあり、底面中央部は攪乱されている。深さは 12 ㎝である。断面は逆台形状を呈している。溝跡と推測される。

２号遺構は中央部付近にあり円形ないし楕円形の平面形を呈すると考えられ､底面までは 10 ㎝と浅い。

３号遺構はトレンチ北端部にあり底面は平坦である。確認面から底面までの深さは 37 ～ 45 ㎝である。

４号遺構からは遺物は出土せず、他の遺構から縄文土器と土師器が出土している。

◆ T21

T21 は調査区の中央部からやや西に位置し南に T37 がある。遺構確認面は地表面から約 40 ㎝でトレンチ底面は平坦である。

１号遺構はトレンチの中央部からやや北に寄って確認された。底面までの深さは 30 ～ 40 ㎝である。遺構断面は底面から上面に向かって段を有して開いていく。平面形は明瞭ではないが､溝と推測される。

◆ T25

T25 は調査区の西方､T24 の南に位置する｡遺構確認面は地表面から 36 ㎝でトレンチ底面は平坦である。

１号遺構は南端部が確認され、その部分の平面形は楕円形状である。底面までの深さ 60 ㎝で、遺構

断面は緩く弧を描きながら底面から上面に向かっていく。溝跡（周溝）の可能性を指摘しておきたい。

◆ T29

T29 は T28 の東に位置する。遺構確認面は地表面から約 40 ㎝である。トレンチ底面は北に向かって緩く傾斜し中央部からは角度を変え急な傾斜となっていく。

１号遺構はトレンチ南端部近くで確認された。深さ 46 ㎝、底部中央は一段窪んでいる。遺構断面は上面が開く逆台形状を呈している。浅い溝跡か土坑と推測される。

◆ T30

T30 は T29 の東に位置する。遺構確認面は地表面から 23 ～ 45 ㎝である。トレンチ底面は T29 と同様に北に向かって緩く傾斜し中央部からは急な傾斜となっていく。遺構はトレンチ北側の傾斜地から 2 遺構が確認された。

１号遺構は狭い下部から上部に向かって開いていくロート状の断面形を呈する。確認できた底面までの深さは 90 ㎝である。遺物は縄文土器が出土している。

２号遺構は１号遺構の北に位置する。遺構断面は「U」字状で、遺物は出土していない。いずれも土坑と推測される。

◆ T31

T31 は T30 の西に位置する。遺構確認面は地表面から 40㎝ である。トレンチ北端で遺構を確認したが、規模等は不明である。

◆ T38

T38 は T20 の南に位置する。遺構確認面は地表面から 40 ～ 45 ㎝である。トレンチ底面は平坦ながら南北方向のトレンチャー痕が認められる。

１号遺構はトレンチの北側寄りで確認された。遺構平面形は東壁側がほぼ直線的である。遺構底面までの深さは約 20 ㎝で底面には凹凸が見られる。平面形は南北に長い楕円形状で、大きさは南北 640 ㎝、東西 102 ㎝（トレンチ内）、底面までの深さは 15 ㎝である。

２号遺構は１号遺構の南に位置する小土坑である。

◆ T39

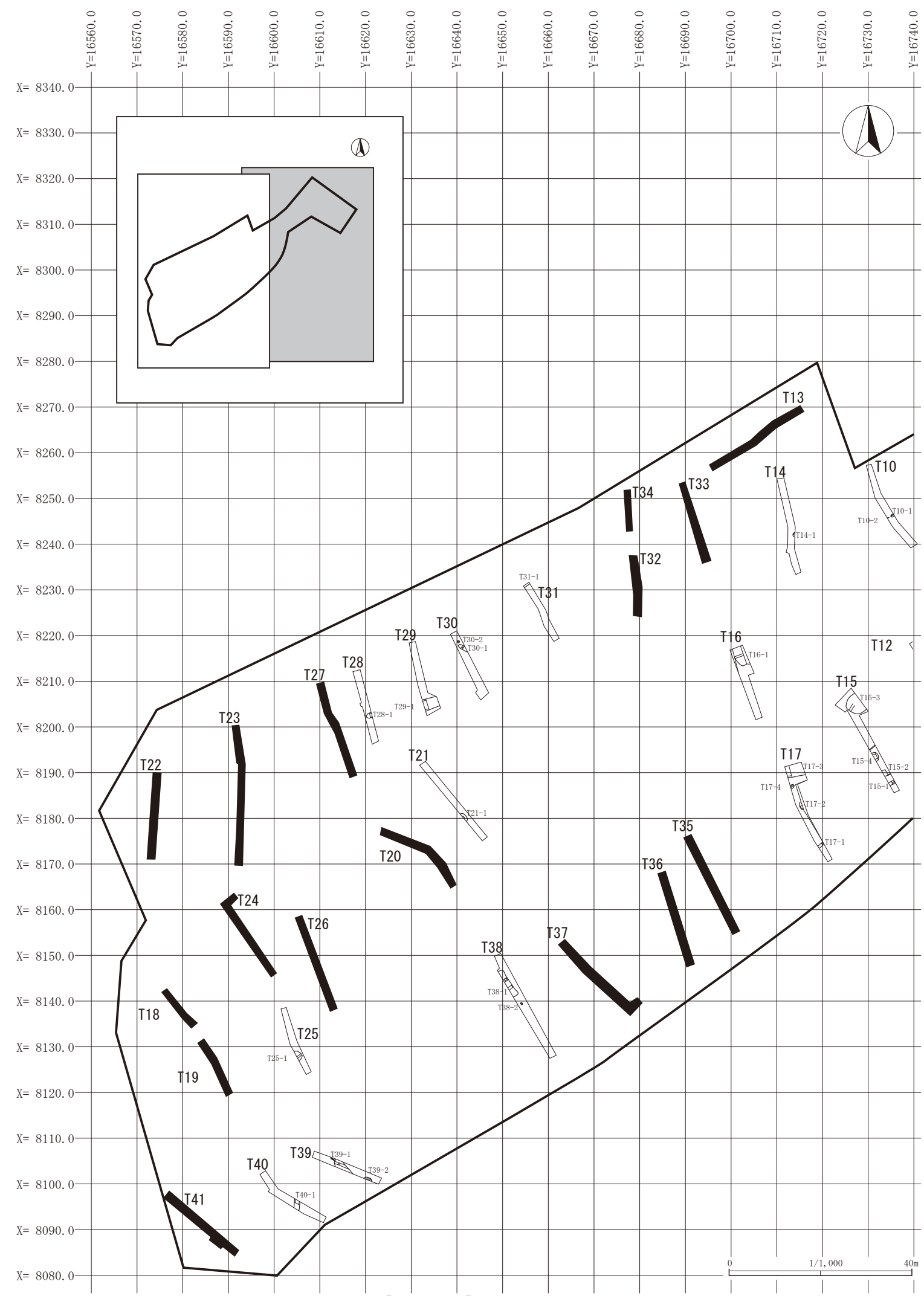
T39 は T26 の南に位置する。遺構確認面は地表面から約 55 ～ 60 ㎝である。

１号遺構はトレンチの中央で確認された。遺構は南北方向に走る溝状の遺構と推測される。底面までの深さは 36 ㎝、底面は凹凸があり、最深部が平坦ではなく弧状を呈している。

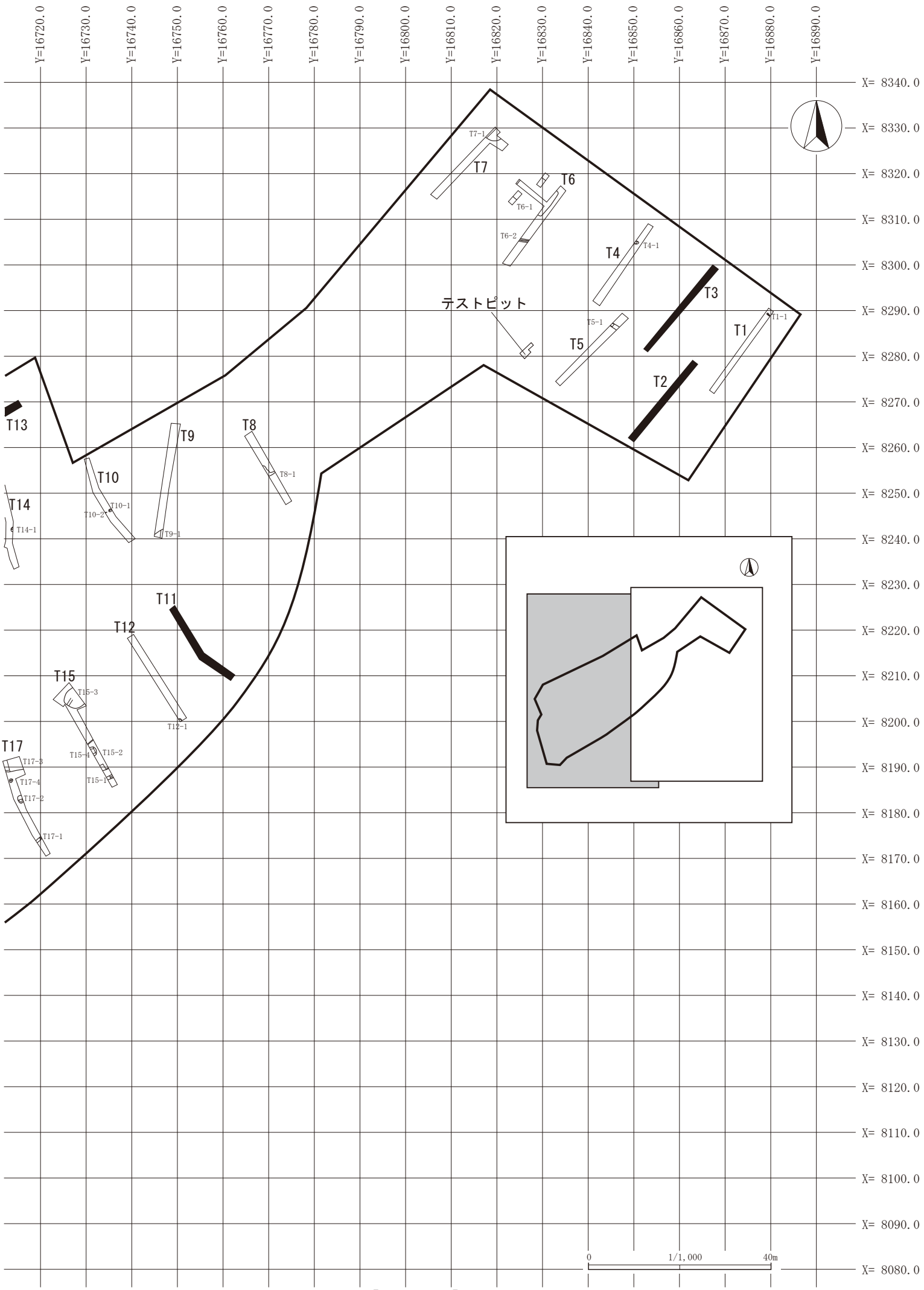
◆ T40

T40 は T39 の西に位置する。遺構確認面は地表面から約 55 ～ 60 ㎝で、トレンチ底面は平坦である。

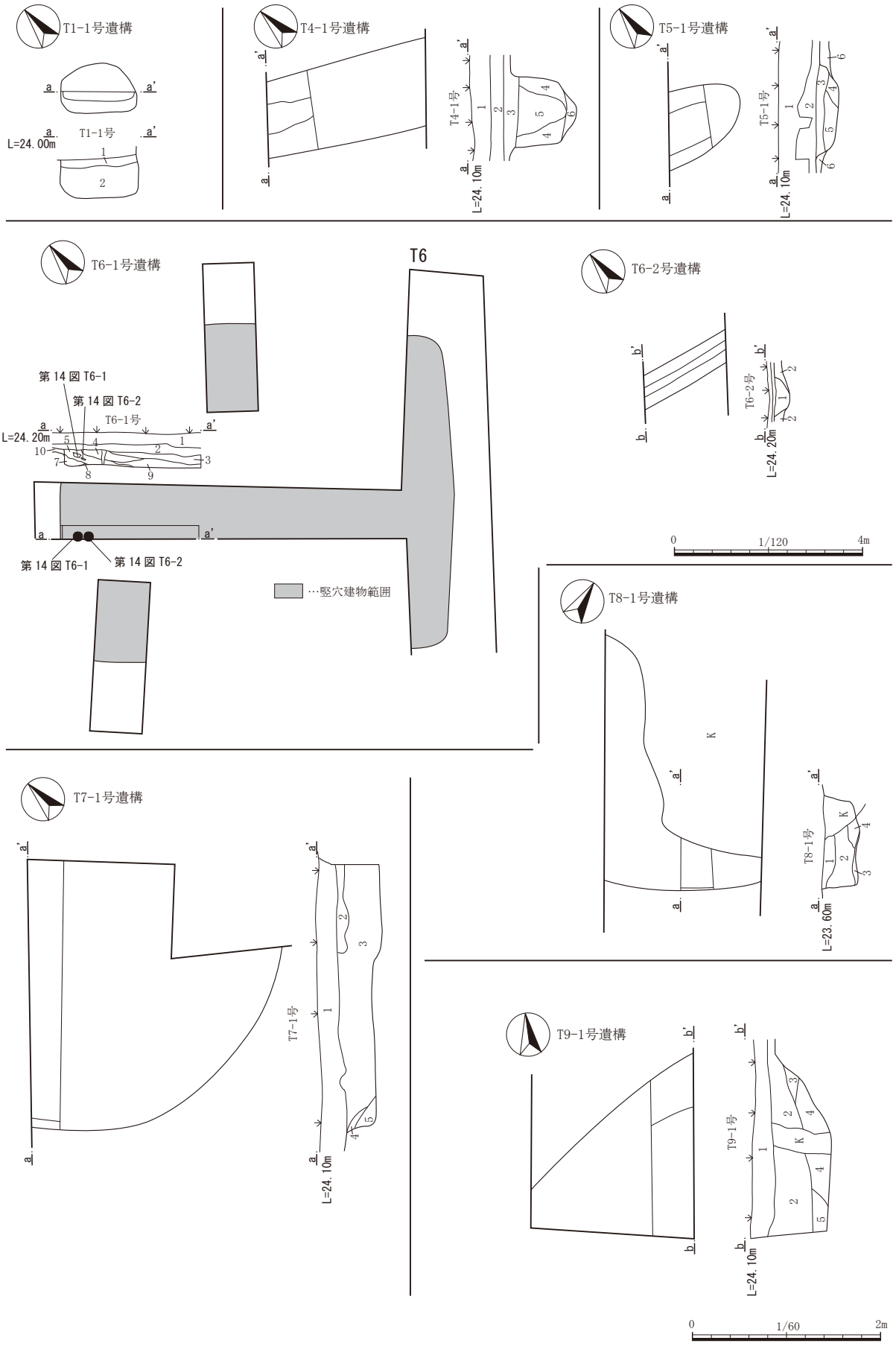
１号遺構は中央部から南寄りにある。底面までの深さは 44 ㎝で断面は底面がやや弧を描く逆台形状を呈する。底面からは土師器の壺が底部を上にした状態で出土している。方形周溝墓の周溝の可能性がある。



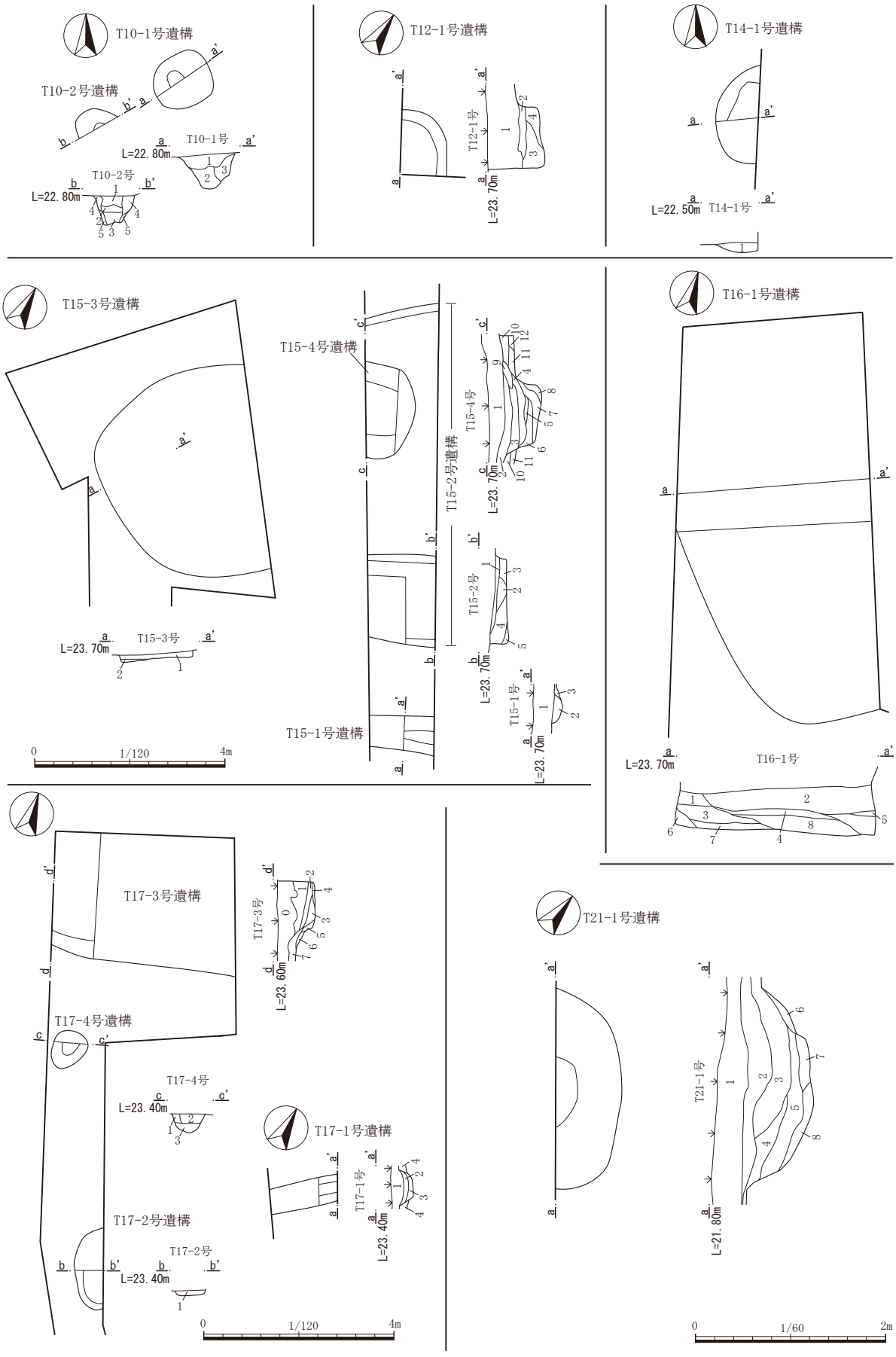
第９図　【エリア２】トレンチ配置図（１）



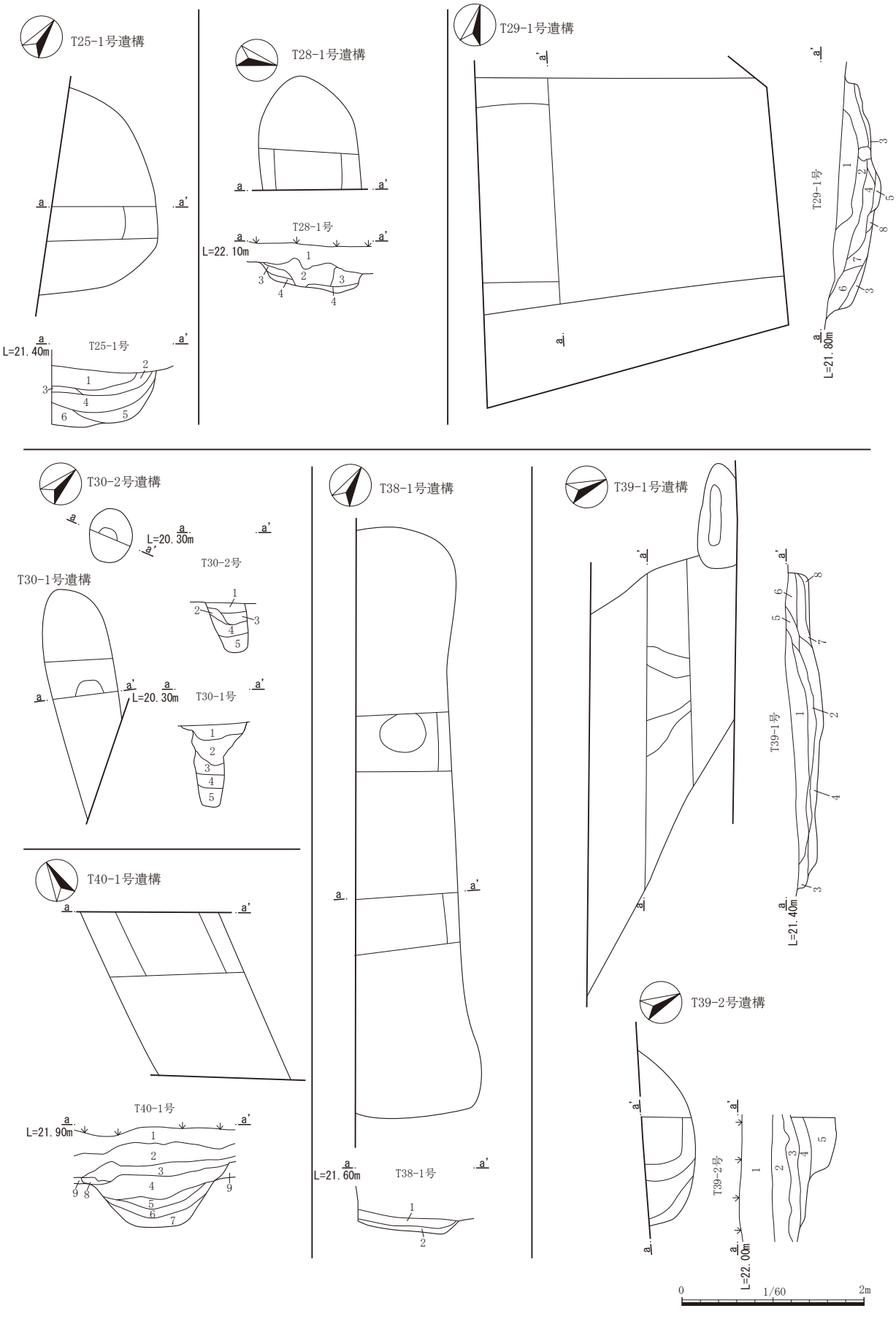
第 10 図　【エリア２】トレンチ配置図（２）



第11図 【エリア２】T1・T4・T5・T6・T7・T8・T9



第 12 図　【エリア２】T10・T12・T14・T15・T16・T17・T21



第 13 図　【エリア２】T25・T28・T29・T30・T38・T39・T40

【T1-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（3㎜）多量　ローム粒子（-1㎜）多量　しまりややあり　粘性なし
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ローム粒子（-2㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし

【T4-1 号】
1．表土
2．耕作土（黒褐色土主体）
3．攪乱（トレンチャー痕）
4．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-2㎜）多量　黄褐色土多量　しまりあり　粘性なし
5．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-2㎜）極多量　しまりあり　粘性なし
6．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1㎜）多量　黄褐色土極多量　しまりあり　粘性あり

【T5-1 号】
1．表土
2．耕作土
3．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）少量　しまり粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（1-2㎜）極多量　しまり粘性なし
5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（3㎜）少量　しまり粘性なし
6．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（3-10㎜）少量　しまり粘性あり

【T6-1 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2㎜）多量　ロームブロック（5㎜）極少量　しまりなし　粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（-2㎜）極多量　ロームブロック（3㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし
4．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（-2㎜）極多量　しまりややあり　粘性なし
5．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2㎜）極多量　ロームブロック（5-15㎜）少量　しまりややあり　粘性なし
6．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（-1㎜）少量　　しまりあり　やや粘性あり
7．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（20㎜）極多量　しまり粘性あり
8．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（10㎜）少量　しまり粘性あり
9．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1㎜）多量　焼土粒子（-1㎜）極少量　しまりあり　やや粘性あり
10. 黄褐色土（10YR5/6）　ソフトローム）

【T6-2 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-2㎜）多量　ロームブロック（3-5㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし
2．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（-2㎜）少量　ロームブロック（3-5㎜）少量　しまりややあり　粘性なし

【T7-1 号】
1．表土
2．耕作土
3．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（1-2㎜）多量　ロームブロック（3-5㎜）極多量　炭化物（5-10㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1㎜）少量　しまりややあり　粘性なし
5．黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5-10㎜）少量　しまり粘性あり

【T8-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）極少量　しまり粘性あり
2．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5㎜）少量　しまりあり　粘性あり
3．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（3㎜）少量　しまりあり　粘性あり
4．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（3-10㎜）極少量　しまり粘性あり

【T9-1 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（5-10㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ロームブロック（3-5㎜）多量　しまりなし　やや粘性あり
4．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10㎜）極多量　しまりあり　やや粘性あり
5．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（10㎜）少量　しまり粘性あり

【T10-1 号】
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ロームブロック（5-20㎜）極多量　しまりややあり　粘性あり
2．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5-10㎜）多量　しまりなし　粘性あり
3．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5㎜）多量　しまりなし　粘性あり
【T10-2 号】
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ロームブロック粒子（5-10㎜）少量　しまりややあり　粘性あり
2．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5-10㎜）多量　しまりなし　粘性あり
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ロームブロック（5-10㎜）多量　しまりなし　粘性あり
4．褐色土（10YR4/6）　黄褐色土多量　しまりややあり　粘性あり
5．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5㎜）極多量　しまりややあり　粘性あり

【T12-1 号】
1．表土
2．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（5-10㎜）多量　しまり粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック粒子（-1㎜）少量　しまり粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/1）　黄褐色土極多量　しまり粘性なし

【T14-1 号】
1．褐色土（10YR4/4）　黄褐色土極多量　しまりややあり　粘性あり

【T15-1 号】
1．表土
2．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（10-20㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
3．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（10-30㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
【T15-2 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2㎜）少量　しまりややあり　粘性なし
2．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（3-10㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-2㎜）少量　ロームブロック（3-5㎜）多量　しまりややあり　粘性なし
4．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2㎜）多量　ロームブロック（3-10㎜）多量　しまりややあり　粘性なし
5．褐色土（10YR4/4）　　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（3-5㎜）少量　しまりあり　粘性なし
【T15-3 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（10ｍｍ）少量　しまりなし　粘性ややあり
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　ローム粒子（-1㎜）少量　しまりなし　粘性ややあり
【T15-4 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）少量　しまりややあり　粘性なし
3．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（10-20㎜）少量　しまりなし　粘性なし
4．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（5-30㎜）多量　しまりなし　やや粘性あり
5．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1㎜）極少量　しまりなし　やや粘性あり
6．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（10㎜）少量　しまりあり　粘性なし
7．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（5-10㎜）極少量　しまりなし　粘性なし
8．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（20-30㎜）極多量　しまりなし　粘性なし
9．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（5-30㎜）多量　しまりなし　やや粘性あり
10. 黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）極少量　ロームブロック（3-5㎜）多量　しまりなし　やや粘性あり
11. 黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（3-10㎜）少量　しまり粘性あり
12. 黒褐色土（10YR3/2）　ロームブロック（5-20㎜）極多量　しまりあり　やや粘性あり

【T16-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1㎜）少量　しまり粘性なし
2．暗褐色土（10YR2/2）　ローム粒子（-1㎜）極少量　ロームブロック（3-5ｍｍ）少量　しまり粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1㎜）多量　　ロームブロック（3-5ｍｍ）多量　しまりややあり　粘性なし
4．黒褐色土（10YR2 /2）　ローム粒子（-1㎜）極多量　ロームブロック（3ｍｍ）少量　しまりややあり　粘性なし
5．黒褐色土（10YR2/2）　ローム粒子（1-2㎜）多量　ロームブロック（3ｍｍ）少量　しまり粘性なし
6．褐色土（10YR4/6）ローム粒子（1-2㎜）多量　しまりややあり　粘性なし
7．　暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（1-2㎜）多量　ロームブロック（3-5ｍｍ）多量　しまりややあり　粘性なし
8．　暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（1-2㎜）極多量　ロームブロック（3ｍｍ）多量　しまりあり粘性ややあり

【T17-1 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1㎜）少量　しまりあり　やや粘性あり
3．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（-1㎜）多量　ロームブロック（3㎜）極少量　しまりあり　やや粘性あり
4．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（-1㎜）少量　ロームブロック（3-5㎜）少量　しまりあり　やや粘性あり

【T17-2 号】
1．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1mm）少量　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまり粘性あり
【T17-3 号】
0．表土
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1mm）多量　ロームブロック（3 ㎜）極少量　しまりややあり　粘性なし
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1 ㎜）多量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまりあり　粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1mm）多量　ロームブロック（5-20 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
4．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-20）極多量　しまり粘性あり
5．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（30-50 ㎜）極多量　しまりあり　やや粘性あり
6．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
7．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（1-2 ㎜）少量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまりなし　粘性なし
【T17-4 号】
1．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（-1mm）少量　ロームブロック（3-10 ㎜）多量　しまりあり　粘性なし
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（1-2mm）多量　ロームブロック（3 ㎜）多量　しまりややあり　粘性なし
3．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（1-2mm）多量　ロームブロック（3 ㎜）多量　しまり粘性あり

【T21-1 号】
1．表土
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1mm）多量　ロームブロック（3 ㎜）極少量　しまりあり　粘性なし
3．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-20 ㎜）多量　しまりなし　粘性ややあり
4．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまりなし粘性なし
5．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（10-20 ㎜）多量　しまり粘性ややあり
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-10 ㎜）少量　しまり粘性ややあり
7．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5-20 ㎜）極多量　しまりあり　粘性なし
8．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10 ㎜）多量　しまり粘性なし

【T25-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/1）　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
2．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-20 ㎜）極多量　しまりあり　粘性あり
3．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまり粘性あり
4．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-20 ㎜）多量　しまり粘性あり
5．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10-20 ㎜）極多量　しまりややあり　粘性なし
6．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまりややあり　粘性なし

【T28-1 号】
1．表土
2．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（3-10 ｍｍ）極多量　しまりなし　粘性なし
3．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5 ｍｍ）少量　ややしまりなし　粘性なし
4．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5 ｍｍ）多量　ややしまりあり　やや粘性あり

【T29-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1 ㎜）少量　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまりなし　粘性なし
2．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（-1 ㎜）少量　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまりややあり　粘性なし
3．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（1-2 ㎜）多量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまり粘性あり
4．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（1-2 ㎜）多量　ロームブロック（3 ㎜）極多量　しまり粘性あり
5．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（1 ㎜）少量　しまり粘性あり
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまりあり　粘性なし
7．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（3 ㎜）少量　しまりあり　粘性なし
8．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまりあり　粘性なし

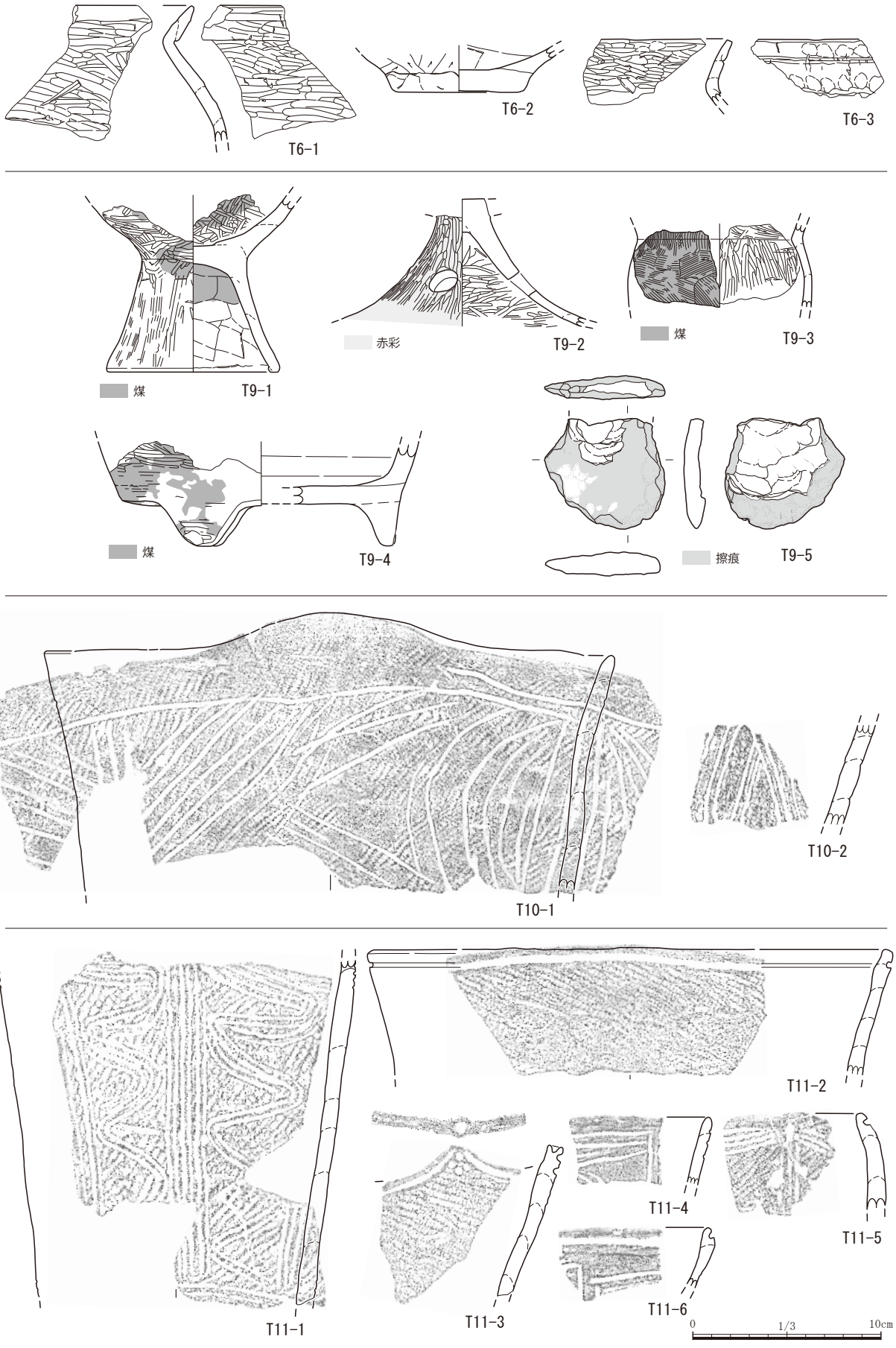
【T30-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1 ㎜）少量　しまりあり　粘性なし
2．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5-20 ㎜）極多量　しまり粘性あり
3．暗褐色土（10YR3/4）　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまり粘性あり
4．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまり粘性あり
5．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（3-5 ㎜）極多量　しまりややあり　粘性あり

【T30-2 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1 ㎜）多量　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまりなし　粘性ややあり
2．暗褐色土（10YR3/3）　ロームブロック（5-10 ㎜）極多量　しまり粘性なし
3．灰黄褐色土（10YR6/2）　暗褐色土　少量　しまりなし　粘性あり
4．灰黄褐色土（10YR4/2）　ロームブロック（3-10 ㎜）多量　しまり粘性ややあり
5．灰黄褐色土（10YR4/2）　ロームブロック（10-20 ㎜）少量　しまりなし　粘性ややあり

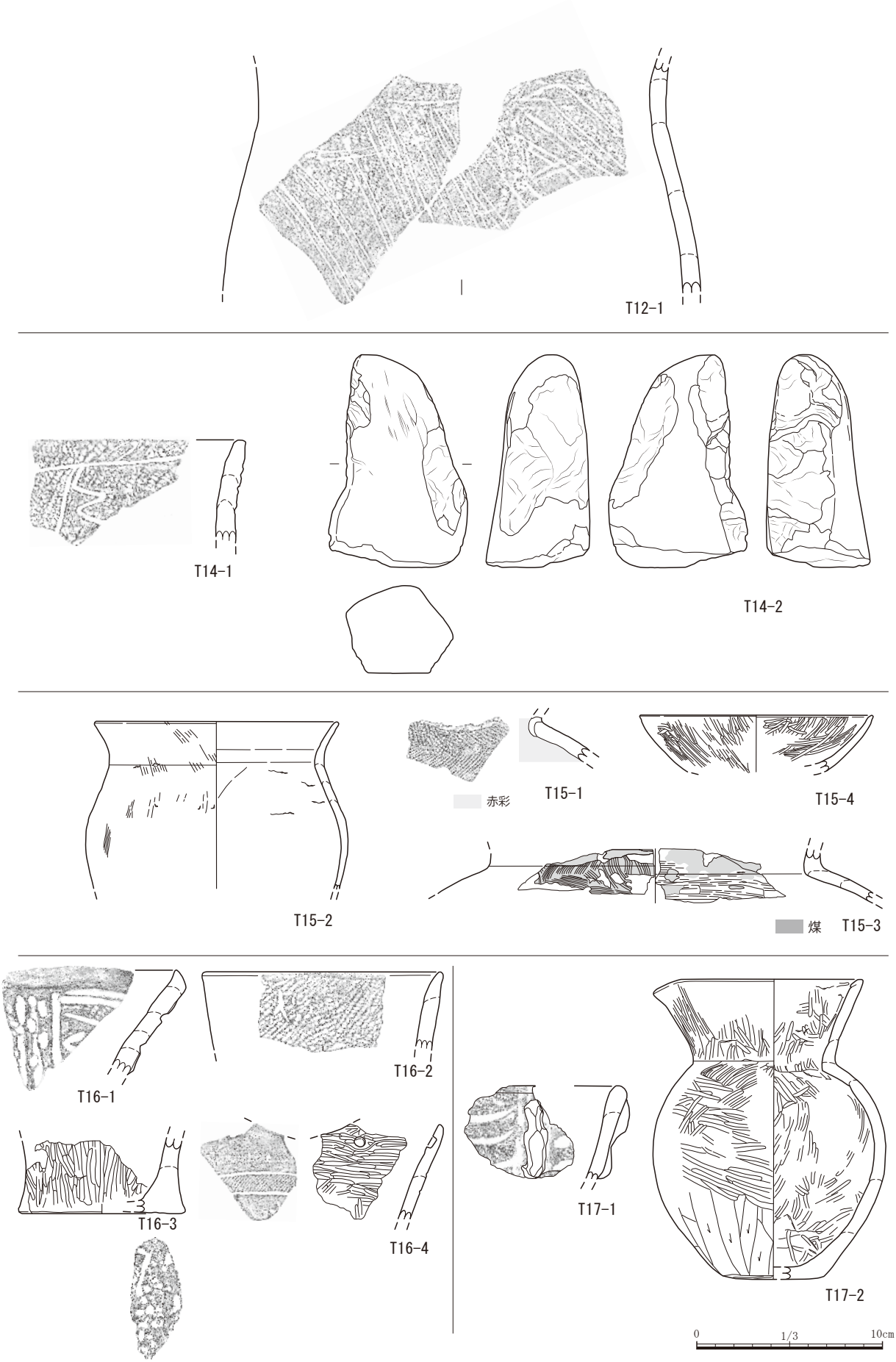
【T38-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-1-2mm）極多量　ロームブロック（3mm）多量　しまりややあり　粘性なし
2．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（-1mm）多量　ロームブロック（10-20 ㎜）多量　しまり粘性あり

【T39-1 号】
1．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2mm）多量　ロームブロック（3-10 ㎜）多量　しまりなし　粘性なし
2．黒褐色土（10YR3/2）　ローム粒子（-2mm）少量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまりなし　やや粘性あり
3．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（1-2mm）多量　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまりなし　やや粘性あり
4．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（1-2mm）少量　ロームブロック（5-20 ㎜）多量　しまりなし　やや粘性あり
5．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（5 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
6．褐色土（10YR4/4）　ロームブロック（10 - 20 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
7．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（1-2 ㎜）多量　ロームブロック（10mm）少量　しまりあり　やや粘性あり
8．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（10-20 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり
【T39-2 号】　※土層が水平状況・・遺構か？
1．表土
2．褐色土（10YR4/6）　ローム粒子（-1mm）少量　ロームブロック（5-10 ㎜）多量　しまりあり　粘性なし
3．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（-1mm）少量　しまりあり　粘性なし
4．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（-1mm）多量　ロームブロック（5 ㎜）少量　しまりあり　粘性なし
5．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（1-2mm）極少量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまり粘性なし

【T40-1 号】
1．表土
2．暗褐色土（10YR3/3）　ローム粒子（1-2mm）極多量　ロームブロック（3-10 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり（耕作土１）
3．黒褐色土（10YR3/1）　黄褐色土（ローム）（多量）　しまりあり　やや粘性あり（耕作土２）
4．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（1-2mm）多量　ロームブロック（3-10 ㎜）多量　しまりあり　粘性なし
5．褐色土（10YR4/4）　ローム粒子（1-2 ㎜）多量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　しまり粘性あり
6．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（1-2 ㎜）少量　ロームブロック（3-5 ㎜）少量　まりあり　粘性なし
7．暗褐色土（10YR3/4）　ローム粒子（1-2 ㎜）少量　ロームブロック（5-10mm）多量　しまりあり　粘性なし
8．黒褐色土（10YR3/1）　ローム粒子（-1 ㎜）多量　しまりあり　粘性なし
9．褐色土（10YR4/6）　ロームブロック（3-5 ㎜）多量　しまりあり　やや粘性あり

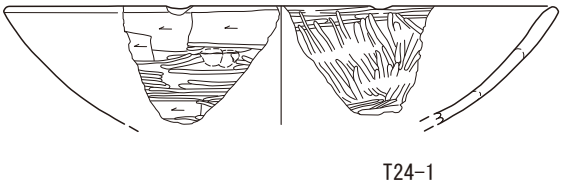


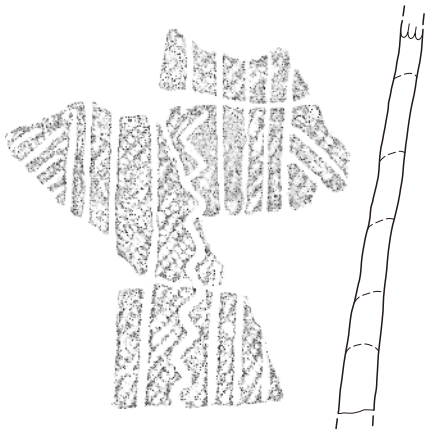
第 14 図　【エリア２】トレンチ出土遺物（１）

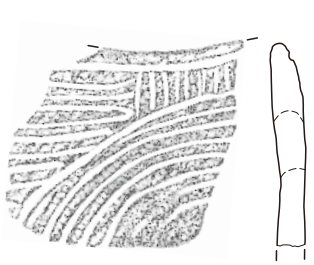


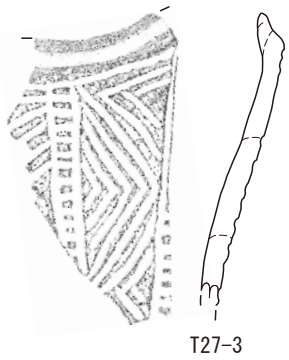
第 15 図　【エリア２】出土遺物（２）



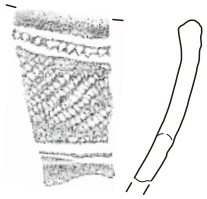


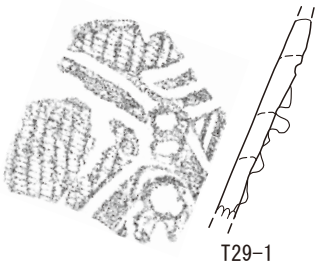


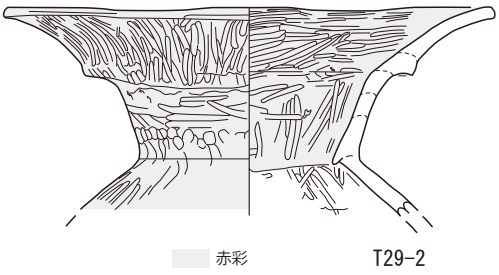


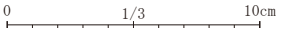




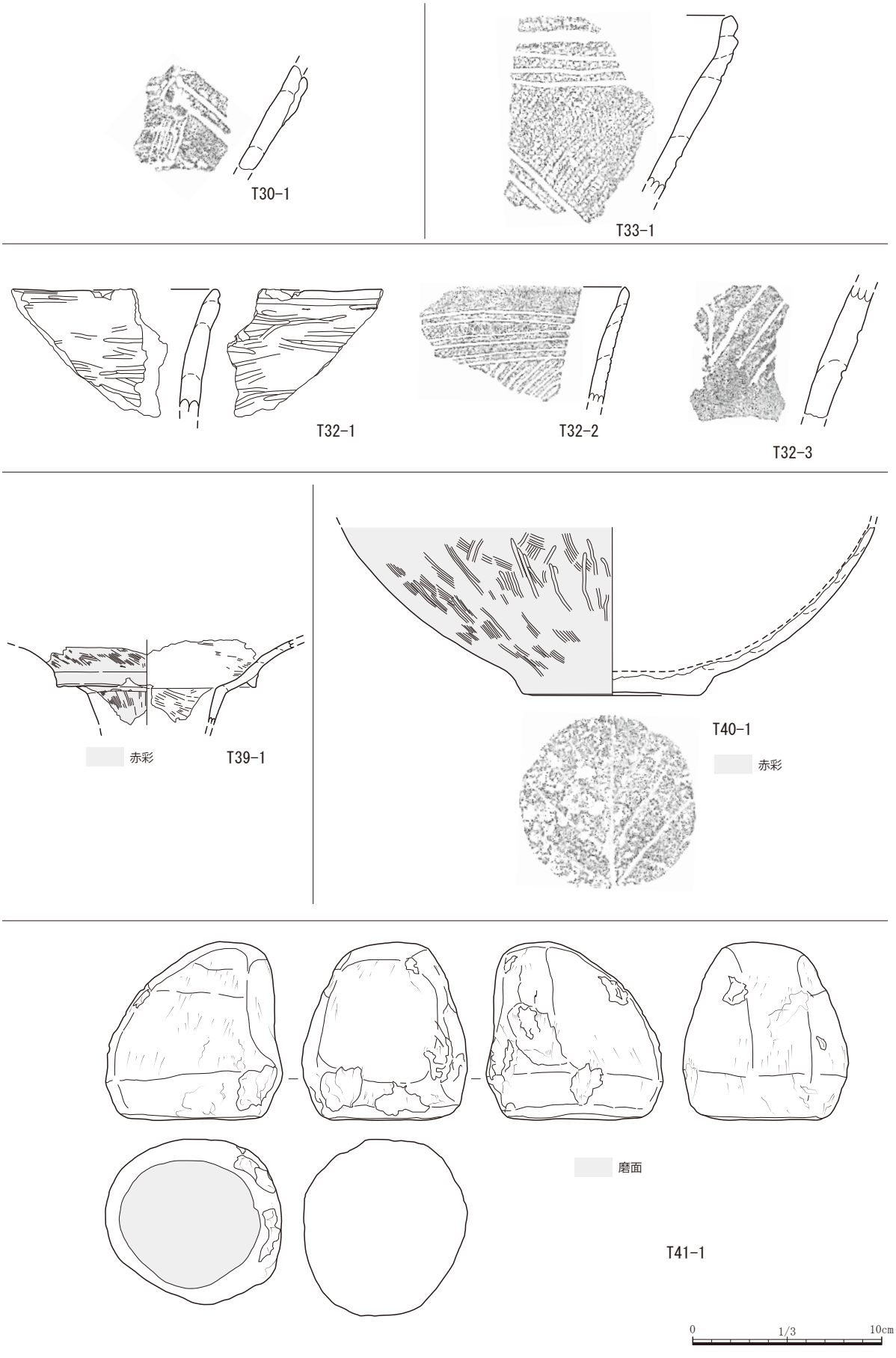








第 16 図　【エリア２】出土遺物（３）



第 17 図　【エリア２】出土遺物（４）

第４表 【エリア２】トレンチ出土遺物観察表

掲載番号	遺構等	種類	器種	法量（cm）			器形・整形の特徴	焼成	色調	胎土	重量（g）	備考
				口径	器高	底径						
T6-1	１号遺構 No.１	土師器	壺	(3.5)	〈7.2〉	—	外面：ヨコナデ、ミガキ 内面：ヨコナデ、ハケ後ミガキ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR7/3）	黒色粒子・褐色粒子	42.2	4 ～ 5c
T6-2	１号遺構 No.２	土師器	壺	—	〈2.5〉	(7.0)	外面：ヘラケズリ、ナデ 底部ヘラケズリ 内面：ヘラナデ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR6/3）	黒色粒子・褐色粒子	89.7	4 ～ 5c
T6-3	１号遺構	土師器	甕	(5.4)	〈3.5〉	—	外面：ナデ、指頭痕あり 内面：ミガキ、指頭痕あり	良好	内外面：黄褐（10YR5/6）	白色粒子・黒色粒子	19.3	輪積み痕 4c
T9-1	１号遺構 No.１	土師器	台付甕	—	〈9.4〉	9.0	外面：ミガキ、ハケナデ後ミガキ 煤付着 内面：ミガキ、ナデ、ヘラナデ 煤付着	良好	内外面：橙（7.5YR7/6）	白色粒子・黒色粒子・石英	248.0	4c
T9-2	１号遺構 No.２	土師器	高坏	—	〈6.8〉	—	外面：ミガキ、赤彩あり 内面：ミガキ、ヘラミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・黒色粒子・石英	116.4	3c 末
T9-3	１号遺構 No.３	土師器	小型甕	—	〈4.4〉	—	外面:ハケ目、煤付着 内面:ハケ目、ハケ目後ミガキ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR7/3）	白色粒子・黒色粒子・石英	19.5	
T9-4	No.１	瓦器	火鉢	—	〈5.5〉	(14.8)	外面:ミガキ、煤付着 内面:ロクロ整形、ミガキ	良好	内外面：にぶい褐（7.5YR6/3）	白色粒子・黒色粒子・石英・雲母	140.3	三足 中世
T9-5	一括	石器	打製石斧（分銅形）	長さ 6.5、幅 5.9、厚さ 1.2、石材：火成岩							52.8	
T10-1	No.３・No.４	縄文	深鉢	(30.0)	〈14.8〉	—	外面：縄文 LR 横、沈線文 内面：ミガキ	良好	内外面：橙（5YR6/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子	588.0	
T10-2	一括	縄文	深鉢	—	〈5.2〉	—	外面：縄文 LR 横、沈線文 内面：ミガキ	良好	内外面：褐（7.5YR4/6）	白色粒子・黒色粒子	42.4	
T11-1	No.５・一括	縄文	深鉢	—	〈18.3〉	—	外面：沈線文、縄文 LR 横 内面：ミガキ	良好	内外面：橙（5YR6/6）	白色粒子・褐色粒子・石英	325.5	
T11-2	No.３	縄文	深鉢	(27.0)	〈6.7〉	—	外面：ミガキ、沈線文、縄文 RL 横 内面：ミガキ	良好	内外面：橙（7.5YR6/6）	白色粒子・黒色粒子	183.8	
T11-3	遺物集中	縄文	深鉢	—	〈8.0〉	—	外面：押圧文、縄文 RL 横 内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	52.0	堀之内式
T11-4	No.１	縄文	深鉢	—	〈3.6〉	—	外面：沈線文 内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい褐（7.5YR5/4）	白色粒子・黒色粒子	16.7	堀之内式
T11-5	No.２	縄文	浅鉢	—	〈5.1〉	—	外面：押圧文、沈線文、縄文 LR 横 内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい褐（7.5YR5/4）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子	33.5	
T11-6	No.10	縄文	深鉢	—	〈3.2〉	—	外面：ミガキ、沈線文、縄文 LR 横 内面：ミガキ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR6/4）	白色粒子・褐色粒子・雲母	16.3	堀之内式
T12-1	一括	縄文	深鉢	—	〈12.2〉	—	外面：平行沈線文、縄文 LR 横 内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	223.3	堀之内式
T14-1	一括	縄文	深鉢	—	〈5.5〉	—	外面：縄文 LR 横、沈線文 内面：ミガキ	良好	内外面：橙（7.5YR6/6）	白色粒子・褐色粒子・石英	53.5	後期
T14-2	一括	石器	スタンプ形石器	長さ 11.4、幅 7.4、厚さ 5.4、重さ 551.0 g、石材：火成岩							551.0	
T15-1	１号遺構	土師器	壺	—	〈2.4〉	—	外面:縄文 RL 横、縄文 LR 横、赤彩 内面：ミガキ、赤彩	良好	内外面：素にぶい橙（7.5YR7/4）、赤彩（にぶい赤褐）2.5YR5/4	白色粒子・褐色粒子・石英	25.3	弥生系 3c
T15-2	３号遺構 No.１	土師器	小型甕	(13.0)	〈9.0〉	—	外面：ハケ目 内面：ヨコナデ、ヘラナデ	良好	内外面：浅黄橙（7.5YR8/3）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子	48.6	4c
T15-3	２号遺構	土師器	甕	—	〈2.9〉	—	外面:ハケ目、漆付着 内面:ヘラナデ、漆付着	良好	内外面：浅黄橙（7.5YR8/4）	白色粒子・褐色粒子	28.3	4c
T15-4	２号遺構	土師器	高坏	(12.5)	〈3.0〉	—	外面：ミガキ 内面：ミガキ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR7/4）	白色粒子・黒色粒子	16.4	3c
T16-1	一括	縄文	深鉢	—	〈5.6〉	—	外面：ミガキ、縄文 LR 横、半截竹管による沈線文・列点文 内面：ミガキ	良好	内外面：明赤褐（5YR5/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	39.9	後期
T16-2	一括	縄文	浅鉢	(12.8)	〈4.2〉	—	外面：ミガキ、縄文 RL 縦 内面：ミガキ	良好	内外面：褐（7.5YR4/4）	白色粒子・黒色粒子	37.0	後期
T16-3	一括	縄文	深鉢	—	〈4.1〉	(9.0)	外面：ミガキ、底部網代痕 内面：ミガキ	良好	内外面：橙（2.5YR6/6）	白色粒子・角閃石・石英・チャート	52.0	後期
T16-4	一括	縄文	深鉢	—	〈5.1〉	—	波状口縁 外面：ミガキ、縄文 LR、沈線による区画文 内面：ミガキ、点状押圧文	良好	内外面：橙（7.5YR7/6）	白色粒子・黒色粒子・石英	19.7	加曽利 B 式
T17-1	一括	縄文	深鉢	—	〈5.0〉	—	外面：縄文 RL 横、突帯文 内面：ミガキ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR7/3）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	29.7	安形式
T17-2	２号遺構	土師器	小型壺	(11.1)	16.2	5.5	外面：ミガキ、ヘラケズリ、底部ミガキ 内面：ミガキ、ヘラナデ後ミガキ	良好	内外面:にぶい黄橙（10YR7/3）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	422.5	4c
T22-1	一括	縄文	深鉢	—	〈7.5〉	—	外面：沈線文、縄文 LR 横 内面：摩滅著しく不明。	良好	内外面：浅黄橙（10YR8/3）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英・礫	154.4	後期

掲載番号	遺構等	種類	器種	法量（cm）			器形・整形の特徴	焼成	色調	胎土	重量（g）	備考
				口径	器高	底径						
T24-1	一括	土師器	高坏	—	〈4.7〉	—	外面：ケズリ後ミガキ、指頭痕あり　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR6/4）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	27.8	4c
T27-1	一括	縄文	深鉢	—	〈16.6〉	—	外面：沈線文、縄文LR横　内面：摩滅著しく不明。	良好	内外面：10YR6/6　明黄褐	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子	217.1	堀之内式
T27-2	一括	縄文	深鉢	—	〈8.0〉	—	波状口縁　外面：沈線文、縄文LR横　煤付着　内面：摩滅著しく不明。煤付着	良好	内外面：浅黄橙（7.5YR8/4）	白色粒子・黒色粒子・雲母	112.9	堀之内式
T27-3	一括	縄文	深鉢	—	〈11.6〉	—	波状口縁　外面：ミガキ、沈線文、縄文LR横　内面：ミガキ	良好	内外面：橙（7.5YR7/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	69.0	堀之内式
T27-4	一括	縄文	深鉢	（23.6）	〈15.5〉	—	外面：ミガキ、沈線文、縄文LR横　煤付着　内面：摩滅著しく不明。	良好	内外面：橙（7.5YR7/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	177.9	堀之内式
T28-1	一括	縄文	深鉢	—	〈6.4〉	—	波状口縁　外面：ミガキ、沈線文、刺突文、縄文LR横　内面：ミガキ	良好	内外面：明赤褐（5YR5/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・雲母	30.0	堀之内式
T29-1	1号遺構	縄文	深鉢	—	〈7.9〉	—	外面：沈線文、縄文LR横、8の字状貼付文　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい褐（7.5YR6/3）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英・雲母	67.8	堀之内式
T29-2	1号遺構	土師器	壺	（12.8）	〈5.5〉	—	外面：ミガキ　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・黒色粒子・	46.1	4c
T30-1	一括	縄文	深鉢	—	〈5.5〉	—	外面：沈線文、突帯文、ミガキ、線刻あり　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・褐色粒子	35.1	堀之内式
T32-1	一括	土師器	鉢	—	〈6.8〉	—	外面：ミガキ　内面：ミガキ	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・褐色粒子	54.6	後期
T32-2	一括	縄文	深鉢	—	〈6.2〉	—	外面：ミガキ、平行沈線文、縄文LR横　内面：ミガキ	良好	内外面：橙（7.5YR6/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子	50.0	後期
T32-3	一括	縄文	深鉢	—	〈6.9〉	—	外面:沈線文、ミガキ　内面:ミガキ	良好	内外面：明赤褐（5YR5/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・雲母	77.7	後期
T33-1	一括	縄文	深鉢	—	〈9.7〉	—	外面：ミガキ、縄文LR横　沈線文　内面：ミガキ	良好	内外面：橙（7.5YR6/6）	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・雲母	115.7	堀之内式
T39-1	1号遺構	土師器	壺	—	〈4.5〉	—	外面：ハケ目、ヨコナデ、赤彩　内面：ハケ目、摩滅著しく単位不明瞭。	良好	内外面：にぶい橙（7.5YR7/4）	白色粒子・黒色粒子・石英	30.5	
T40-1	1号遺構	土師器	壺	—	〈8.9〉	9.3	外面:ハケ目後ミガキ、赤彩、黒斑あり、底部木曜痕　内面：摩滅著しく不明。	不良	外面：明赤褐（2.5YR5/6） 内面：にぶい黄橙（10YR7/4）	白色粒子・褐色粒子	691.0	
T41-1	一括	石製品	槌状・不明	長さ9.4、幅9.4、厚さ9.2、石材：火成岩							1019.0	中世

第3節　エリア3（南エリア）

エリア2の南東に位置する調査区で区内には高須賀遺跡・高須賀道城入遺跡が拡がり、高須賀堂ノ前遺跡とは調査区西端で接している。高須賀堂ノ前遺跡・高須賀道城入遺跡では、首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という）建設工事の際、事前の発掘調査が行われ報告書が刊行されている。

調査区の現況は畑（水田）と山林で、畑が大半を占めている。全体的に平坦な地形で、畑（水田）部分は耕作により既に削平されている場所もみられた。調査区北側の山林部分では圏央道方面に向かって傾斜している地形も見受けられ、調査区中央部から南側の山林部分は発掘調査した区域の延長上に当たる。対象面積は36,710.48㎡である。調査区内に重機によりトレンチを56本（T1～T56）設定し、その後人力を用いて遺構確認を行った。遺構確認面は表土下黄褐色ソフトローム上面である。

面積の大きさに比べ確認された遺構数は少ない。これは山林部分ではすでに遺跡の主要部が発掘調査済みの圏央道以南にあること、畑の部分では作物の栽培時における遺構への影響（攪乱・削平）があると考えられる。

エリア3ではT8・T16・T17・T24・T25・T26・T27・T29・T30・T31・T33・T40・T50・T54のトレンチから遺構が確認された。

◆ T8

T8 は調査区の南方に位置する。遺構確認面は地表面から 35 ㎝前後でトレンチ底面は平坦である。

１号遺構は西端近くで確認され東西方向に走っている。確認面から底面までの深さは 18 ㎝、断面は緩く弧状を描いている。遺物は出土しなかった。

◆ T17

T17 は調査区の中央、圏央道沿いに位置する。遺構確認面は地表面から 40 ㎝でトレンチ底面は平坦である。

１号遺構はトレンチの中央から西寄りで確認された。確認面から焼土や炭化物が見られサブトレを設定して掘削を開始したが 10 ㎝ほど下で焼土のまとまりを検出した。遺構と捉え底面までは掘削しなかった。遺構内から遺物が出土している。

◆ T26

T26 は調査区北部に位置し東西方向に設置されたトレンチである。遺構確認面は地表面から 33 ～ 45 ㎝でトレンチ底面は平坦である。

１号遺構はトレンチ東端近くで確認された。遺構の大半は既に削平されてほぼ消失した状況で、トレンチ底面にわずかに赤色化した部分が確認できただけである。

第 5 表 【エリア３】トレンチ一覧表

トレンチ番号	検出遺構数	出土遺物		袋番号
		点数	重量	
T1	−	−	−	
T2	−	−	−	
T3	−	2	13.4	91・92
T4	−	1	5.5	129
T5	−	−	−	
T6	−	−	−	
T7	−	2	23.7	93
T8	−	−	−	
T9	−	−	−	
T10	−	−	−	
T11	−	−	−	
T12	−	1	46.0	94
T13	−	1	14.4	95
T14	−	−	−	
T15	−	−	−	
T16	−	1	4.5	128
T17	1	9	91.0	96・97
T18	−	77	693.1	98・99・100・101・102・103
T19	−	11	222.7	104・105・106
T20	−	9	196.1	107・108・109
T21	−	−	−	
T22	−	−	−	
T23	−	1	47.9	110
T24	−	−	−	
T25	−	−	−	
T26	−	−	−	
T27	1	6	90.6	111・112
T28	−	−	−	
T29	−	−	−	
T30	1	18	278.4	113・114・115・116・117・118・119・120・121・122・123
T31	1	4	34.0	124
T32	−	−	−	
T33	−	1	7.8	125
T34	−	−	−	
T35	−	−	−	
T36	−	−	−	
T37	−	−	−	
T38	−	−	−	
T39	−	−	−	
T40	−	−	−	
T41	−	−	−	
T42	−	−	−	
T43	−	−	−	
T44	−	−	−	
T45	−	3	5.6	126
T46	−	−	−	
T47	−	−	−	
T48	−	−	−	
T49	−	−	−	
T50	−	−	−	
T51	−	−	−	
T52	−	−	−	
T53	−	−	−	
T54	−	−	−	
T55	−	−	−	
T56	−	2	20.8	127

◆ T27

T27 は T26 の北に位置しトレンチは東西方向に設定された。遺構確認面は地表面から 35 ～ 45 ㎝でトレンチ底面は平坦である。T 26 と同様トレンチに直交して複数のトレンチャー痕が残っている。

１号遺構はトレンチの東方で確認された。確認できたのは白色の粘土塊とその下部に広がる焼土である。竪穴建物跡の竈と推測される。遺構内からは土師器片が出土している。

◆ T29

T29 は調査区の北西端に位置する。遺構確認面は地表面から 25 ～ 38 ㎝でトレンチ底面は平坦である。トレンチャー痕は見られなかった。

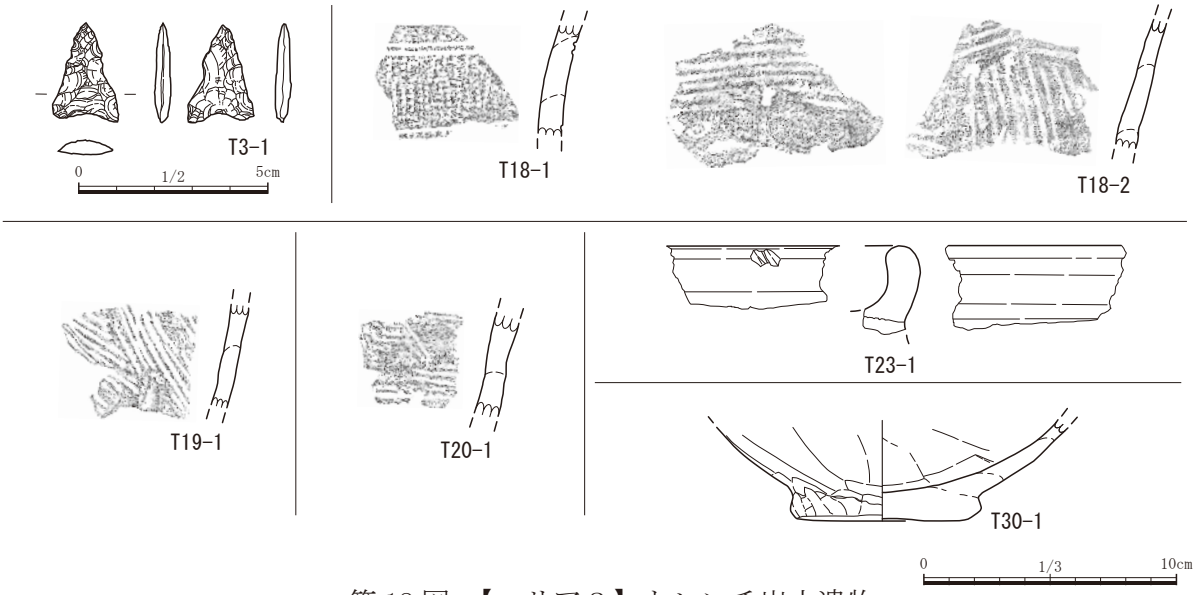
１号遺構はトレンチ中央部から東寄りで確認された。平面形は円形を呈し底面までの深さは 36 ㎝である。

２号遺構はトレンチ西端で確認された。確認面からの深さは 42 ㎝である。底面は平坦ではなく弧状で、上面に向かって開いていく。遺構内からは遺物は出土しなかった。

◆ T30

T30 は T26 の南側の道路を挟んだ位置にある。この道路は T26 が設定された畑地から一段下がっている。遺構確認面は地表面から 15 ㎝で、トレンチ底面は平坦である。トレンチャー痕はトレンチと同方向にある。

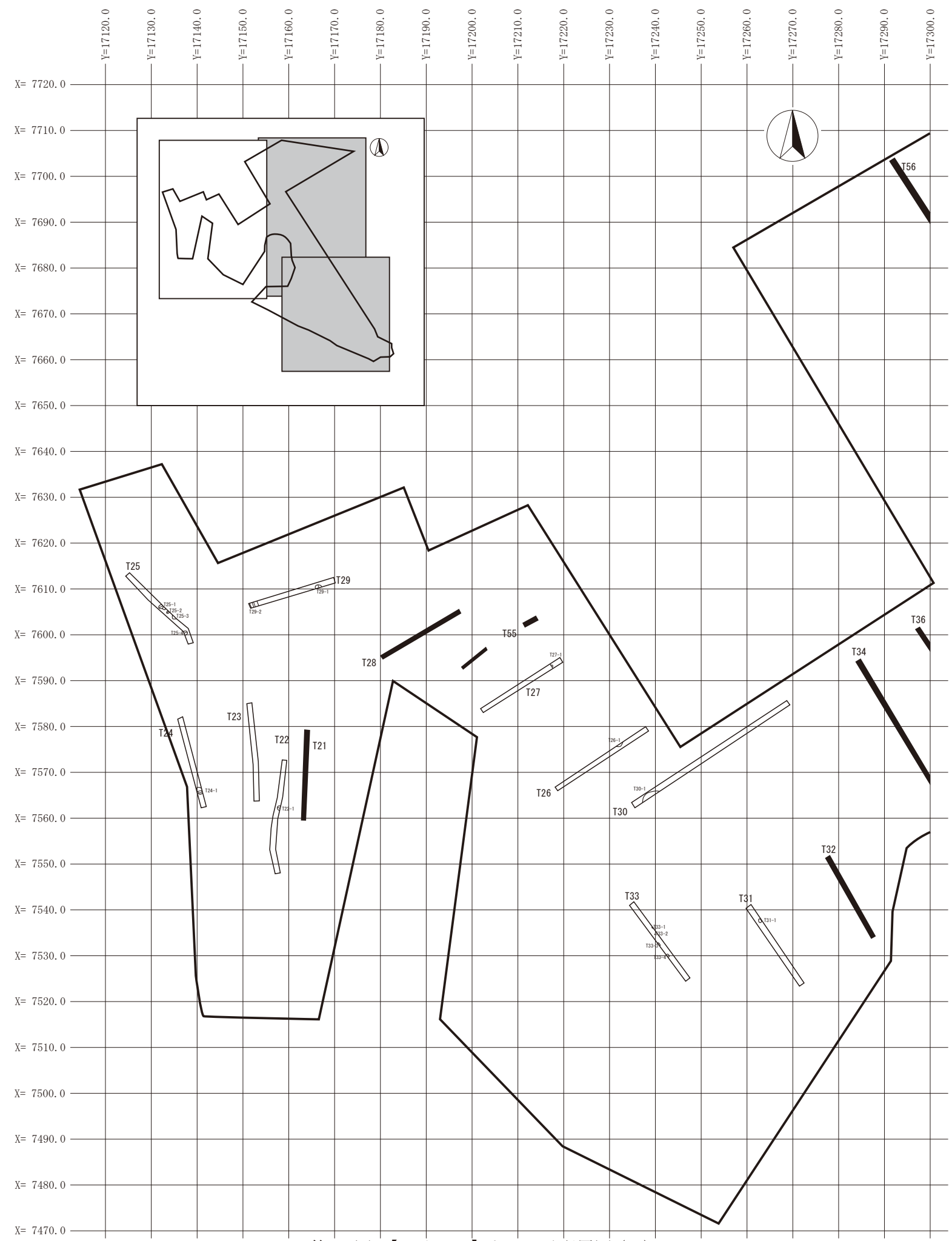
１号遺構はトレンチ中央から西側で確認された。浅い竪穴状の遺構で底面までの深さは 42 ㎝である。底面は中央付近がやや高くなっている。遺物は土師器の壺が出土している。



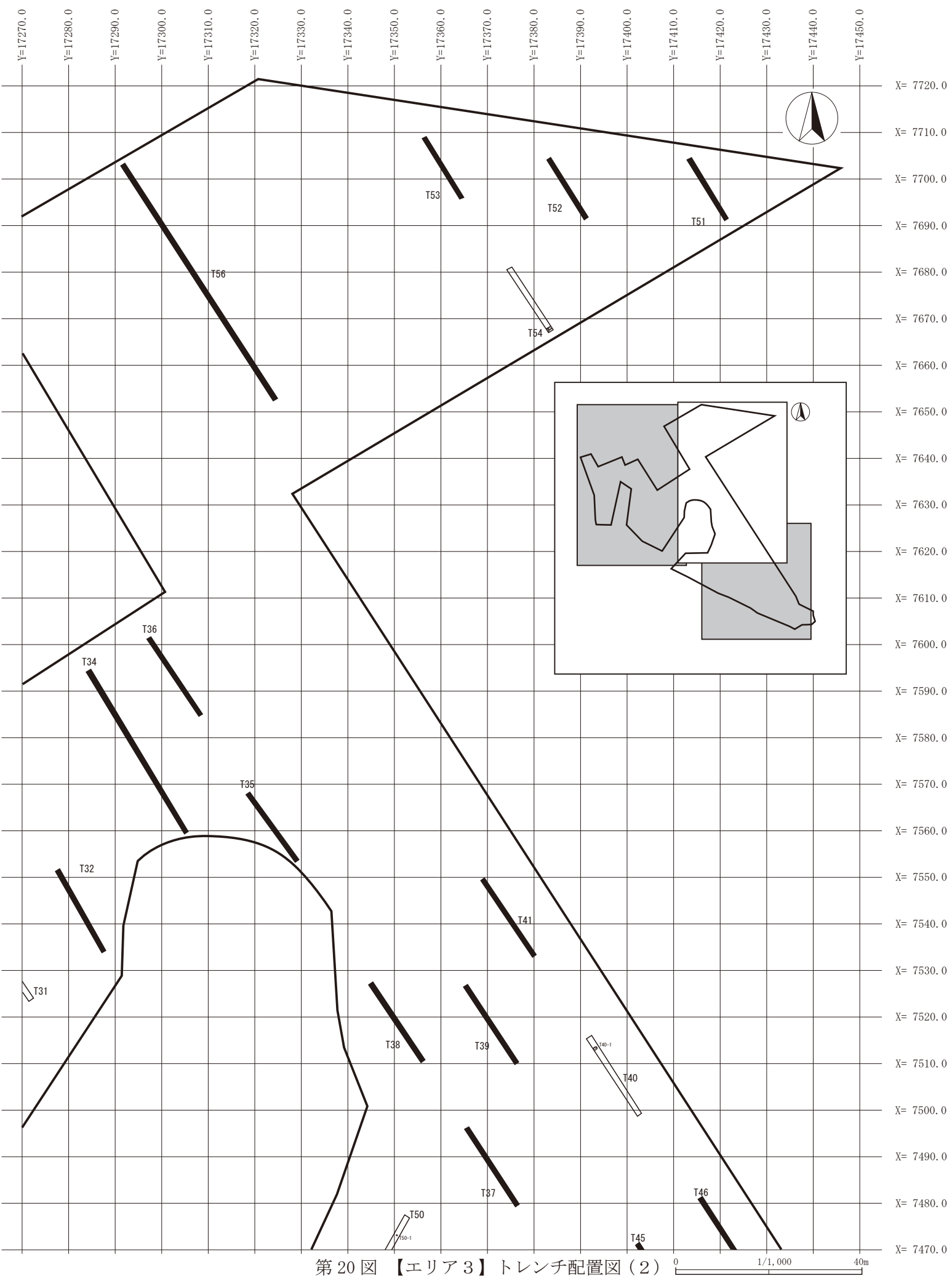
第 18 図　【エリア３】トレンチ出土遺物

第 6 表　【エリア３】トレンチ出土遺物観察表

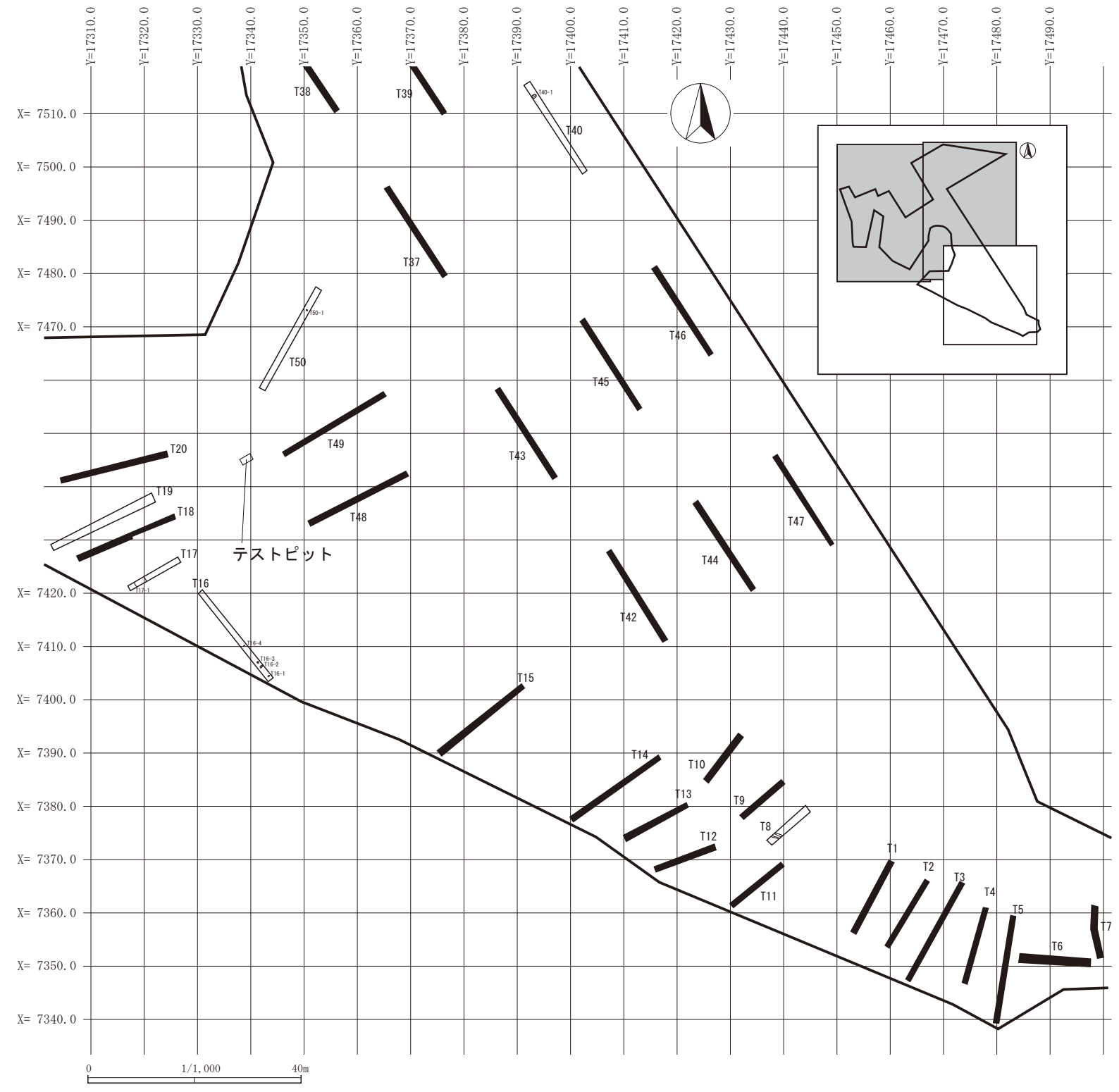
掲載番号	遺構等	種類	器種	法量（cm）			器形・整形の特徴	焼成	色調	胎土	重量（g）	備考
				口径	器高	底径						
T3-1	一括	石器	石鏃	長さ 2.6、幅 1.7、厚さ 0.3、石材：珪質頁岩							1.3	
T18-1	一括	縄文	深鉢	—	〈4.4〉	—	外面：沈線文、貝殻腹縁文（異津式擬縄文）　内面：ミガキ	良好	内外面：7.5YR5/6　明褐	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・雲母	37.7	五領ヶ台式ヵ
T18-2	一括	縄文	深鉢	—	〈5.1〉	—	外面：貝殻条痕文　内面：貝殻条痕文	良好	内外面：7.5YR7/6　橙	白色粒子・黒色粒子・繊維	35.4	縄文早期
T19-1	一括	縄文	深鉢	—	〈4.1〉	—	外面：貝殻条痕文　内面：貝殻条痕文	良好	内外面：7.5YR5/3　にぶい褐	白色粒子・黒色粒子・繊維	21.3	縄文早期
T20-1	一括	縄文	深鉢	—	〈4.1〉	—	外面：貝殻条痕文　内面：貝殻条痕文	良好	内外面：10YR6/3　にぶい黄橙	白色粒子・黒色粒子・繊維	18.4	縄文早期
T23-1	一括	陶器	内耳平鍋ヵ	—	〈3.3〉	—	外面：ロクロ整形、輪積み部分カキ目　内面：ロクロ整形	良好	内外面：5YR5/6　明赤褐	白色粒子・黒色粒子・チャート・雲母	47.9	近世
T30-1	1 号遺構	土師器	壺	—	〈4.0〉	6.8	外面：ヘラケズリ、ナデ、底部ヘラケズリ　内面：ヘラナデ	良好	内外面：2.5YR5/6　明赤褐	白色粒子・黒色粒子・褐色粒子・石英	208.0	4c



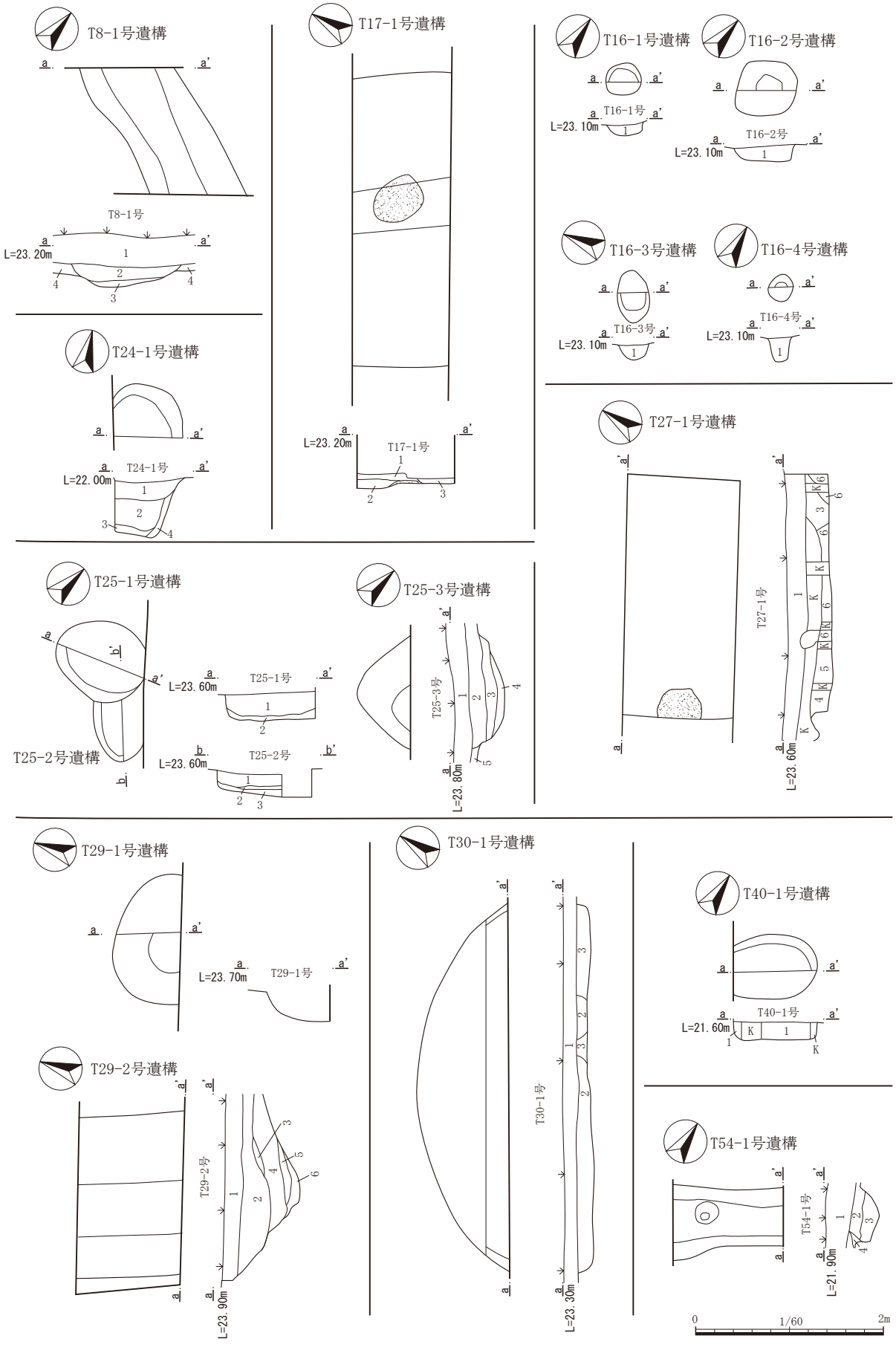
第 19 図　【エリア３】トレンチ配置図（１）



第 20 図　【エリア３】トレンチ配置図（２）



第 21 図　【エリア３】トレンチ配置図（３）



第 22 図　【エリア３】T8・T16・T17・T24・T25・T27・29T・T30・T40・T54

【T8-1号】
1．表土（黒褐色土主体）
2．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(3-5㎜)少量　しまりややあり　粘性なし
3．黒褐色土(10YR3/2)　ロームブロック(3-10㎜)少量　しまり粘性なし
4．暗褐色土(10YR3/3)　ロームブロック(10)多量　しまりあり　粘性なし

【T16-1号】
1．黄褐色土主体の覆土　暗褐色土含む　しまりなし　粘性なし
【T16-2号】
1．暗褐色土の覆土　ローム粒子、ロームブロック含む　しまりなし　粘性なし
【T16-3号】
1．暗褐色土　ローム粒子、ロームブロック含む　しまりなし　粘性なし
【T16-4号】
1．暗褐色土　ローム粒子　ロームブロック含む　しまりなし　粘性なし

【T17-1号】
1．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)多量　炭化物極少量　ややしまりなし　粘性なし
2．黒褐色土(10YR3/2)　ロームブロック(3-5㎜)少量　炭化物少量　焼土粒子(-2㎜)多量　焼土ブロック(5-20㎜)少量　しまり粘性なし
3．赤褐色土(2.5YR 5/8)　焼土

【T24-1号】
1．黒褐色土(10YR3/2)　ロームブロック(3㎜)少量　ややしまりあり　粘性あり
2．黒褐色土(10YR2/2)　しまりなし　やや粘性あり
3．黒褐色土(10YR3/2)　ロームブロック(5-10㎜)極多量　しまり粘性ややあり
4．にぶい黄褐色土(10YR5/4)　ロームブロック(3-10㎜)極多量　しまりややあり　粘性あり

【T25-1号】
1．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(5-10㎜)多量　しまりあり　やや粘性あり
2．灰黄褐色土(10YR4/2)　ロームブロック(10-50㎜)多量　ややしまりあり　やや粘性あり

【T25-2号】
1．暗褐色土(10YR3/3)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(3-10㎜)少量　しまりあり　粘性ややあり
2．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(5-10㎜)少量　しまり粘性ややあり
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)　ロームブロック(5-20㎜)極多量）　ややしまりあり　粘性あり

【T25-3号】
1．表土
2．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)少量　しまりあり　やや粘性あり
3．暗褐色土(10YR3/3)　ローム粒子(-1㎜)多量　ロームブロック(10-30㎜)多量　しまり粘性あり
4．にぶい黄褐色土(10YR5/4)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(3-10㎜)少量　しまり粘性あり
5．黒褐色土(10YR3/2)　ロームブロック(3㎜)少量　しまりあり　粘性ややあり

【T27-1号】
※底面で竈の残滓（白色粘土＋焼土）を確認。
土層断面から考えると重機掘削により’飛ばしてしまった可能性高い。4層の左ラインが建物跡の壁の立上がりと考えられる。
1．耕作土（近・現代　暗褐色土主体　10YR3/3））
2．攪乱①（「1」層以前の耕作によるものか。灰黄褐色土主体(4/2)
3．攪乱②（「2」層以前の耕作によるものか。灰黄褐色土(10YR4/2)
4．暗黒褐色土(10YR3/3)　ローム粒子(-2㎜)多量　ロームブロック(-10㎜)多量　焼土粒子(-2㎜)少量　炭化物少量　しまりあり　粘性なし
5．黒褐色土(10YR3/1)　ロームブロック(20-30㎜)少量　しまり粘性あり
6．にぶい黄褐色土(10YR5/3)　ローム粒子(-1㎜)多量　ロームブロック(3-5㎜)少量　炭化物少量　焼土ブロック(3㎜)少量　しまりあり　やや粘性あり

【T29-2号】
1．耕作土（黒褐色土(10YR3/2)
2．灰黄褐色土(10YR4/2)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック3-5㎜)少量　しまりあり　やや粘性あり
3．灰黄褐色土(10YR4/2)　ロームブロック(5㎜)多量　しまりあり　やや粘性あり
4．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)　ロームブロック(5-10㎜)極多量　しまり粘性ややあり
5．灰黄褐色土(10YR4/2)　ロームブロック(10㎜)極多量　しまりあり粘性ややあり
6．黒褐色土(10YR3/2)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(3㎜)少量　しまりなし　やや粘性あり

【T30-1号】（1号竪穴状遺構）
1．耕作土（暗褐色土主体）
2．暗褐色土(10YR3/3)　ロームブロック(10㎜)多量　しまり粘性なし
3．褐色土(10YR4/4)　ローム粒子(-1㎜)少量　ロームブロック(10-50㎜)少量　褐色土少量　しまりあり　やや粘性あり

【T40-1号】
1．黒色土(10YR2/1)　にぶい黄褐色土多量　ややしまりあり　やや粘性あり

第４章　まとめ

第１節　遺構の分布と遺物の出土量

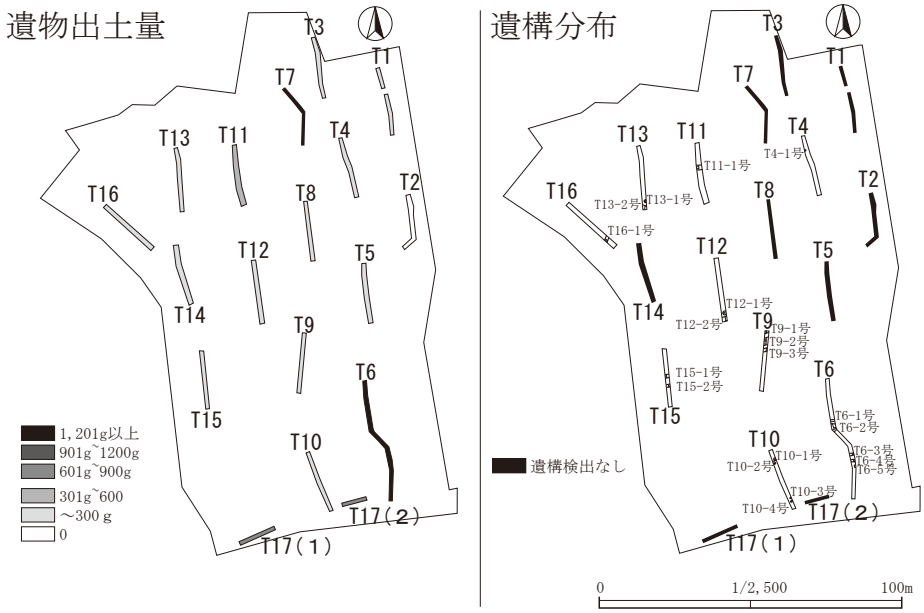
本節では、各エリアにおける遺構の分布状況と遺物の出土量を図示し、遺跡の広がりについての考察を行うものとした。

【エリア１】

当エリアでは、北半よりも南半で多くの遺構が検出されているが、T7 では遺構の検出はないものの、縄文土器と石製品が多く出土している点から、当エリア北では縄文期の遺跡の広がりの可能性を指摘したい。

また、エリア１からは３か所のトレンチ（T6・T10・T11）で鉄製品・鉄滓が出土しており、鉄生産に関連する遺構の存在も考えられる。

トレンチ番号	検出遺構数	出土遺物 点数	出土遺物 重量
T1	－	7	83.3
T2	－	－	－
T3	－	3	17.0
T4	1	5	108.5
T5	－	8	201.9
T6	4	34	2468.6
T7	－	85	2655.4
T8	－	1	42.6
T9	3	8	123.1
T10	4	6	123.2
T11	1	5	331.2
T12	2	21	262.3
T13	2	2	18.9
T14	－	6	35.3
T15	2	5	185.9
T16	1	11	100.0
T17	－	6	674.3



第 23 図　【エリア１】遺物出土量と遺構分布状況

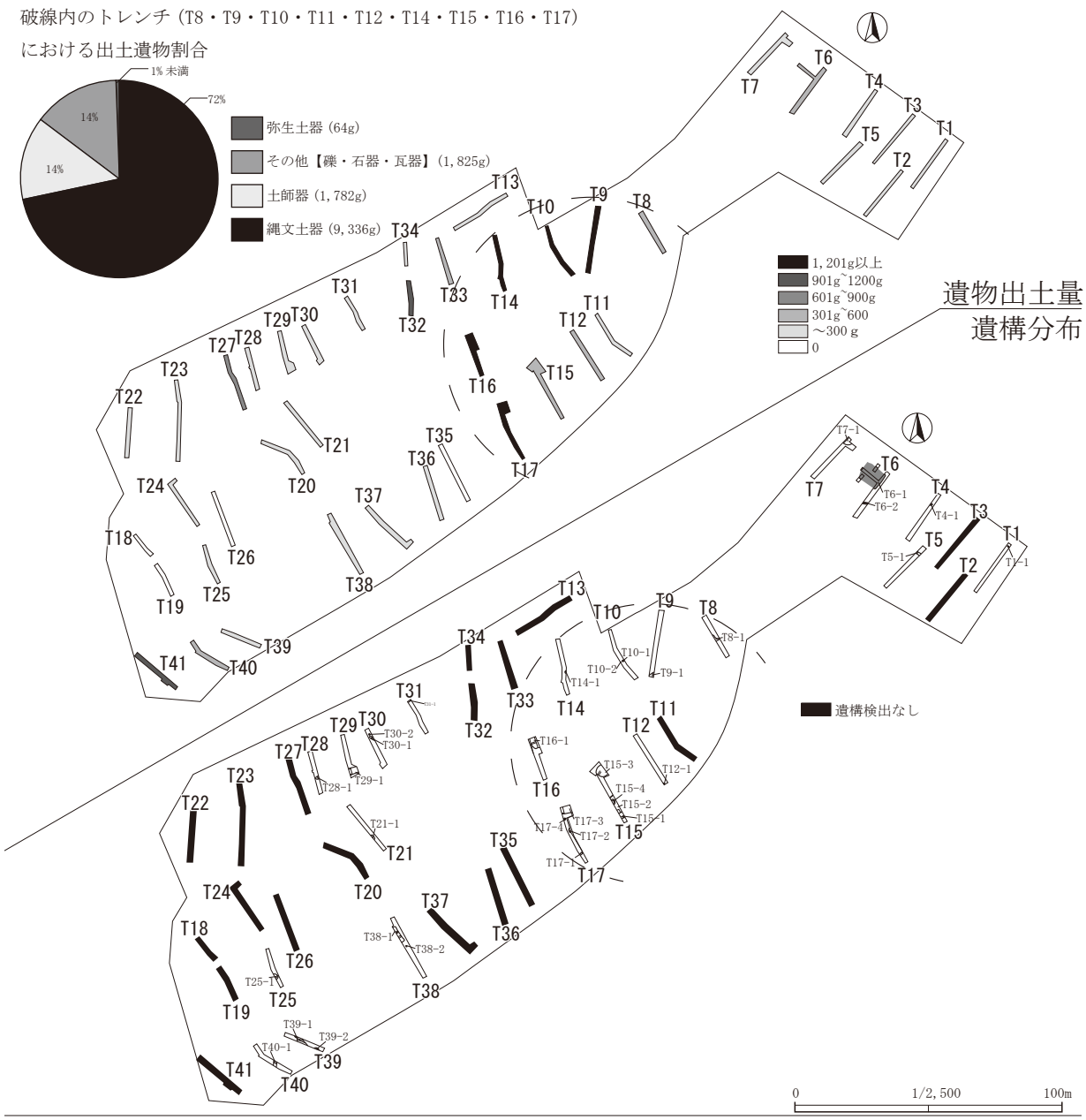
【エリア２】

北端の T6 では、南北 7.9ｍ、東西 6.7ｍを測る、古墳時代の竪穴建物跡を検出している。

中央部以南においては、遺構と遺物が多数検出されており、特に遺物と遺構の集中する範囲内（図中の破線部）のトレンチからは、出土した遺物の総重量で比較を行うと、縄文土器が 72%と圧倒的割合を占める。土師器においては、時期幅がおよそ３ｃ～４ｃ内に収まることと、大半の遺物が遺構に伴うことからも、エリア２では、縄文時代と古墳時代前期の遺跡が展開されていたと考えられる。

トレンチ番号	検出遺構数	出土遺物 点数	出土遺物 重量
T1	－	28	228.0
T2	－	33	186.1
T3	－	7	142.6
T4	1	7	101.9
T5	－	8	127.2
T6	2	32	486.7
T7	1	25	240.4
T8	1	36	559.1
T9	1	111	2085.6
T10	1	140	2454.9
T11	－	44	1804.0
T12	1	15	409.1
T13	－	7	100.1
T14	1	68	1765.6
T15	3	55	560.1
T16	－	113	1956.6
T17	3	120	1413.7
T20	－	6	74.4
T21	－	14	181.2

トレンチ番号	検出遺構数	出土遺物 点数	出土遺物 重量
T22	－	3	172.5
T23	－	7	85.9
T24	－	1	28.0
T25	1	6	35.6
T27	－	19	894.5
T28	－	1	30.0
T29	1	17	237.3
T30	1	15	272.3
T31	－	3	82.2
T32	－	36	1022.6
T33	－	25	591.8
T34	－	11	161.3
T36	－	10	74.5
T37	－	4	71.0
T38	1	16	249.2
T39	1	9	123.3
T40	1	21	687.4
T41	－	3	1056.4



第 24 図　【エリア２】遺物出土量と遺構分布状況

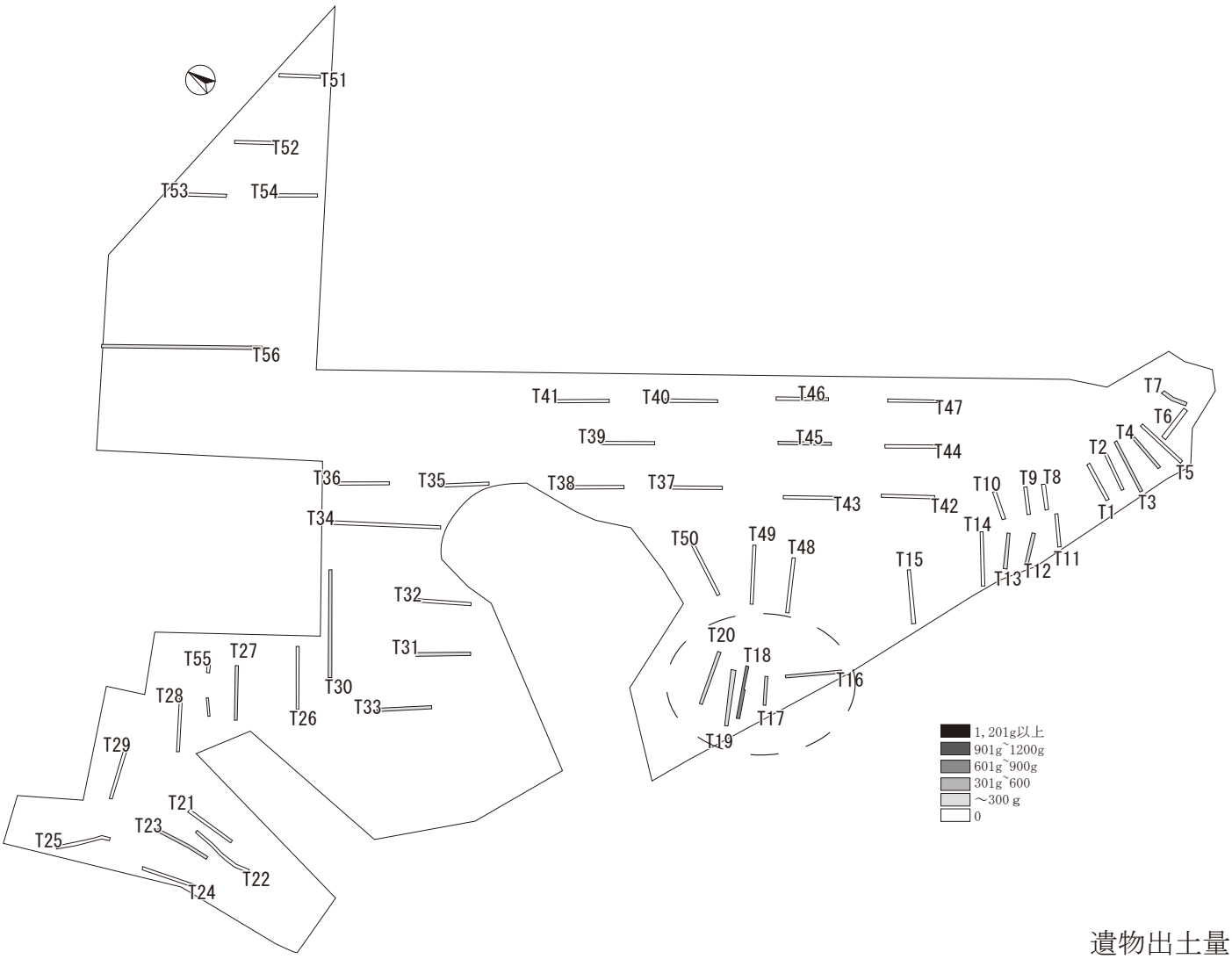
【エリア３】

エリア３は、他のエリアに比べ最も広域で、多くのトレンチを入れた。しかし、遺構の検出数と遺物の出土量は最も少ないエリアであった。

北西部に位置する T27 からは竈を有する竪穴建物跡を検出した。出土遺物は４～５ｃ代の土師器が中心で、同時期と思われる遺構と遺物が、T30・T31 からも出土している。

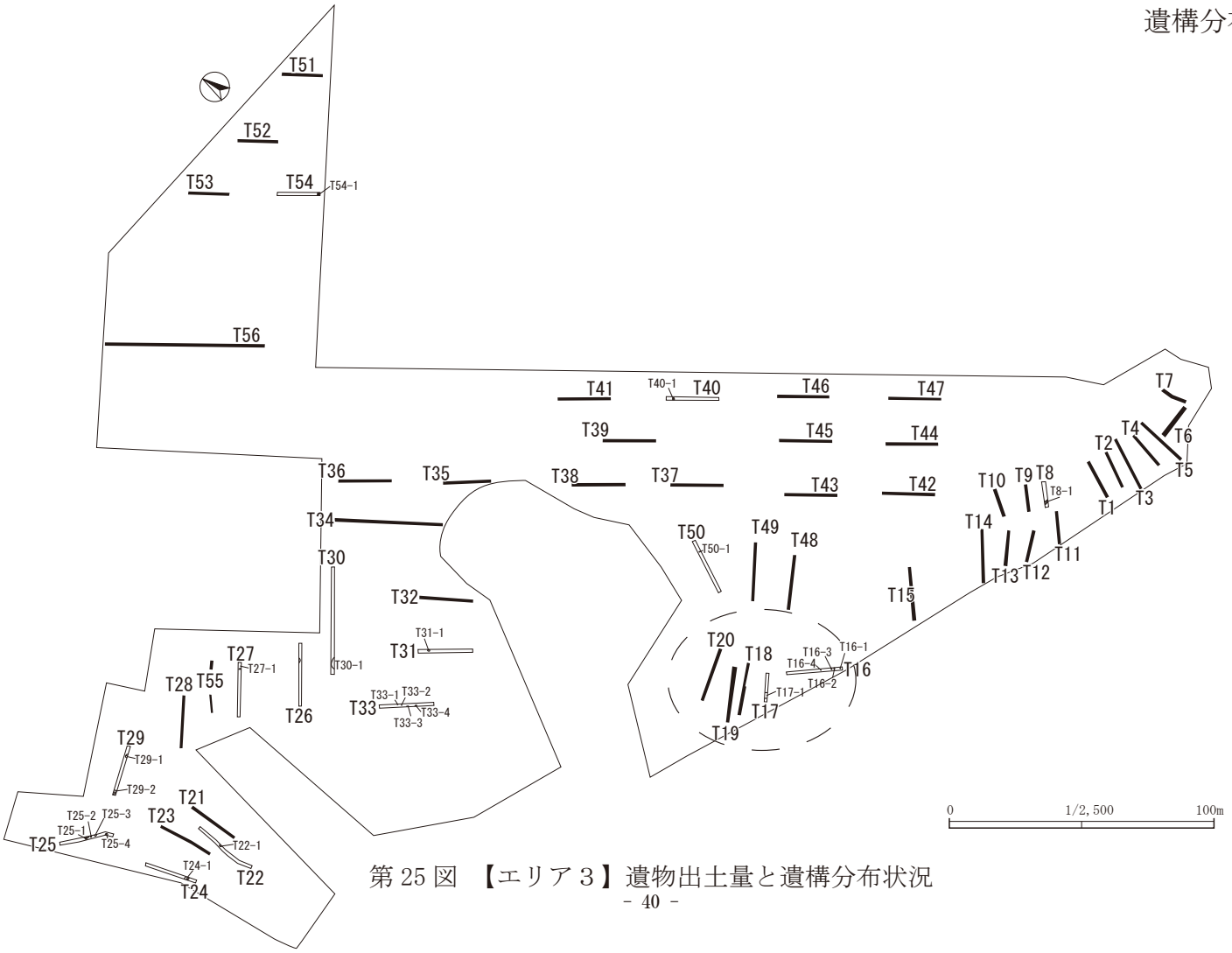
また、点線の範囲においては、縄文時代早期の条痕文系の土器が多く出土しており、縄文時代早期の遺跡の広がりも考えられる。

トレンチ	検出遺	出土遺物	
番号	構数	点数	重量
T3	－	2	13.4
T4	－	1	5.5
T7	－	2	23.7
T12	－	1	46.0
T13	－	1	14.4
T16	－	1	4.5
T17	1	9	91.0
T18	－	77	693.1
T19	－	11	222.7
T20	－	9	196.1
T23	－	1	47.9
T27	1	6	90.6
T30	1	18	278.4
T31	1	4	34.0
T33	－	1	7.8
T45	－	3	5.6
T56	－	2	20.8



遺物出土量

遺構分布



第 25 図　【エリア３】遺物出土量と遺構分布状況

第２節　各エリアのまとめ

【エリア１】

調査区全体が山林。その地形は樹枝状（馬の背状）の台地があり、調査区北部は傾斜し北端部は谷地形となっている。その台地上で遺構が確認されたが、その多くは谷地形から離れた位置にある。遺構の大半は溝跡や土坑と推測されるが、調査区南端部に設定されたT6から検出された遺構は、竪穴建物跡（縄文）とこれに重複する遺構である。この遺構は直線的な壁と遺構確認面からの深さ（底面からの壁高の高さ）があり、全容が不明なので断定するには至らないが、中世の竪穴遺構の可能性を指摘しておきたい。また、１点のみとはいえ、T5からナイフ形石器が出土していることを踏まえると、付近に旧石器時代の石器集中地点が存在する可能性がある。

エリア２とは距離的に離れていることからエリア１に接する上郷神谷森遺跡あるいは上郷院内山遺跡のどちらかの広がりと考えておきたい。

【エリア２】

今回の３つの調査区の中で遺構が最も多く確認された調査区である。畑地と山林を含むエリアで畑地の割合は少ない。山林の一部には高須賀熊の山遺跡・高須賀熊の山古墳群が広がっている。

山林の中はエリア１と同様いくつかの樹枝状の台地上で多くの遺構が確認された。遺構は畑地部分から竪穴建物跡、山林部分から竪穴建物跡や方形周溝墓の周溝がそれぞれ複数確認された。いずれも時期は古墳時代（前期）と推測される。遺構の密度は畑地の方が薄いように思える。遺跡の広がりを地理的な面から考えると畑地部分は上郷院内山遺跡の広がりの範疇と考えられるが、これまでの遺跡東側の調査では、縄文時代中期の遺構を多く検出しているため、東西で遺構分布に時期差があると思われる。一方、山林部分では、平成11・15年度調査でも古墳時代前期の遺構が多く確認されており、一帯に広く遺構が分布していることが想定される。同調査では、堀之内式期の竪穴建物跡が複数確認されており、今回の調査でも同土器が出土していることを踏まえると、山林部分の北西に集落跡が広がっている可能性がある。

【エリア３】

今回の調査で対象面積のもっとも広かった調査区である。調査区中央部から北側の畑地部分からは溝跡や竪穴建物跡が確認された。竪穴建物跡の遺存状態は悪い。南側からは土坑が確認された。山林部分では北側からは土坑、南側からは溝跡などが確認された。調査区の北側は高須賀遺跡や高須賀堂ノ前遺跡の広がりが想定されるが、遺構の密度としては薄い状況である。また、遺存状態も悪かった。南側は圏央道建設に伴い発掘調査された高須賀道城入遺跡の端部に当たることから当初から遺構密度が薄いことが想定されたが、それを裏付ける結果となった。

第７表 【エリア１】出土遺物一覧表

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
T1	154	－	一括	縄文	4	33.4			縄文前期　２点 縄文後期　２点
				土師器	2	34.4			６C：甕
	155	－	一括	陶器	1	15.5			近世初：擂鉢（瀬戸美濃）
T3	156	－	一括	縄文	3	17.0			縄文早期　２点（うち繊維１点）
T4	157	－	一括	縄文	5	108.5			縄文早期（撚糸）１点 縄文前期（繊維）１点 縄文中期：加曽利Ｅ式　１点 不明　２点
T5	158	－	一括	縄文	4	82.7			縄文前期（繊維）１点 縄文中期：加曽利Ｅ式　２点 不明　１点
				陶器	1	67.5			14C：常滑大甕
				石器	1	7.8		T5-2	黒曜石
				石製品	1	20.8		T5-1	火成岩
	159	－	一括	縄文	1	23.1			縄文中期：浅鉢
T6	160	１号遺構	No.１	縄文	4	209.6	４片全て接合	T6-1	縄文中期終末ヵ　黄橙　良
	161	１号遺構	No.２	石製品	1	1612.0		【写真】T6-6	泥片岩（雲母）　凹石３か所
	162	１号遺構	Ａトレ一括	縄文	12	285.8		T6-2	縄文中期
	163	１号遺構	Ｂトレ一括	縄文	4	120.5		T6-3	縄文中期　中峠式ヵ
	164	１号遺構	サブトレＣ一括	縄文	5	39.5			縄文前期（繊維）：黒浜式　２点 縄文中期　３点
				鉄製品	1	12.0		【写真】T6-5	鎹ヵ
				陶器	1	59.7		T6-4	－
				礫	2	33.2			雲母片岩１点 硬質砂岩１点
	165	５号遺構	一括	鉄滓	1	19.6			流動滓ヵ（鉄多し）
	166	－	一括	縄文	3	76.7			縄文中期　加曽利ＥⅣ式 縄文中期　不明２点
T7	167	１号遺構	一括	縄文	2	53.8		T7-1	安行式
	168	－	サブトレ南側	縄文	3	47.5			縄文中期：加曽利ＥⅡ以降
				石製品	1	798.5		【写真】T7-5	置砥石（片面のみ）　火成岩
	169	－	一括	縄文	1	12.4			縄文後期　（無文）
	170	－	一括	縄文	70	1352.0		T7-2.3	縄文中期：有孔鍔付土器 縄文中期：加曽利ＥⅡ・Ⅲ式 縄文後期前半：堀之内式・称名寺式・不明多数
				石製品	1	287.1		【写真】T7-4	火成岩
	171	－	一括	縄文	7	104.1			縄文後期　４点 不明３点
T8	172	－	一括	剥片	1	42.6			剥片扱い　灰色チャート質
T9	173	２号遺構	一括	縄文	4	57.9		T9-1	縄文中期
				弥生	1	3.8			浅鉢（弥生町ヵ）　細縄文・赤彩
	174	－	一括	縄文	3	61.4			縄文中期：加曽利ＥⅡ式　２点 縄文前期：浅鉢　１点
T10	175	１号遺構	一括	土師器	2	5.9			不明
	176	－	一括	縄文	1	24.6			加曽利ＥⅡ式
				須恵器	1	4.8			甕（雲母・緻密・ビ）新治東城寺ヵ
				鉄製品	1	6.7		T10-1	角釘　頭頂部
				鉄滓	1	81.2			流動滓
T11	177	１号遺構	一括	石製品	1	96.7			石斧（扁平）
				鉄滓	1	134.5			流動滓
	178	－	一括	縄文	3	100.0			縄文前期　２点 縄文後期　１点
T12	179	１号遺構	一括	縄文	6	83.0			堀之内式　２点 縄文中期　４点
	180	２号遺構	一括	縄文	7	85.3			縄文中期：加曽利Ｅ式　１点 縄文中期　１点 縄文後期　５点
				礫	1	35.2			砂岩
	181	－	一括	縄文	5	52.2			縄文中期：加曽利Ｅ式　４点 縄文後期　１点
				土師器	1	2.5			手捏ね小鉢
				礫	1	4.1			－
T13	182	２号遺構	－	縄文	1	14.0			縄文中期前半（石英大粒多量）
	183	－	一括	縄文	1	4.9			縄文中期前半（石英大粒多量）
T14	184	－	－	縄文	5	39.3			縄文中期前半（石英大粒多量）２点 縄文中期後半（半截竹管）　１点 不明２点
	184	－	－	土師器	1	6.0			９C　坏底部（糸切り）
T15	185	２号遺構	一括	縄文	1	11.3			縄文前期（繊維）：黒浜
				石器	1	6.8		T15-1	－
	186	－	一括	縄文	1	20.5			縄文中期（地縄）
				土師質土器	1	116.6			13C代
				陶器	1	30.7			13C代　常滑
16T	187	－	一括	縄文	5	19.4			縄文後期ヵ　薄手 胎土構成×（混和材）
				礫	1	28.1			灰色火成岩
	188	－	一括	縄文	1	8.3			縄文中期前半（石英大粒多量）
				土師器	4	44.2			赤彩　１点　不明　３点

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
T17	189	1	一括	陶器	1	63.6		T17-1	-
	190	①	一括	縄文	4	30.6			縄文中期前半（石英大粒多量） 2点 不明 2点
	191	①	一括	瓦器	1	18.6		T17-2	-
	196	1	一括	石製品	1	561.5		【写真】T17-3	縄文期

第８表 【エリア２】出土遺物一覧表

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
1T	3	-	一括	縄文	20	196.6			縄文中期前半（石英大粒多量） 8点 縄文中期（地文） 2点 縄文後期 1点 不明 9点
				土師器	5	10.4			不明 5点
				陶器	2	4.0			近世：褐釉燈明皿 緑釉碗
				鉄製品	1	17.0			鉄（鉗子ではない）
T2	4	-	一括	縄文	32	184.1			縄文中期前半（石英大粒多量） 5点 不明 27点
				陶器	1	2.0			近世：灰釉燈明皿
T3	5	-	一括	縄文	6	136.6			縄文中期前半（石英大粒多量） 3点 不明 3点
				土師器	1	6.0			4C：坩ヵ
T4	6	1号遺構	-	縄文	1	10.5			縄文中期
				土師器	3	28.3			4C：椀（赤彩） 1点・壺 1点 不明 1点
	7	1号遺構	一括	土師器	1	32.2			3～4C：甕（東海系）
	8	-	一括	縄文	1	27.6			縄文後期：堀之内式（石英大粒多量）
				土師器	1	3.3			不明 1点
T5	9	-	一括	縄文	5	103.5			縄文後期：堀之内式 5点
				土師器	3	23.7			3～4C：甕（東海系）1点・器台（赤彩）1点 不明 1点
T6	10	1号遺構	No.1	土師器	1	42.2		T6-1	-
	11	1号遺構	No.2	土師器	1	89.7		T6-2	-
	12	1号遺構	No.3	縄文	1	25.9			縄文中期（地文）
	13	1号遺構	-	縄文	1	6.7			不明 1点
				土師器	4	46.3			4C：甕（東海系） 1点 5C：壺 3点
	14	1号遺構	一括	縄文	2	13.1			縄文前期（繊維） 1点 不明 1点
			一括	土師器	1	19.3		T6-3	-
	15	1号遺構	一括	縄文	3	64.7			縄文前期（繊維） 1点 縄文中期前半 （石英大粒多量）2点
			一括	土師器	4	39.8			椀（赤彩＝丹） 1点 坩 1点 甕 2点
	16	1号遺構	一括	縄文	1	2.3			不明 1点
			一括	土師器	3	21.6			4～5C：壺 1点 不明 2点
	17	2号遺構	一括	縄文	2	8.1			不明 2点
	18	-	一括	縄文	6	95.1			縄文中期前半 （石英大粒多量）2点 縄文後期：堀之内式 1点 不明 3点
	19	-	一括	土師器	1	8.4			4～5C：壺 1点
	20	トレンチ	一括	土師器	1	3.5			4C：壺 1点
T7	21	1号遺構	一括	縄文	2	30.8			縄文後期 2点
				土師器	5	44.8			4C：甕（東海系） 3点・壺 1点 不明 2点
	22	1号遺構	一括	縄文	2	27.4			縄文中期：加曽利ＥⅡ式 1点 不明 1点
				土師器	3	8.8			3C：椀（赤彩＝丹） 1点 4C：壺 2点
	23	-	一括	縄文	5	25.1			縄文前期（地文） 3点 不明 2点
	24	-	一括	縄文	8	103.5			縄文早期（条痕文系） 1点 縄文後期 2点 不明 5点
T8	25	1号遺構	一括	縄文	3	48.9			縄文中期前半 （石英大粒多量）1点 不明 2点
				土師器	2	11.8			3C：壺（赤彩＝丹） 1点 不明 1点
				礫	1	154.2			火成岩 使用痕あり
	26	-	一括	縄文	27	320.0			縄文中期（大木８式系）1点 縄文中期前半 （石英大粒多量）4点 不明 2点
	26	-	一括	土師器	3	24.2			甕（東海系）1点 不明 2点
T9	1	1号遺構	No.1	土師器	1	248.0		T9-1	4C
	2	1号遺構	No.2	土師器	1	116.4		T9-2	3C末
	27	-	No.1	瓦器	1	140.3		T9-4	中世：三足火鉢

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
T9	28	1号遺構	No.3	土師器	2	19.9		T9-3	4C：甕（東海系）
	29	1号遺構	一括	縄文	12	115.4			縄文前期（繊維） 3点 不明 9点
			一括	土師器	19	297.0			3～4C：壺・高坏（赤彩＝丹）5点 4C：甕（東海系）3点 不明 21点
			一括	礫	1	120.0			火成岩 使用痕あり
	30	－	一括	縄文	19	339.5			縄文前期（繊維） 3点 縄文中期（懸垂文）1点 縄文不明 9点
				弥生	1	64.1			弥生中期（足洗式ヵ 円弧文）1点
	31	－	一括	縄文	38	396.5			縄文中期前半 （石英大粒多量）5点 縄文中期（地文）3点 縄文中期ヵ（沈線文）2点 不明 28点
				土師器	6	54.1			壺 赤彩 2点 不明 4点
				石器	1	52.7		T9-5	打製石斧：分銅形 火成岩
	32	－	一括	縄文	8	114.5			縄文後期（半截竹管文）2点 不明 6点
				土師器	1	7.2			3～4C 椀（赤彩＝丹）
T10	33	－	No.1	縄文	2	120.8			縄文中期（地文）
	34	－	No.2	縄文	1	95.4			縄文後期（地細縄文・平行沈線）
	35	－	No.3	縄文	6	401.0	袋No.35＋36	T10-1	縄文4点
	36	－	No.4	縄文	5	208.1			不明5点
	38	1号遺構	一括	縄文	1	17.8			縄文後期（波状口縁 内面刺突文）
	37	遺物出土集中区	一括	縄文	62	771.8		T10-2	縄文中期（地文）11点 縄文後期（地文＋ヘラ描き沈線文）7点 不明 44点
	39	－	一括	縄文	6	64.2			縄文中期
	40	－	一括	縄文	27	309.0			縄文中期前半 1点 縄文後期（磨消縄文＋円弧文）3点 不明 22点
	41	－	一括	縄文	27	372.0			縄文後期 5点 不明 22点
	42	－	一括	縄文	2	68.8			縄文後期 2点
	43	－	一括	縄文	1	26.0			縄文中期（沈線文）1点
T11	44	－	No.1	縄文	1	16.7		T11-4	－
	45	－	No.2	縄文	2	33.8	（2点接合）	T11-5	－
	46	－	No.3	縄文	2	185.6		T11-2	－
	47	－	No.4	縄文	1	32.0			縄文後期（地文・平行沈線）
	48	－	No.5	縄文	1	249.0	袋No.48＋59	T11-1	－
	49	－	No.6	縄文	1	41.1	袋No.49＋57＋59		－
	50	－	No.7	縄文	3	37.7			縄文後期（地文・平行沈線）
	51	－	No.8	縄文	1	16.0			縄文後期
	52	－	No.9	縄文	6	134.3			縄文中期前半 （石英大粒多量）
	53	－	No.10	縄文	1	16.4		T11-6	堀之内式
	54	－	No.11	縄文	1	58.4			縄文後期（沈線文）
	55	－	No.12	縄文	2	34.2			縄文後期（地文＋平行沈線文）
	56	－	No.13	石製品	1	368.0		【写真】T11-7	－
	57	遺物集中	一括	縄文	9	334.0		T11-3	堀之内式
	58	－	一括	縄文	3	57.8			堀之内式
		－	一括	土師器	1	42.6			高坏
	59	－	一括	縄文	8	146.4			縄文後期：堀之内式（地文＋平行沈線文）
T12	60	1号遺構	－	縄文	3	10.0			縄文前期（繊維）2点 不明 1点
				土師器	2	7.4			3～4C：高坏（赤彩）
	61	－	一括	縄文	8	366.0			縄文後期：堀之内式（地文なし）
	62	－	一括	縄文	2	25.7			縄文後期：堀之内式（地文＋平行沈線文）
T13	63	－	一括	縄文	5	84.0			縄文後期（地文・懸垂文）2点 不明 3点
	63	－	一括	土師器	2	16.1			不明 2点
T14	64	1号遺構	－	縄文	4	46.3			不明 4点
	65	攪乱1	一括	縄文	5	90.6			縄文中期 1点 不明 4点
		攪乱1	一括	土師器	1	4.3			4C 壺（赤彩）
	66	－	一括	縄文	50	910.5		T14-1	縄文後期（地文＋ヘラ描き沈線文）4点 不明 46点
	67	－	一括	縄文	7	162.9			縄文後期（地文＋ヘラ描き沈線文）
	68	－	一括	石器	1	551.0		T14-2	火成岩
T15	69	1号遺構	－	縄文	2	55.7			不明 2点
		1号遺構	－	土師器	2	25.3		T15-1	3C 弥生系土師器
		1号遺構	－	土師器	4	36.4			不明 4点
	70	2号遺構	一括	縄文	2	62.6			不明 1点
		2号遺構	一括	土師器	6	51.3		T15-3 T15-4	4C：甕（東海系） 3C：高坏 不明 5点
	71	3号遺構	No.1	土師器	12	47.9		T15-2	広口
	72	3号遺構	No.2	土師器	1	28.7			4C：甕

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
T15	73	－	一括	土師器	7	74.6			不明 7 点
	74	－	一括	土師器	2	14.8			3C 末：高坏　脚部（赤彩）　1 点 不明　1 点
	75	－	一括	縄文	1	68.6			不明　1 点
		－	一括	土師器	6	54.9			甕　3 点 不明　3 点
	130	3 号遺構	－	縄文	1	23.0			縄文前期　1 点
			－	土師器	9	16.3			不明　9 点
T16	76	－	一括	縄文	40	407.5			縄文中期（地文）多　10 点 不明　30 点
				土師器	2	11.5			3C　椀（赤彩）
				礫	1	439.5			使用痕あり　硬質砂岩
	77	－	一括	縄文	3	92.0			縄文後期：堀之内式（地文＋平行沈線文）
	78	－	一括	縄文	20	550.5		T16-1 T16-2 T16-3	縄文後期（地文＋平行沈線文）
				土師器	1	4.1			不明　1 点
	79	－	一括	縄文	12	150.7			縄文後期（地文＋平行沈線文）4 点 不明　8 点
	80	－	－	縄文	32	294.3		T16-4	縄文後期：加曽利 B 式 不明 31 点
				土師器	2	6.5			
T17	81	1 号遺構	一括	土師器	2	47.1			不明　2 点
	82	2 号遺構	一括	縄文	1	5.9			－
				土師器	17	409.0		T17-2	－
	83	3 号遺構	一括	縄文	55	471.7			縄文後期主体
				土師器	9	58.9			4C　壺
	131	3 号遺構	一括	土師器	1	14.1			4C　壺
	132	－	一括	縄文	1	10.2			縄文中期前半（石英大粒多量）
				土師器	1	23.1			壺
	84	－	一括	縄文	29	348.5		T17-1	縄文中期（地文のみ）5 点 縄文後期：安行式系　1 点 不明　23 点
				土師器	4	25.2			古墳時代前期：不明　4 点
T20	85	－	一括	縄文	6	74.4			縄文中期前半（石英大粒多量）2 点 縄文後期（地文＋平行沈線文）2 点 不明　2 点
T21	86	1 号遺構	一括	縄文	4	53.5			不明　4 点
	87	－	一括	縄文	8	114.8			縄文後期（地文＋平行沈線文）2 点 不明　6 点
				土師器	2	12.9			古墳時代前期：不明 2 点
T22	88	－	一括	縄文	3	172.5		T22-1	縄文後期（地文＋平行沈線文）3 点
T23	133	－	一括	縄文	6	81.1			縄文中期（石英大粒多量）1 点 不明　5 点
				土師器	1	4.8			3C 末：壺（赤彩）
T24	89	－	－	土師器	1	28.0		T24-1	古墳時代前期
T25	134	1 号遺構	一括	縄文	2	16.6			後期（沈線文）
				土師器	3	13.6			3C 末：壺（赤彩）
	135	－	一括	縄文	1	5.4			不明　1 点
T27	136	－	一括	縄文	15	563.0		T27-1・T27-2・T27-3	縄文後期：堀之内式
				土師器	1	2.5			－
	192	－	一括	縄文	3	329.0	袋No. 192 ＋ 136	T27-4	縄文後期：堀之内式
T28	137	－	一括	縄文	1	30.0		T28-1	縄文後期
T29	138	1 号遺構	一括	縄文	12	139.9		T29-1	堀之内式（8 の字状貼付文）
			一括	土師器	2	55.1		T29-2	4C：壺
			一括	礫	1	20.0			－
	139	－	一括	縄文	2	22.3			不明 2 点
T30	140	1 号遺構	一括	縄文	7	112.6			不明　7 点
	141	－	一括	縄文	7	147.0		T30-1	縄文後期：堀之内式
				土師器	1	12.7			不明　1 点
T31	142	－	一括	縄文	3	82.2			縄文早期（繊維）3 点
T32	143	－	一括	縄文	33	892.5		T32-1・32T-2・T32-3	縄文後期（地文＋平行沈線文）主体
				石製品	1	70.0			チャ－ト系
	193	－	一括	縄文	2	60.1	袋No. 145（34 トレ）と接合		縄文後期（地文＋平行沈線文）2 点
T33	144	－	一括	縄文	23	516.0		T33-1	縄文後期：堀之内式 縄文後期（地文＋平行沈線文）主体
				礫	1	31.4			使用痕なし　硬質砂岩
	194	－	一括	縄文	1	44.4			－
T34	145	－	一括	縄文	11	161.3	袋No. 193（32 トレンチ）と接合		加曽利 B 式ヵ　2 点 不明　9 点
T36	146	－	一括	縄文	10	74.5			不明　10 点
T37	147	－	一括	縄文	2	22.0			不明　2 点
				礫	2	49.0			火成岩

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
T38	148	－	一括	縄文	2	32.4			不明　2点
				土師器	5	131.5			3～4C：壺（赤彩）3点 不明　2点
				陶器	2	20.4			猪口
				古銭	1	1.7			寛永通宝
	149	1号遺構	－	土師器	6	63.2			古墳時代前期：壺（赤彩）3点 不明　3点
T39	150	1号遺構	－	縄文	4	57.8			不明　4点
				土師器	1	30.9		T39-1	3C：壺（パレス型・赤彩）
				礫	1	2.2			硬質砂岩
	151	1号遺構	一括	縄文	2	29.9			縄文早期（条痕文系）2点
	151	1号遺構	一括	土師器	1	2.5			不明　1点
T40	152	1号遺構	No.1	土師器	8	546.9	袋No.152＋153	T40-1	古墳時代前期　赤彩
	153	1号遺構	No.2	土師器	13	140.5			実測No.72（土師器：壺）の同一個体
T41	195	－	一括	縄文	2	36.4			不明　2点
				石製品	1	1020.0		T41-1	中世
エリア2	90	エリア一括	一括（表採）	縄文	2	61.2			縄文後期（地文）1点 不明　1点

第9表　【エリア3】出土遺物一覧表

トレンチ	袋No.	遺構	出土位置	種別	点数	重さ（g）	接合	掲載番号	備考
T3	91	－	－	縄文	1	12.1			縄文後期ヵ：底部
	92	－	－	石器	1	1.3		T3-1	―
T4	129	－	－	土師器	1	5.5			9C：坏
T7	93	－	一括	弥生	2	23.7			弥生終末期（細縄文・石英大粒多量）
T12	94	－	一括	縄文	1	46.0			縄文中期前半：口縁帯
T13	95	－	一括	縄文	1	14.4			縄文中期前半（石英大粒多量）
T16	128	トレンチ内	一括	縄文	1	4.5			縄文中期ヵ
T17	96	1号遺構（仮SI1覆土上層）	一括	縄文	4	21.5			縄文早期（条痕文系）4点
	97	トレンチ	一括	縄文	4	39.5			縄文前期（繊維）4点
				礫	1	30.0			火成岩
T18	98	サブトレ1	一括	縄文	5	41.2			縄文早期（条痕文系）
				礫	1	141.0			焼礫　火成岩
	99	サブトレ2	一括	縄文	3	16.5			縄文早期（条痕文系）2点 不明　1点
	100	サブトレ3	一括	石器剥片	1	4.1		【写真】T18-3	黒曜石（信州産か）
	101	トレンチ覆土下層（底面）	一括	縄文	27	226.9		T18-1 T18-2	縄文中期：五領ヶ台式【T18-1】 縄文早期（条痕文系）【T18-2】
		トレンチ覆土下層（底面）	一括	石器剥片	1	0.3			チャート
		トレンチ覆土下層（底面）	一括	礫	1	3.7			－
	102	一	一括	縄文	19	196.9			縄文早期（貝殻条痕文）尖底あり
	103	一	一括	縄文	19	62.5			縄文早期（条痕文系）
T19	104	トレンチ覆土下層（底面）	一括	縄文	6	67.3		T19-1	縄文早期（条痕文系）6点
	105	－	一括	縄文	3	38.0			縄文早期（条痕文系）
			一括	礫	2	112.7			火成岩　使用痕あり　1点 硬質砂岩　使用痕あり　1点
	106	－	一括	縄文	1	4.7			縄文早期（条痕文系）
T20	107	サブトレ1	一括	縄文	2	9.4			縄文中期（石英大粒多量）
	108	サブトレ2	一括	礫	1	132.2			焼礫　火成岩
	109	－	一括	縄文	6	54.5		T20-1	縄文早期（条痕文系）3点 不明　3点
T23	110	－	一括	陶器	1	47.9		T23-1	近世：内耳平鍋ヵ
T27	111	1号遺構	No.1	土師器	1	23.9			5C：甕
	112	－	一括	土師器	5	66.7			5C：甕　1点・壺4点
T30	113	1号遺構	No.1	土師器	1	140.6	袋No.113+114+115+116+117+122		4～5C：壺
	114	1号遺構	No.2	土師器	1	11.1	袋No.113+114+115+116+117+122		4～5C：壺
	115	1号遺構	No.3	土師器	1	37.9	袋No.113+114+115+116+117+122		4～5C：壺
	116	1号遺構	No.4	土師器	1	9.2	袋No.113+114+115+116+117+122		4～5C：壺
	117	1号遺構	No.5	土師器	1	7.0	袋No.113+114+115+116+117+122		4～5C：壺
	118	1号遺構	No.6	土師器	1	4.2			5C：壺
	119	1号遺構	No.7	土師器	1	3.8			5C：甕
	120	1号遺構	No.8	土師器	1	0.9			5C：甕
	121	1号遺構	上層	土師器	5	18.3			5C：甕　2点 不明　3点
	122	1号遺構	下層	土師器	1	4.0	袋No.113+114+115+116+117+122	T30-1	4～5C：壺
	123	－	一括	縄文	4	41.4			縄文前期（地縄文）
T31	124	1号遺構（SK1）	No.1	土師器	4	34.0			5Cヵ：甕肩部
T33	125	－	一括	縄文	1	7.8			縄文早期（条痕文系）
T45	126	－	一括	縄文	3	5.6			不明　3点
T56	127	－	一括	縄文	1	10.8			不明　1点
				土師器	1	10.0			4C：直口壺（赤彩）

写 真 図 版



1　T4　1号遺構　覆土堆積状況



2　T6　1号遺構　覆土堆積状況



3　T6　1号遺構　遺物出土状況



4　T9　2号遺構　覆土堆積状況



5　T9　3号遺構　覆土堆積状況



6　T11　1号遺構　覆土堆積状況



7　T12　1号遺構　覆土堆積状況



8　T14　1号遺構　検出状況



1　T15　１号遺構　覆土堆積状況



2　T15　２号遺構　覆土堆積状況



3　T16　１号遺構　検出状況



4　T16　１号遺構　覆土堆積状況

エリア１

エリア２



5　T4　１号遺構　覆土堆積状況



6　T5　１号遺構　覆土堆積状況



7　T6　１号遺構　検出状況



8　T6　１号遺構　覆土堆積状況



1　T6　2 号遺構　覆土堆積状況



2　T7　1 号遺構　覆土堆積状況



3　T8　1 号遺構　覆土堆積状況



4　T9　1 号遺構　覆土堆積状況



5　T9　3 号遺構　遺物出土状況



6　T11　1 号遺構　遺物出土状況



7　T15　遺構検出状況 1



8　T15　遺構検出状況 2



1　T15　2 号遺構　覆土堆積状況



2　T15　3 号遺構　遺物出土状況



3　T16　1 号遺構　検出状況



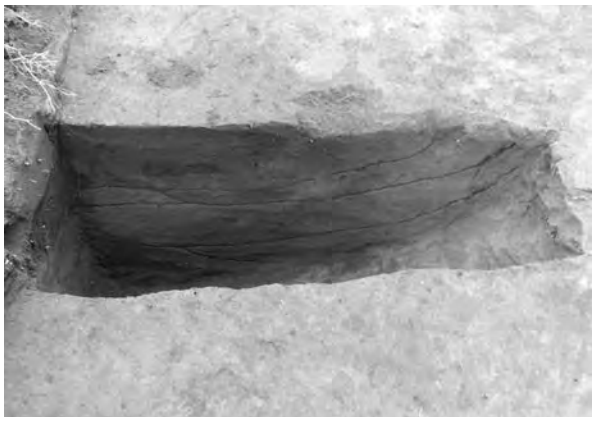
4　T16　1 号遺構　覆土堆積状況



5　T17　3 号遺構　覆土堆積状況



6　T17　4 号遺構　覆土堆積状況



7　T25　1 号遺構　覆土堆積状況



8　T30　1 号遺構　覆土堆積状況



1　T38　１号遺構　検出状況



2　T39　１号遺構　覆土堆積状況



3　T40　１号遺構　覆土堆積状況

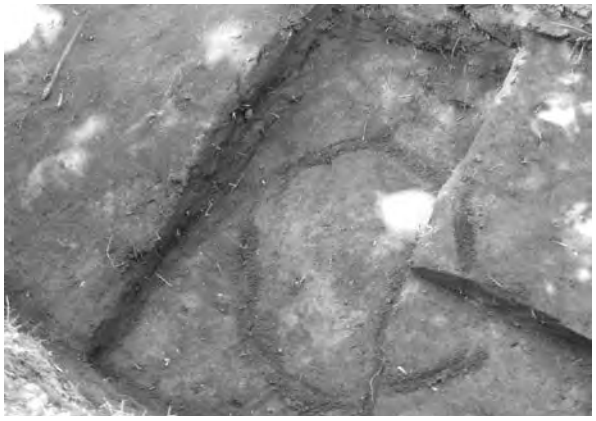


4　T40　１号遺構　遺物出土状況

エリア２
エリア３



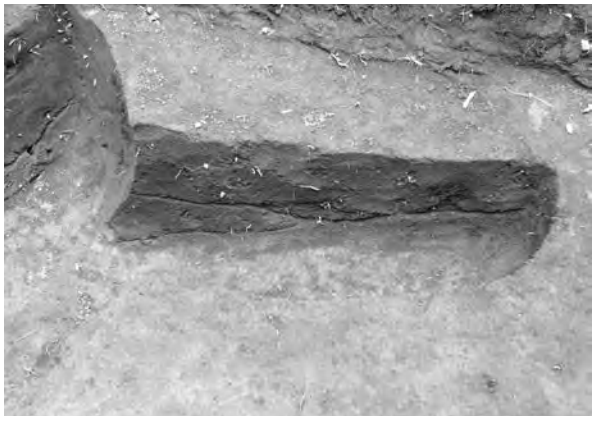
5　T8　１号遺構　覆土堆積状況



6　T17　１号遺構　検出状況



7　T25　１号遺構　覆土堆積状況



8　T25　２号遺構　覆土堆積状況



1　T25　3 号遺構　覆土堆積状況



2　T26　1 号遺構　検出状況



3　T27　1 号遺構　覆土堆積状況



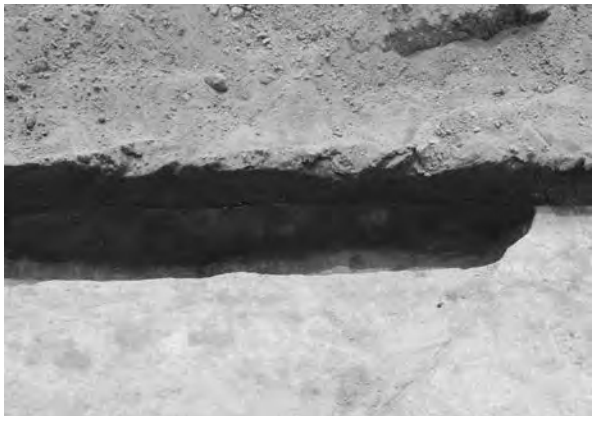
4　T27　1 号遺構　粘土検出状況



5　T29　1 号遺構　覆土堆積状況



6　T30　1 号遺構　検出状況

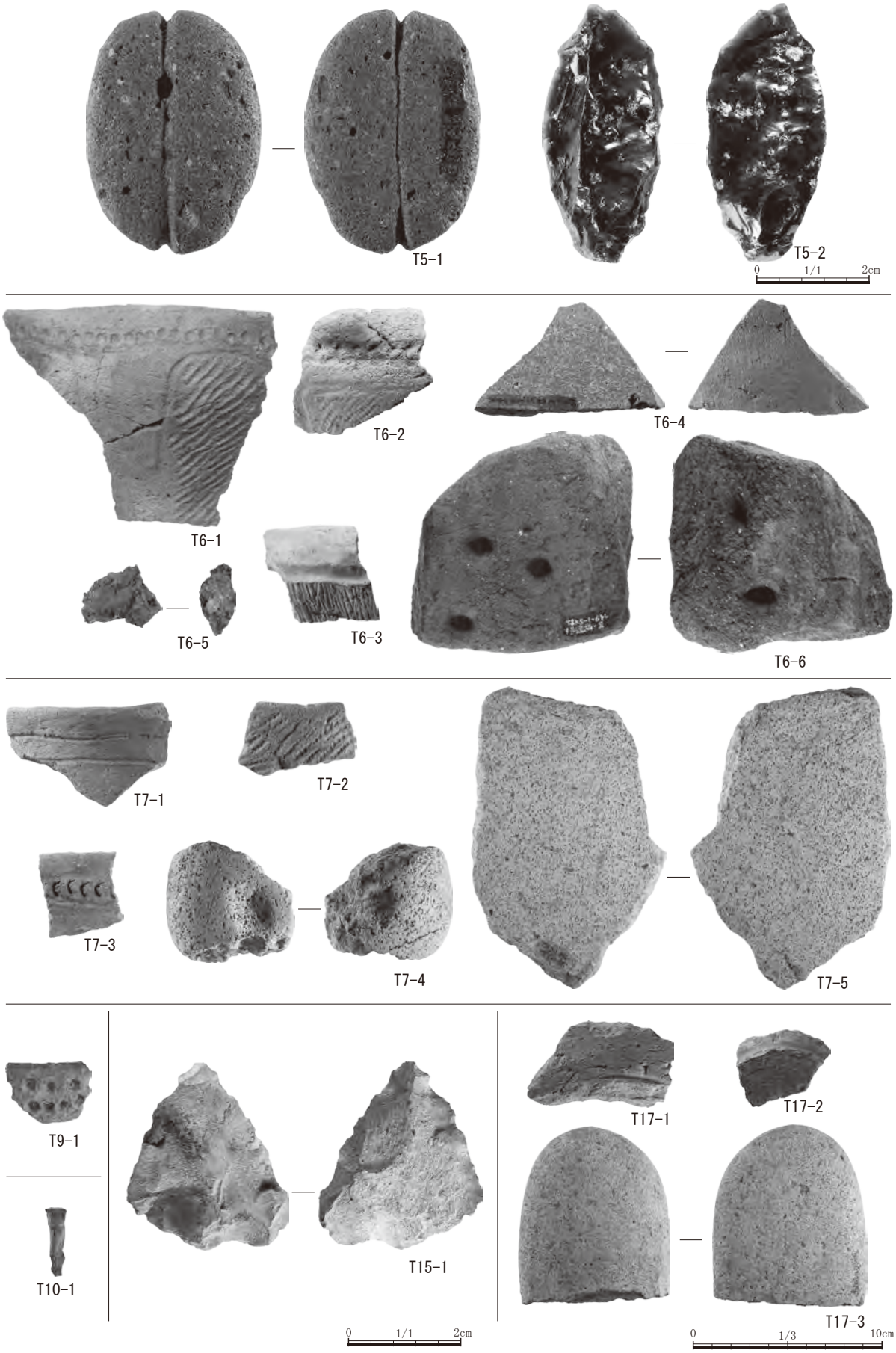


7　T30　1 号遺構　覆土堆積状況

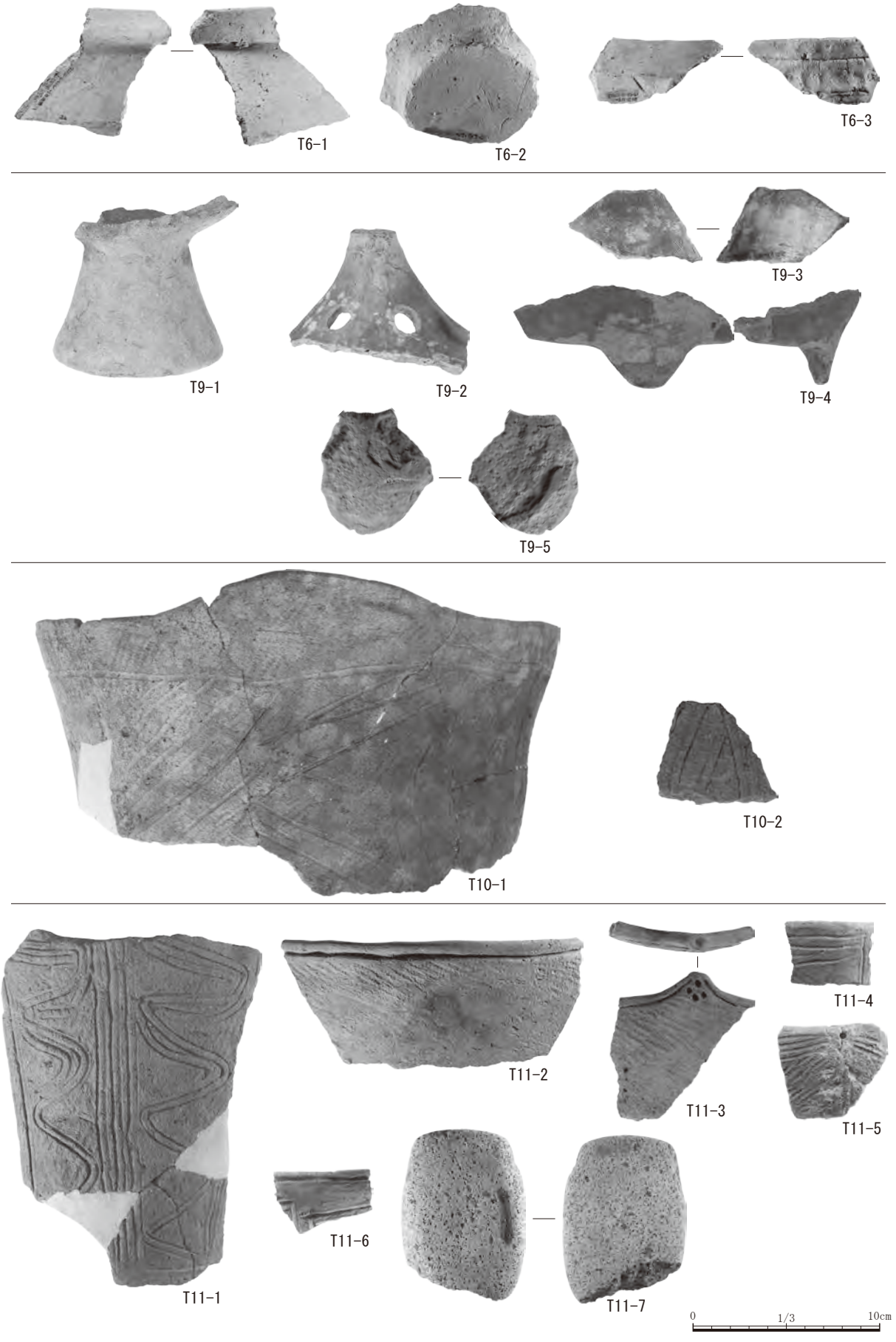


8　T30　1 号遺構　遺物出土状況

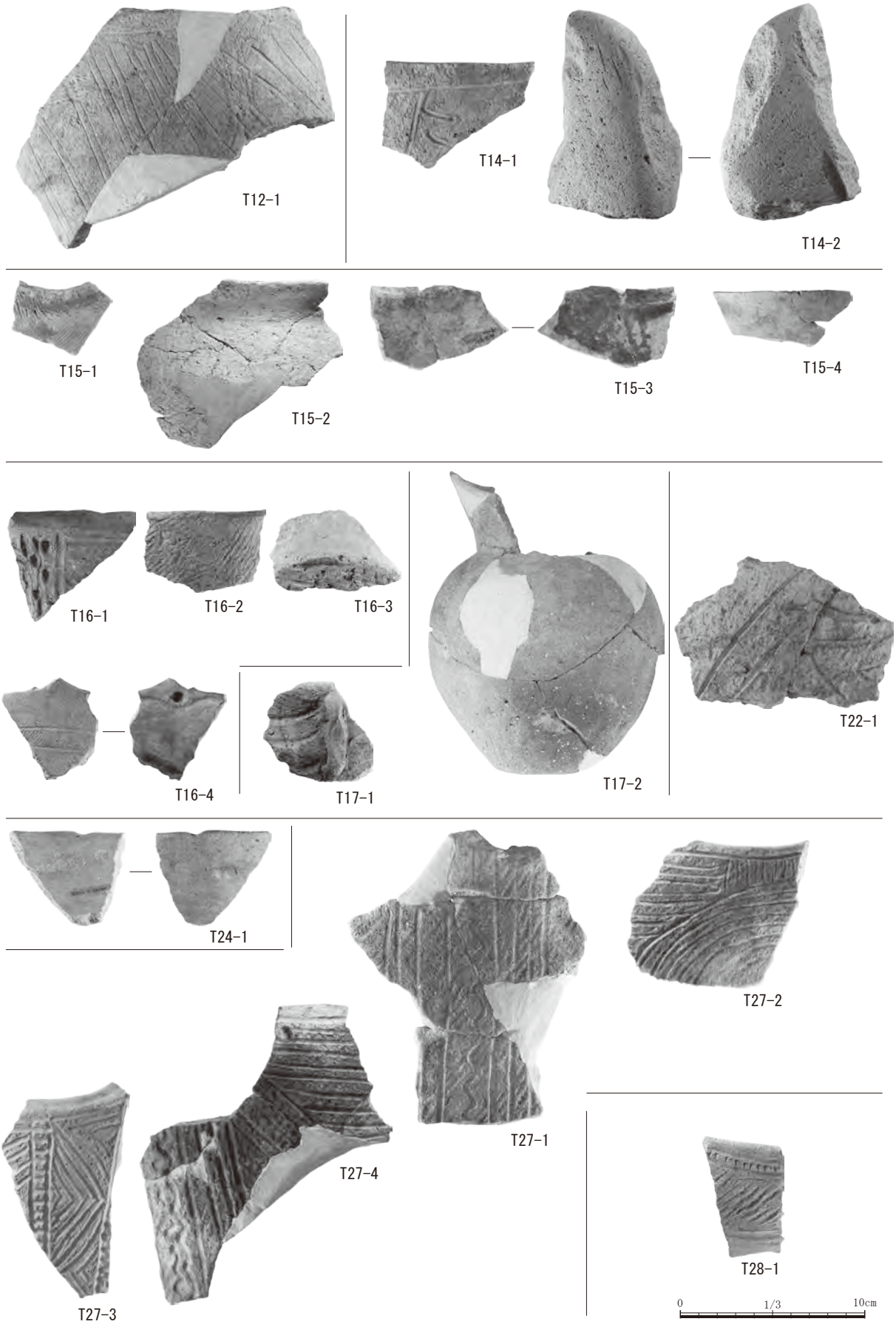
【エリア１】トレンチ出土遺物



【エリア２】トレンチ出土遺物（１）



【エリア２】トレンチ出土遺物（２）



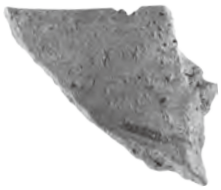
【エリア２】トレンチ出土遺物（３）


T29-1

T29-2


T30-1


T33-1



T32-1


T32-2

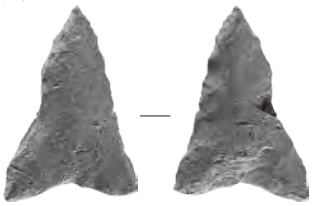

T32-3


T39-1


T40-1



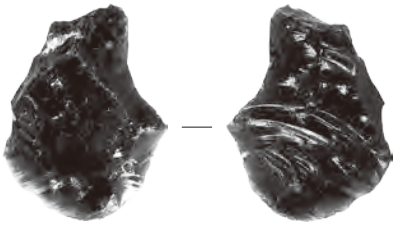
【エリア３】トレンチ出土遺物


T3-1
0 1/1 2cm

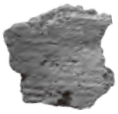

T41-1

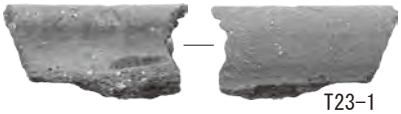


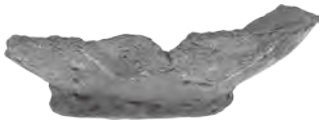

T18-1
T18-2


T18-3
0 1/1 2cm


T19-1


T20-1


T23-1


T30-1

0 1/3 10cm

抄　録

ふりがな	たかすか・かみごうちくさんぎょうようちまいぞうぶんかざいしくつ・かくにんちょうさほうこくしょ
書名	高須賀・上郷地区産業用地埋蔵文化財試掘・確認調査報告書
編著者名	石川太郎　　西川　制　　谷　　旬　　大賀琢磨　　米山聡一
編集機関	株式会社　勾玉工房　　〒286-0211　千葉県富里市御料1009番地28号
発行機関	つくば市　　〒305-8555　茨城県つくば市研究学園一丁目１番地１ つくば市教育委員会
発行年月日	令和８(2026)年　３月24日

調査エリア	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査面積	調査期間	調査原因
エリア1	茨城県(いばらきけん) つくば市(つくばし)上郷(かみごう) 6132ほか	220	上郷神谷森遺跡 (025)	36° 07′ 79″	140° 01′ 92″	12,354 ㎡	令和７年 (2025年) ６月16日 ～11月25日	高須賀・上郷地区の産業用地における、埋蔵文化財の所在の有無や、その取扱いについての照会
エリア2	茨城県(いばらきけん) つくば市(つくばし)高須賀(たかすか) 1032-1ほか		上郷院内山遺跡 (024) 高須賀遺跡 (364)	36° 07′ 41″	140° 01′ 93″	25,754 ㎡		
エリア3	茨城県(いばらきけん) つくば市(つくばし)高須賀(たかすか) 1526-1ほか		高須賀熊の山遺跡 (043) 高須賀堂ノ前遺跡 (626) 高須賀道城入遺跡 (627)	36° 06′ 79″	140° 02′ 36″	36,710 ㎡		

所収遺跡名	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
エリア1	旧石器時代 縄文時代 古墳時代 中世	 竪穴建物跡 土坑 溝跡 土坑 竪穴遺構	ナイフ形石器 縄文土器・石器(石鏃・凹石) 土師器・鉄製品・鉄滓 陶器・瓦器	エリア１では、旧石器時代の所産であるナイフ形石器の出土や縄文時代の竪穴建物跡の検出など、旧石器時代から縄文時代における遺跡の広がりの可能性に加え、鉄滓が多数出土したことから、鉄生産関連遺構の存在も考えられる。 エリア２では、縄文時代後期の遺物が多く出土している。また、古墳時代の竪穴建物跡や、方形周溝墓と思われる溝跡も検出した。出土遺物は、３ｃ～４ｃ代の遺物であった。エリア２では、縄文時代・古墳時代の遺跡の広がりが考えられる。 エリア３北西部では、古墳時代の竈を有する竪穴建物跡を１棟検出した。また、エリア３の南部では、縄文時代早期の遺物と遺構がまとまって検出したことから、当エリア南部では縄文時代早期における遺跡の広がりが考えられる。
エリア2	縄文時代 古墳時代	包含層か 竪穴建物跡 方形周溝墓	縄文土器 土師器	
エリア3	縄文時代 古墳時代	土坑 竪穴建物跡	縄文土器・石器(石鏃) 土師器	

高須賀・上郷地区産業用地
埋蔵文化財試掘・確認調査報告書

発行日　令和８(2026)年３月24日

編　集　株式会社 勾玉工房
千葉県富里市御料1009番地28
℡0476（92）0658

発　行　つくば市
つくば市教育委員会
茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
℡029（883）1111

印　刷　株式会社 正文社
〒260-0001　千葉市中央区都町1-10-6
℡043（233）2235